奈良高専の教育・研究・社会貢献への取組みと課題



自己点検・評価報告書

2026年10月

独立行政法人国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校

目　　次

奈良高専自己点検評価チェックリスト …… 1

資料

第１章　教育に関する評価関係

資料１　入試説明会等状況 …… 29
資料２　入学試験状況 …… 31
資料３　編入学試験状況 …… 32
資料４　令和７年度開講科目一覧表 …… 33
資料５　令和７年度年間行事予定表 …… 45
資料６　令和７年度授業時間割表（本科） …… 47
資料７　令和７年度特別講演会実施一覧 …… 49
資料８　令和７年度第４学年対象進路セミナー実施一覧 …… 50
資料９　令和７年度秋季社会工場見学，専攻科学外研修 …… 51
資料10　年度別博士号取得者一覧 …… 52
資料11　令和７年度クラブ顧問・部員数一覧 …… 53
資料12　令和７年度大会等成績一覧 …… 54
資料13　学生会組織図 …… 57
資料14　学生支援センター相談件数 …… 58
資料15　令和７年度保健室利用学生数 …… 59
資料16　令和６・７年度　学生事故発生件数 …… 60
資料17　入学料免除者数 …… 61
資料18　授業料免除者数 …… 61
資料19　日本学生支援機構貸与奨学生採用者数 …… 62
資料20　日本学生支援機構給付奨学生採用者数 …… 62
資料21　進路状況 …… 63
資料22　単車通学許可申請者 …… 64
資料23　奈良高専学生関係事故等緊急時連絡ルート …… 65
資料24　学生委員会違反件数 …… 66
資料25　寮生数推移調 …… 67
資料26　学寮の日課表 …… 68
資料27　寮生会の組織 …… 69
資料28　令和７年度学寮の年間行事…… 70
資料29　専攻科入学者選抜方法 …… 71
資料30　年度別専攻科入学状況 …… 72
資料31　専攻科学力検査科目と学力検査の日時及び検査場(令和８年度) …… 73

資料32　令和７年度授業時間割（専攻科）　…… 74
資料33　専攻科特別講演会　…… 75
資料34　専攻科修了者の進路　…… 76
資料35　JABEE修了者進路状況　…… 79
資料36　専攻科入学者数の推移　…… 80
資料37　企業・大学等インターンシップ参加者数（専攻科・延べ人数）　…… 81
資料38　専攻科生の論文等の学会発表件数　…… 82
資料39　専攻科生の学外表彰実績　…… 83
第２章　研究に関する評価関係
資料40　科学研究費等受入実績調べ　…… 84
資料41　令和７年度　科学研究費採択状況一覧　…… 85
資料42　令和７年度　受託研究・受託事業・補助金事業一覧　…… 86
資料43　令和７年度　共同研究一覧　…… 87
資料44　令和７年度　奨学寄附金一覧　…… 88
資料45　学会賞等の受賞状況（奈良高専在任期間中）…… 89
資料46　特許出願・登録状況　…… 90
第３章　社会との連携，グローバル教育，男女共同参画推進関係
資料47　公開講座実施実績一覧　…… 91
資料48　令和７年度　学市連携事業一覧　…… 93
資料49　令和７年度　学市連携以外派遣事業一覧　…… 94
資料50　令和７年度　展示会・地域連携事業一覧　…… 94
資料51　令和７年度　施設開放状況一覧　…… 95
資料52　留学生年度別受入一覧表　…… 96
資料53　令和７年度　国際交流　派遣・受入事業一覧…… 97
資料54　教員の兼業状況　…… 98
資料55　非常勤講師の配置状況　…… 98
資料56　教務部門アンケート関係　…… 99
資料57　総務部門アンケート関係　…… 102
総括

※凡例

本書は令和７年度実績を元に令和７年度末時点で点検・評価を行い，令和８年１０月に発行したものである。

特に記載のない場合、本書において「昨年度」は「令和６年度」、「本年度」または「今年度」は「令和７年度」、「次年度」は「令和８年度」を指す。

基準ごとの自己評価等

領域１　教育の内部質保証システム

基準
【重点評価項目】
１－１　内部質保証に係る体制が明確に規定されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点１－１－①　教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針が定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇自己点検評価及び評価に関する基本方針（自己点検・評価の基準・項目、担当組織を含む）が明示されている規程等	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第6条
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項	奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項：第2条～第6条
	資料1-1-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校自己点検・評価申合せ	
(2) (1)の方針において、自己点検・評価の実施体制（委員会等）が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料（学則、自己点検評価規程等）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	本校では、科目（教員グループ）、カリキュラム（学科レベル）、全学の各レベルでPDCAサイクルを実施している。
	資料1-1-1-(2)-01_奈良工業高等専門学校総務委員会規程	奈良工業高等専門学校総務委員会規程：第2条第1項第三号（また、同条項第7号において、本委員会の審議事項として、所掌事項に係る点検・評価及び改善に関することを定めている。）
	資料1-1-1-(2)-02_奈良工業高等専門学校教務委員会規程	奈良工業高等専門学校教務委員会規程：第2条（委員会の審議事項として、所掌事項に係る点検・評価及び改善に関することを定めている。）
	資料1-1-1-(2)-03_奈良工業高等専門学校専攻科委員会規程	奈良工業高等専門学校専攻科委員会規程：第2条（委員会の審議事項として、所掌事項に係る点検・評価及び改善に関することを定めている。）
(3)第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための方針が定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇第三者評価に関する基本方針が明示されている規程等（外部評価（外部者による意見等）の結果を含めることも可）	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第6条、第8条、第9条
(4)（3）の方針において、第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるための体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料（学則、関係規程等）（外部評価（外部者による意見等）の結果を含めることも可）	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第8条、第9条
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項：第5条

１－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

１－１　優れた点

１－１　改善を要する点

基準
【重点評価項目】
１－２　内部質保証のための手順が、学校の目的及び三つの方針*を踏まえて明確に規定されていること
＊卒業（修了）の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）（以下、「DP」という。）
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）（以下、「CP」という。）
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（以下、「AP」という。）

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点１－２－①　以下の事項を内部質保証体制が確認する手順を有していること
（1）DPが学校の目的に基づき定められていること
（2）ＣＰが学校の目的及びＤＰと整合性をもって定められていること
（3）ＡＰが学校の目的に基づき定められていること
（4）学習成果の達成がDPの求める卒業（修了）に必要な水準となっていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学校の目的及び三つの方針について、社会の状況等を把握し、学校自らが点検する体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇点検を行う体制が確認できる資料（関連委員会の規程等）	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第5～10条
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
	資料1-2-1-(1)-01奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）	本校の教育カリキュラムが３つのポリシーに基づき適切に機能しているかを、３つのレベル（全校レベル、カリキュラム（学科）レベル、科目レベル）における学生の学修成果等を評価することにより検証し、全校的な教育改善につなげるため、アセスメントプランを定めている。

観点１－２－②　教育課程ごとの点検・評価において、領域5の各基準に基づく判断を行うことが定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)教育課程ごとの点検・評価において、以下の内容の点検・評価を行うことが規程等で定められていること。（すべての項目にチェック必須）	◇チェック項目の点検・評価が実施されていることが確認できる資料（関連規程等）	

☑ DPが具体的かつ明確であること	資料1-2-2-(1)-01_卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）(本科)	奈良高専HP教育方針：ディプロマポリシー（学習・教育到達目標） https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること		
☑ 教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がDPに基づき設定されていること	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス	Webシラバス
	資料1-2-2-(1)-04_修了の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（専攻科）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ DP及びCPに基づき、適切な授業形態、学習指導方法が採用されていること	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
	資料1-2-2-(1)-09_令和８年度実施カリキュラム	令和８年度実施カリキュラム
	資料1-2-2-(1)-02_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（本科）	奈良高専HP教育方針：カリキュラムポリシー https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
	資料1-2-2-(1)-05_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（専攻科）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ 適切な履修指導、支援が行われていること	資料1-2-2-(1)-10_入学予定者オリエンテーション配布資料	入学予定者オリエンテーション配布資料
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること	資料1-2-2-(1)-11_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ 学校の目的及びDPに基づき、公正な卒業判定が実施されていること	資料1-2-2-(1)-11_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ 学校の目的及びDPに基づき、適切な学習成果が得られていること	資料1-2-2-(1)-12_令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果	令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ APが具体的かつ明確であること	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ 学生の受入が適切に実施されていること	資料1-2-2-(1)-13_令和８年度学級編成	令和８年度学級編成
	資料1-2-2-(1)-03_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（本科）	奈良高専HP教育方針：アドミッションポリシー https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
	資料1-2-2-(1)-06_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（専攻科）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
☑ 実入学者数が入学定員に対して適正な数となっていること	資料1-2-2-(1)-13_令和８年度学級編成（再掲）	令和８年度学級編成
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	

観点１－２－③　関係者の意見を聴取する仕組みが設けられていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 自己点検・評価の実施に際して、次の各関係者の意見が反映されるようになっていること。（すべての項目にチェック必須）	◇自己点検・評価の基準・項目等が確認できる資料（基本方針、関連規程等）	
☑ 教員	資料1-2-3-(1)-01_奈良工業高等専門学校教員評価規程	奈良工業高等専門学校教員評価規程：第3条、第8条 第3条に記載の計画書および自己評価書を基に、毎年、校長面談を実施する。
	資料1-2-3-(1)-02_令和７年度教員顕彰 教員による相互評価（教員表彰）	令和７年度教員顕彰 教員による相互評価（教員表彰）
☑ 職員	資料1-2-3-(1)-03_令和８年度校長面談等（教員・技術職員）	令和８年度校長面談等（教員・技術職員）
	資料1-2-3-(1)-04_女子学生及び女性教員のための環境改善要望調査について(R080304_ダイバーシティ推進委員会議事録)	毎年、女子学生及び女性教員に対して環境改善要望調査を行い、改善に取り組んでいる。
	資料1-2-3-(1)-17_職員人事評価実施要領の制定について	独立行政法人国立高等専門学校機構職員人事評価実施要領に基づき、年2回面談を行っている。
	資料1-2-3-(1)-12_R080113_企画会議議事要録	審議事項1.（議事録、資料）のとおり、サブWGが多忙化解消に向けたアイデアを学内で募集し、意見聴取の上、実現可能な提案を行っている。実現については引き続き検討している。
☑ 在学生	資料1-2-3-(1)-05_令和7年(2025年)度「学びの状況調査」に係る総務部門追加項目の結果について	教務部門（主体は高専機構本部）で実施している「学びの状況調査」アンケートに、毎年、総務部門から追加項目として「施設設備への要望」を聴取している。とりまとめ結果を運営会議にて報告し、今後の改善に役立てている。
	資料1-2-3-(1)-10_令和７年度授業アンケートに係る点検・評価の結果報告について（本科・専攻科）	
☑ 卒業（修了）時の学生	資料1-2-3-(1)-06_令和７年度　卒業時・修了時アンケート集計結果（抜粋：ディプロマポリシー達成割合）	教務・専攻科・総務部門（主体は高専機構本部）で実施している「卒業生・修了生アンケート」に、毎年、総務部門から追加項目として「DPの達成割合」を聴取している。とりまとめ結果を運営会議にて報告し、今後の改善に役立てている。
	資料1-2-3-(1)-11_令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果総括	教務部門にて取りまとめ、結果を分析している。
☑ 卒業（修了）から一定年数後の卒業（修了）生	資料1-2-3-(1)-07_R7_卒業生・就職先アンケート結果（まとめ）（非公開）	2年毎に実施している。結果を運営会議にて報告し、各部門で改善するよう共有している。
	資料1-2-3-(1)-08_公開授業報告書について（配付用添書）	教職員、保護者から意見聴取を行っている。
☑ 保護者	資料1-2-3-(1)-15_R7_学校報告会について	学内教職員向けの開催通知文書である。
	資料1-2-3-(1)-16_R7年度学校報告会開催案内	保護者向けの開催通知文書である。例年、200名程度の参加がある。
☑ 中学校・地方公共団体・民間企業その他の関係者	資料1-2-3-(1)-09_教育方針等に係る質問集計（令和7年度運営諮問会委員）	

	◇就職先又は進学先について、関係者の参画する会議体、対象としたアンケートに係る規程等	
	資料1-2-3-(1)-14_奈良工業高等専門学校運営諮問会規程	
☑ 中学校・地方公共団体・民間企業その他の関係者	資料1-1-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校自己点検・評価申合せ（再掲）	奈良工業高等専門学校自己点検・評価申合せ：第1において、総務委員会が実施する。
	資料1-2-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）（再掲）	アセスメントプラン⑰進学先・就職先アンケートを実施することを定めている。
(2) 自己点検・評価の実施において、聴取された意見の評価結果及び他の様々な評価の結果や指摘の内容を踏まえて行っているか。（複数チェック☑可）	◇各評価結果等を踏まえて自己点検・評価が行われていることを示す報告書等の該当箇所（自己点検評価報告書の該当箇所又は担当組織の議事要旨、会議資料等）	
【教員の意見聴取】	資料1-2-3-(2)-01_教員評価依頼文書等	
☑ 学校運営に関する意見	資料1-2-3-(2)-03_R080312_運営会議議事要録	（報告事項）7.その他において、校長から顕彰者について報告あり。
☑ その他		
【職員の意見聴取】		
☑ 学校運営に関する意見	資料1-2-3-(1)-04_女子学生及び女性教員のための環境改善要望調査について(R080304_ダイバーシティ推進委員会議事録)（再掲）	報告事項3.において、女子学生及び女性教員のための環境改善要望調査結果の報告ならびに対応（改善）について説明あり。
☑ その他	資料1-2-3-(1)-12_R080113_企画会議議事要録（再掲）	審議事項1.（議事録、資料）のとおり、サブWGが多忙化解消に向けたアイデアを学内で募集し、意見聴取の上、実現可能な提案を行っている。実現については引き続き検討している。
【在学生の意見聴取】		
☑ 学習環境に関する評価	資料1-2-3-(1)-05_令和7年(2025年)度「学びの状況調査」に係る総務部門追加項目の結果について（再掲）	
	資料1-2-3-(1)-04_女子学生及び女性教員のための環境改善要望調査について(R080304_ダイバーシティ推進委員会議事録)（再掲）	報告事項3.において、女子学生及び女性教員のための環境改善要望調査結果の報告ならびに対応（改善）について説明あり。
☑ 学生による授業評価	資料1-2-3-(1)-10_令和７年度授業アンケートに係る点検・評価の結果報告について（本科・専攻科）（再掲）	
☐ 学生による満足度評価（進級時等、卒業（修了）前の評価）		
☐ その他		
【卒業（修了）時の意見聴取】		
☑ 卒業（修了）時の学生による満足度評価	資料1-2-3-(1)-11_令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果総括（再掲）	
☐ その他		
【卒業（修了）後の意見聴取】		
☑ 卒業（修了）後の学生による学習成果の効果に関する評価	資料1-2-3-(1)-07_R7_卒業生・就職先アンケート結果（まとめ）（非公開）（再掲）	
☑ 就職先等による卒業生に対する評価	資料1-2-3-(1)-07_R7_卒業生・就職先アンケート結果（まとめ）（非公開）（再掲）	
☐ その他		
【保護者の意見聴取】		
☑ 学校運営に関する意見	資料1-2-3-(2)-05_学校幹部-四役懇談会R71115議事録	
☐ その他	資料1-2-3-(2)-06_R070408_企画会議議事要録	報告事項4.において、後援会から要望のあった項目について検討・改善に取り組んでいる。
	資料1-2-3-(2)-09_公式HP（学生・保護者の皆様へ）意見箱	https://www.nara-k.ac.jp/life/opinionbox/
【外部評価】	資料1-2-3-(2)-10_R080407_企画会議議事要録（意見箱に寄せられた際のプロセス）	報告事項5.において、部門だけで対応するのではなく、学校全体で共有すべきであるため、取扱いについて認識の一致を図った。
☑ 外部有識者の検証	資料1-2-3-(1)-09_教育方針等に係る質問集計（令和7年度運営諮問会委員）（再掲）	
☐ 教育活動に関する第三者評価（機関別認証評価、JABEE等。）	資料1-2-3-(2)-08_令和７年度運営諮問会報告書	31頁のように、毎年、前年度に指摘された事項について改善を図っていることを報告している。
☐ 設置計画履行状況等調査		
☐ その他		

観点１－２－④　内部質保証体制において共有、確認された自己点検・評価結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受けた第三者評価の結果等を含む。） を踏まえた対応措置について検討、立案、提案する手順が定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 基準1－1の方針において、若しくは同方針に基づいて、自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順が規定されていること。	◇自己点検・評価の結果を踏まえた対応措置について検討、立案、提案するための手順を定めた規程等	
◉ 規定されている　○ 規定されていない	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第4条
	資料1-1-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校自己点検・評価申合せ（再掲）	

観点１－２－⑤　内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施する手順が定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順が規定されていること。	◇内部質保証体制において承認された対応措置の計画を実施するための手順を定めた規程等	
◉ 規定されている　○ 規定されていない	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	

観点１－２－⑥　内部質保証体制において、その決定した計画の進捗を確認するとともに、必要な対処方法を決定する手順が定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 対応計画の進捗の確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順が規定されていること。	◇対応計画の進捗確認、進捗状況に応じた対応を決定する手順について定めた規程等	
◉ 規定されている　○ 規定されていない	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程：第8条・第9条
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	

観点１－２－⑦　自己点検・評価の結果が公表されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)自己点検・評価を実施し、その結果が公表されていること。		
◉ 公表されている　　○ 公表されていない	◇【様式２－４】ウェブサイト掲載項目チェック表	ウェブサイトで自己点検・評価報告書の公表を行っている。 https://www.nara-k.ac.jp/guide/open/self_inspection_report.html

１－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

１－２　優れた点

１－２　改善を要する点

基準

【重点評価項目】

１－３　自己点検・評価や第三者評価の結果を教育の質の改善・向上に結び付けていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点１－３－①　内部質保証体制において、機関別認証評価や第三者評価の結果を踏まえた改善がなされていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 前回の機関別認証評価における評価結果において、「改善を要する点」として指摘された事項に対応していること。 ◉ 対応している　　○ 対応していない	◇対応状況が確認できる資料（指摘事項に対しての改善策を審議・策定していることが確認できる会議資料、議事録等）	
	資料1-3-1-(1)-01_高専機関別認証評価結果　改善すべき事項に対する対応状況_受審後１・３・５年目調査様式	
	資料1-3-1-(1)-02_バリアフリー対策検討図（スロープ等現状及び自動扉化順位）	R2認証評価受審後、自動扉に改修した箇所は、以下のとおりである。電子制御工学科棟、専攻科南棟、講義棟については対応中であるが、予算の都合もあるため、マスタープランには必ず記載し、要求している。 ・機械工学科棟 ・情報工学科棟 ・図書館棟 ・学寮管理棟 また、合同教室はスロープの整備を、物質化学工学科棟はエレベータを設置した。
	資料1-2-3-(1)-12_R080113_企画会議議事要録（再掲）	審議事項17.その他の寄附金の募集において、寄附金（自己資金）の使途にバリアフリー関連も対象とするよう依頼している。
	資料1-3-1-(1)-04_R080702_総務委員会議事要録	報告事項.その他において、同一問題の出題は不可であることを継続的にアナウンスしている。 成績評価については、シラバス通りに評価していること、同一問題を出題していないことを授業チェックシートに反映させ、学科内のFDで相互に成績根拠資料の確認に加え、成績根拠資料に基づいて本試験と追試験の問題が異なることをチェックしている。
	資料1-2-3-(1)-07_R7_卒業生・就職先アンケート結果（まとめ）（非公開）（再掲）	学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、進路先関係者等からの意見聴取が行われていないとの指摘については、対応済みであり、運営会議に報告し、各部門で改善のために共有している。
(2)(1)以外で、自己点検・評価や第三者評価の結果を踏まえた課題等を確認し、実際に改善していること。 ◉ 行っている　　○ 行っていない	◇基準１－2の各観点に係る取組において実施した対応や措置が確認できる資料（自己点検・評価報告書、第三者評価の該当箇所、その他）（外部評価（外部者による意見等）の結果を含めることも可）	
	資料1-3-1-(2)-01_R080611_運営会議議事要録	
	資料1-3-1-(1)-04_R080702_総務委員会議事要録（再掲）	
	資料1-3-1-(2)-03_R0809総務委員会議事録　改善指示に基づく再チェック　集計（授業チェックシート）	
	◇評価結果を受けた改善の取組が確認できる資料（改善例等）（外部評価（外部者による意見等）の結果を含めることも可）	

１－３　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

１－３　優れた点

１－３　改善を要する点

領域２　教育組織及び教員・教育支援者等

基準

２－１　学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点２－１－①　学科の構成が、学校の目的に照らして、適切となっていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学科の構成が学校や学科の目的（自己評価書Ⅱに記載したもの。）及びDPと整合性がとれていること。 ◉ 整合性が取れている　　○ 整合性がとれていない	◇DP、学則、学校要覧等	
	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則	奈良工業高等専門学校学則：第１章、第３章
	資料1-2-2-(1)-01_卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（本科）（再掲）	
	資料2-1-1-(1)-02_R080115_運営会議議事要録	審議事項1.において見直しのため審議し、了承されている。
	資料2-1-1-(1)-03_DPCP教育目標チェック（改訂）	R8.1.15運営会議の審議事項1.の資料である。

観点２－１－②　専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 専攻の構成が学校や専攻科の目的（自己評価書Ⅱに記載したもの。）及びDPと整合していること。 ◉ 整合している　　○ 整合していない	◇DP、学則、学校要覧等	
	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第1条・第31条・第32条
	資料1-2-2-(1)-04_修了の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（専攻科）（再掲）	

２－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

２－１　優れた点

２－１　改善を要する点

基準

２－２　教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしていること。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点２－２－①　教員の組織的な役割分担の下で、教育に係る責任の所在が明確になっていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　　○ 整備されていない	◇教育活動を有効に展開するため必要と考えられる教務・学生支援・入試等の委員会の組織体制が確認できる資料（当該事項を審議するための組織の構成図、内部組織規程等）	
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要	令和８年度学校概要：8頁（組織図）
	資料2-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員組織規程	奈良工業高等専門学校教員組織規程：第2条
	資料2-2-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校企画会議規程	奈良工業高等専門学校企画会議規程：第2条、第3条
	資料2-2-1-(1)-04_奈良工業高等専門学校運営会議規程	奈良工業高等専門学校運営会議規程：第2条、第3条
	資料2-2-1-(1)-05_奈良工業高等専門学校教職員会議規程	奈良工業高等専門学校教職員会議規程：第3条、第4条
	資料1-1-1-(2)-02_奈良工業高等専門学校教務委員会規程（再掲）	
	資料2-2-1-(1)-07_奈良工業高等専門学校教育支援センター規程	
	資料2-2-1-(1)-08_奈良工業高等専門学校学生支援センター規程	
	資料2-2-1-(1)-09_奈良工業高等専門学校寮務委員会規程	
	資料1-1-1-(2)-03_奈良工業高等専門学校専攻科委員会規程（再掲）	
	資料2-2-1-(1)-11_校務担当一覧（非公表）	

観点２－２－②　全校的見地から、校長等の下で教育研究活動について審議し又は実施する組織が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教育研究活動を全校的に審議し又は実施する組織について、構成、責任体制及び審議事項、組織及び議事の運営に関することその他の必要な事項が規定されていること。 ◉ 規定されている　　○ 規定されていない	◇教育研究活動について審議し又は実施する組織について定めている規程等	
	資料1-1-1-(2)-02_奈良工業高等専門学校教務委員会規程（再掲）	
	資料1-1-1-(2)-03_奈良工業高等専門学校専攻科委員会規程（再掲）	
	資料2-2-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校産学協働・地域創生研究センター規程	
(2)(1)の組織において、具体的な審議等がなされているか。 ◉ 審議等がなされている　　○ 審議等がなされていない	◇評価の前年度の実施された同組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等	
	資料2-2-2-(2)-01_令和８年度教務委員会議事概要	
	資料2-2-2-(2)-02_令和８年度専攻科委員会議事概要	
	資料2-2-2-(2)-03_令和８年度産学協働・地域創生研究センター議事概要	

２－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

２－２　優れた点

２－２　改善を要する点

基準

２－３　教育活動を展開する上で必要な教員が適切に整備されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点２－３－①　設置基準に照らして、必要な人数の教員が配置されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 一般科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 ◉ 確保されている　○ 確保されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
(2) 専門科目担当の基幹教員が法令に従い、確保されていること。 ◉ 確保されている　○ 確保されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	

観点２－３－②　専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されていること

（根拠理由欄）

特例適用専攻科の認定に係る結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を本欄に記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の各項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 専攻科の授業科目担当教員が適切に確保されていること。 ◉ 確保されている　○ 確保されていない	◇【様式２－３】担当教員一覧表等	

観点２－３－③　教員の年齢及び性別の構成が著しく偏ることがないよう適切な配慮がなされていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教員の配置について、教育研究水準の維持向上及び教育研究の活性化を図るため、教員の構成が特定の範囲の年齢あるいは性別に著しく偏ることのないよう配慮されていること。 ◉ 配慮されている　○ 配慮されていない	◇【様式２－６】教員の年齢・性別構成	

２－３　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

２－３　優れた点

２－３　改善を要する点

基準

２－４　組織的に、教員の質を確保し、その維持、向上を図っていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点２－４－①　教員の採用及び昇任に当たって、教育上、研究上又は実務上の知識、能力及び実績に関する判断の方法等が明確に定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教員（基幹教員以外の教員を除く。）の採用・昇任に関する基準が法令に従い定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇教員の採用・昇任等に係る体制、基準、手続等に関する規程等（教員選考規則、昇任基準、審査要領等）	
	資料2-4-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校人事委員会規程	奈良工業高等専門学校人事委員会規程：第3条
	資料2-4-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員選考基準（非公表）	
	資料2-4-1-(1)-03_教員の昇格についての変更	
	◇教育経歴、実務経験、性別構成その他に配慮していることが確認できる資料	
	資料2-4-1-(1)-04_公募要領（物化：化学）	各公募要領にて「男女共同参画推進社会基本法」の趣旨に則り、審査結果について同等と認められる場合には女性応募者を優遇する旨記載している。また、一部公募においては、長期間の継続勤務による職務に必要な能力の開発及び向上を図ることを目的として年齢制限を設けている。
	資料2-4-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員選考基準（非公表）（再掲）	教員選考基準第７において実務経験の考慮について記載
	資料2-4-1-(1)-03_教員の昇格についての変更（非公表）（再掲）	「教員の採用・昇任について」の１において経験年数・年齢を考慮した人事について記載
(2) (1)の基準に基づき、実際の採用・昇任が行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇公募要領・様式、実績状況に関する資料等	
	資料2-4-1-(2)-01_公募要領（様式）	

観点２－４－②　全教員の教育研究活動に対して、規程等に基づき学校による定期的な評価の仕組みがあること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 全教員（基幹教員以外の教員を除く。）に対して校長又はその委任を受けた者による教育上の能力や活動実績に関する評価を定期的に行う体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇実施体制等が確認できる資料（評価実施規程、教員評価の基準を定めたもの等）	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校点検・評価規程
	資料1-2-3-(1)-01_奈良工業高等専門学校教員評価規程（再掲）	
	資料1-2-3-(1)-03_令和８年度校長面談等（教員・技術職員）（再掲）	令和８年度校長面談等（教員・技術職員）
	◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等	
	資料2-4-2-(1)-01_総務委員会議事要録	令和７年２月総務委員会議事要録：７．８．９．

観点２－４－③　教員評価で把握された事項に対して、評価の目的に即した取組を行う仕組みがあること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 把握した評価結果を基に行う取組が規定されているか。（複数チェック☑可） ☑ 給与における措置 ☑ 教育研究費配分における措置 ☐ 改善に向けた指導 ☑ 表彰 ☐ その他	◇取組に関する規程等（評価実施規程、改善指導について定めた規程等）	
	資料1-2-3-(1)-01_奈良工業高等専門学校教員評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校教員評価規程：第７条 第９条に「教員評価の結果については、個人情報として取り扱い、原則として公表しない。」としており、校長裁量による。
	資料2-4-3-(1)-01_令和8年度予算編成等スケジュール	「教員研究費の傾斜配分実施要領」(要領１）：7頁
	◇評価の前年度に実施された評価実施組織における会議の審議事項、資料及び議事要旨等	
	資料2-4-3-(1)-02_奈良工業高等専門学校教職員顕彰に関する内規	
	資料2-4-3-(1)-03_R080312_運営会議議事要録	報告事項7.その他にて校長から報告があった。

観点２－４－④　授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）*が組織的に実施されていること
＊ファカルティ・ディベロップメント（以下、「ＦＤ」という。）

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学校として、授業の内容及び方法の改善を図るためにＦＤを実施する体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料（FDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等）	
	資料2-4-4-(1)-01_奈良工業高等専門学校FD・SD推進委員会規程	
(2) 定期的にＦＤが実施されていること。 ◉ 実施されている　○ 実施されていない	◇実施状況一覧	
	資料2-4-4-(2)-01_R8_FD・SD実施状況	
	資料2-4-4-(2)-02_令和8年度FD・SD研修受講者一覧（非公表）	

２－４　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

２－４　優れた点

２－４　改善を要する点

基準
２－５　教育活動を支援又は補助する者が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　○ 満たしていない

観点２－５－①　教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者が配置されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教育支援者（事務職員、技術職員、助手等。）が法令に従い適切に配置されていること。 ◉ 配置されている　○ 配置されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇役割分担が確認できる資料（事務組織規程、事務組織図、技術室規程）	
	資料2-5-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校事務組織規程	
	資料2-5-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教育研究支援室設置規程	
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：8頁（組織図）
	◇助手を配置する場合、助手の位置付け・支援内容と人数配置状況が明示されている資料	
(2) 図書館に専門的職員、その他の専属の教員又は事務職員等が配置されていること。 ◉ 配置されている　○ 配置されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：8頁（組織図）
(3) 指導補助者を配置する場合、その定義、業務内容、採用手続等が規定されていること。 ○ 規定されている　◉ 規定されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇指導補助者の定義、業務内容、採用手続について定めた規程	

観点２－５－②　教育活動を展開するために必要な教育支援者や指導補助者が担当する業務に応じて、研修等、必要な資質の維持、向上を図る取組が組織的に実施されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教育支援者（事務職員、技術職員、図書館職員、助手等。）に対して、研修や技術教育研究発表会などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇実施状況一覧	
	資料2-4-4-(2)-01_R8_FD・SD実施状況（再掲）	
	資料2-5-2-(1)-01_令和8年度5月教育研究支援室運営委員会議事録（技術職員にかかる研修等）	
(2) 教員の指導計画に基づいて指導補助者を配置する場合、研修、オリエンテーション、指導・助言などで資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。 ○ 行われている　◉ 行われていない	◇研修の内容が確認できる資料	
	◇実施状況一覧	

２－５　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

２－５　優れた点

２－５　改善を要する点

領域３　学習環境及び学生支援等

基準

３－１　教育組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点３－１－①　教育活動を展開する上で必要な施設・設備が法令に基づき整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 校地・校舎面積が法令に従い適切に確保されていること。 ◉ 確保されている　○ 確保されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
(2) 法令に従い必要な施設が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇設置状況が確認できる資料（キャンパスマップ、学生便覧等）	
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：48・49頁
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり	令和８年度学生生活のしおり：16～28頁
(3) 学科の種類に応じ、附属施設が法令に従い適切に整備されているか。（複数チェック☑可） ☑ 実験･実習工場 ☐ 練習船 ☐ その他	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇設置状況が確認できる資料（キャンパスマップ、学生便覧等）	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：20頁
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：48・49頁
(4) 教育研究環境の充実を図るため、(1)～(3) 以外の施設・設備が設けられているか。（複数チェック☑可） ☑ 厚生施設	◇設置状況が確認できる資料（キャンパスマップ、学生便覧等）	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：27・28頁
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：37（福利施設）・49（屋外ピロティ＝アクティブコモンズ）頁
☑ コミュニケーションスペース	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：21頁（アメニティ）、27頁（屋外ピロティ―）
☑ 自主的学習スペース	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：34（起業家工房Hub×Fabや図書館閲覧室自習コーナー）
	資料3-1-1-(4)-04_HP（奈良高専 図書館ラーニングコモンズについて）	図書館の蔵書を学習等に利用することを想定し、図書館棟内に、自由に利用できるスペースとして設置している。https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/information/post-38.html
☑ その他	資料3-1-1-(4)-02_2022アクティブコモンズWSイベント参加者募集（学生掲示板）	屋外ピロティ―として学生たちの制作と発表の場として「アクティブコモンズ」を整備するにあたり、学生に呼びかけ、学生が主体となり設置した。
	資料3-1-1-(4)-03_20250912　X（SNS）アクティブコモンズ投稿	アクティブコモンズ整備完了の報告である。

観点３－１－②　施設・設備における安全性について配慮する体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 施設・設備の安全衛生管理体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇安全衛生管理体制が確認できる資料（安全衛生管理規程、関係委員会規程等）	
	資料3-1-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校安全衛生委員会規程	
	資料3-1-2-(1)-02_奈良工業高等専門学校教職員安全衛生管理規程	
	資料3-1-2-(1)-03_奈良工業高等専門学校安全衛生管理及び健康管理細則	
	資料3-1-2-(1)-04_奈良工業高等専門学校放射線障害防止規程	
	資料3-1-2-(1)-05_令和8年度学校保健計画・学校安全計画	
	資料3-1-2-(1)-10_安全対策についての申合せ	学生の安全を確保するため、学生事故等緊急措置要領を補完するものとして定めている。
	資料3-1-2-(1)-13_独立行政法人国立高等専門学校機構教職員安全衛生管理規則	
	◇設備使用に関する規程、設備利用の手引き等	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：59～60頁＜学内施設（教室・共同利用施設等）の利用にあたって＞
	資料3-1-2-(1)-07_奈良工業高等専門学校における施設の有効活用に関する内規	限られた施設を公平かつ効率的に活用し、教育・研究環境の質の維持・向上を図るとともに本校運営の円滑化及び外部資金獲得の推進に資することを目的として定めている。
	資料3-1-2-(1)-11_R8 新入生用テキスト（情報処理演習室について）	
	資料3-1-2-(1)-12_奈良工業高等専門学校福利施設使用規則	
	◇実験・実習工場等の学生向けの手引き、ガイダンスの実施状況を示す資料	
	資料3-1-2-(1)-08_ものづくり実験実習棟【実習工場】利用の手引き	
	資料3-1-2-(1)-09_安全作業の手引（機械実習）	ものづくり実験・実習棟を使用するためのガイダンス資料である。
	資料3-1-2-(1)-11_R8 新入生用テキスト（情報処理演習室について）（再掲）	
(2) 施設・設備のバリアフリー化の配慮が行われていること。 ◉ 配慮が行われている　○ 配慮が行われていない	◇施設・設備の整備状況・整備計画等のバリアフリー化の取組を示す資料（障がい者差別解消法の合理的配慮について確認できる資料）	
	資料3-1-2-(2)-02_バリアフリー対策検討図（現状）	

観点３－１－③　図書館において、教育研究上必要な資料を整備していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 図書館を法令に従い備えていること。 ◉ 備えている　○ 備えていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇整備状況が確認できる資料（学校要覧、図書情報センター利用案内等）	
	資料2-2-1-(1)-01_令和８年度学校概要（再掲）	令和８年度学校概要：34頁
	資料3-1-3-(1)-01_HP(奈良高専 図書館案内)	https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/guide/
	資料3-1-3-(1)-02_HP(奈良高専 図書館お知らせ)	https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：99～101頁（図書館）
(2) 図書、学術雑誌、電子ジャーナルその他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇【様式２－１】高等専門学校現況表	
	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」（日本図書館協会）結果	
	資料3-1-3-(2)-01_R8大学・短期大学・高等専門学校図書館調査結果	
(3) (2)の資料が、教職員や学生に有効に活用されていること。 ◉ 活用されている　○ 活用されていない	◇「大学・短期大学・高等専門学校図書館調査」（日本図書館協会）結果	
	資料3-1-3-(2)-01_R8大学・短期大学・高等専門学校図書館調査結果（再掲）	

３－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

３－１　優れた点

３－１　改善を要する点

基準

３－２　学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点３－２－①　学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の生活面における総合的な指導・相談・助言等（メンタルヘルス・ハラスメントに関するものを含む。）の体制が整備されているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料（生活指導の体制、指導内容、組織図、関連規程、学生への周知・案内文等）	
☑ 学生相談室	資料2-2-1-(1)-08_奈良工業高等専門学校学生支援センター規程（再掲）	奈良工業高等専門学校学生支援センター規程：第4条で構成員を定めており、第3条において業務内容を記載している。
	資料3-2-1-(1)-06_学生支援センター案内	
☑ 保健室	資料3-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校学生支援センター運営委員会規程	奈良工業高等専門学校学生支援センター運営委員会規程：第5条において、学生相談に係る事項を協議する学生相談部会と障害学生の支援に係る事項を協議する障害学生支援部会を定めており、また各構成員を定めておくことで、万全な支援ができるよう体制を整えている。
	資料3-2-1-(1)-07_学生支援体制組織図	
☑ 相談員やカウンセラーの配置	資料3-2-1-(1)-03_HP(奈良高専 学生支援)	学生支援相談窓口をHPに掲載し、それぞれ利用方法等を記載している。 https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/
	資料2-2-1-(1)-08_奈良工業高等専門学校学生支援センター規程（再掲）	
☑ ハラスメント等の相談体制	資料3-2-1-(1)-04_奈良工業高等専門学校ハラスメントの防止等に関する規程	奈良工業高等専門学校ハラスメントの防止等に関する規程：第3条において構成員を定めている。
☑ 学生に対する相談の案内等	資料3-2-1-(1)-05_HP(奈良高専 学生支援センター（学生相談）)	https://www.nara-k.ac.jp/life/shien/soudan/
☐ その他	◆その他の項目をチェックした場合は、その内容を列記し、その状況が確認できる資料を提示する。	
(2) 健康相談・保健指導が実施されていること。	◇各取組の実施状況が確認できる資料（機関別認証評価の前年度に実施された実施要項、学生への周知・案内文等）	
◉ 実施されている　　○ 実施されていない	資料3-1-2-(1)-05_令和8年度学校保健計画・学校安全計画（再掲）	「学生保健行事」列にあるように、四半期ごとに実施している。
	資料3-2-1-(2)-01_健康診断案内	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：64頁
(3)法令等（いじめ防止対策推進法、いじめの防止等のための基本的な方針）に基づき、いじめの防止、早期発見、対処等に関する体制が整備されていること。	◇実施体制等が確認できる資料（基本方針、マニュアル、関係規程等）	
◉ 整備されている　　○ 整備されていない	資料3-2-1-(3)-01_奈良工業高等専門学校人権教育推進・いじめ防止対策委員会規程	奈良工業高等専門学校人権教育推進・いじめ防止対策委員会規程：第4条にて構成員を定めている。
	資料3-2-1-(3)-02_奈良工業高等専門学校いじめ対策会議内規	奈良工業高等専門学校人権教育推進・いじめ防止対策委員会規程第10条に基づき、いじめ対策会議に関して必要な事項を定めたものである。
	資料3-2-1-(3)-03_奈良工業高等専門学校いじめの防止等のための基本計画	独立行政法人国立高等専門学校機構いじめ防止等対策ポリシー第7に基づき、本校でいじめ防止等のために実施すべき施策を定めている。
	資料3-2-1-(3)-04_令和８年度（２０２６年度）いじめ防止プログラム	「奈良工業高等専門学校いじめ防止等のための基本計画」に基づき、いじめの防止の取り組みを計画的に盛り込んだ実施計画として「いじめ防止プログラム」を定め、取り組んでいる。
	資料3-2-1-(3)-05_いじめ早期発見・事案対応マニュアル	奈良工業高等専門学校いじめ防止対応マニュアルをフロー図化したものである。

観点３－２－②　特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行う体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 留学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。	◇整備状況が確認できる資料（関係規程、留学生指導教員・学生チューターの配置状況等）	
◉ 整備されている　　○ 整備されていない	資料3-2-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校グローバル教育センター規程	奈良工業高等専門学校グローバル教育センター規程：第3条・第4条にて定めている。
	資料3-2-2-(1)-02_奈良工業高等専門学校グローバル教育センター運営委員会規程	奈良工業高等専門学校グローバル教育センター運営委員会規程：第3条
	資料3-2-2-(1)-03_奈良工業高等専門学校留学生規程	奈良工業高等専門学校留学生規程：第6条_留学生指導教員、第7条_留学生相談員を定めている。
	資料3-2-2-(1)-04_奈良工業高等専門学校留学生相談員制度実施要項	奈良工業高等専門学校留学生相談員制度実施要項
	◇学生向け周知資料（学生生活の手引き等）	
(2) 編入学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。	◇整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　　○ 整備されていない	◇学生向け周知資料（学生生活の手引き等）	
	資料3-2-2-(2)-01_令和８年度入学予定者オリエンテーション配布資料（編入学生用）	令和８年度入学予定者オリエンテーション配布資料（編入学生用）
(3) 社会人学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。	◇整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
○ 整備されている　　◉ 整備されていない	◇学生向け周知資料（学生生活の手引き等）	
(4) 障害のある学生の学習及び生活に対する支援体制が整備されていること。	◇整備状況が確認できる資料（関係規程、対象学生の把握方法・対応事例等）	
◉ 整備されている　　○ 整備されていない	資料3-2-2-(4)-01_奈良工業高等専門学校における障害学生の修学支援に関する申合せ	奈良工業高等専門学校における障害学生の修学支援に関する申合せ
	資料2-2-1-(1)-08_奈良工業高等専門学校学生支援センター規程（再掲）	
	◇学生向け周知資料（学生生活の手引き等）	
	資料3-2-2-(4)-02_障害者差別解消法に基づく対応要領について	奈良高専HP学校案内：障害者差別解消法に基づく対応要領について
	資料3-2-2-(4)-03_「奈良高専HP学校案内」障害者差別解消法に基づく対応要領について」(機構の要領)	(機構の要領)　https://www.nara-k.ac.jp/guide/open/eliminating_discrimination.html
(5) 障害者差別解消法第５条及び第７条又は第８条（第９条、第10条、第11条の関係条項も含む。）に対応していること。	◇対応状況が確認できる資料（関係規程、対応要領、相談窓口の設置状況等）	

◉ 対応している　○ 対応していない	資料3-2-2-(4)-02_障害者差別解消法に基づく対応要領について（再掲）	奈良高専HP学校案内：障害者差別解消法に基づく対応要領について
	資料3-2-2-(4)-03_「奈良高専HP学校案内」障害者差別解消法に基づく対応要領について」（機構の要領）（再掲）	（機構の要領）　https://www.nara-k.ac.jp/guide/open/eliminating_discrimination.html
(6) 上記以外の特別な支援を行っているか。		
○ 行っている　◉ 行っていない		

観点３－２－③　就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備されていること。	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料3-2-3-(1)_01_奈良工業高等専門学校進路対策協議会規程	奈良工業高等専門学校進路対策協議会規程
(2) (1)の体制の下、就職や進学等の進路指導を含めたキャリア教育に関して、学校としてどのような取組を行っているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の取組状況が確認できる資料（関係規程、実施要項、マニュアル、連携協定等）	
☑ キャリア教育に関する研修会・講演会の実施	資料3-2-3-(2)-01_進路ガイダンス資料	進路ガイダンス資料
	資料3-2-3-(2)-02_高専専攻科・大学編入学の手引き	高専専攻科・大学編入学の手引き
☑ 進路指導用マニュアルの作成	資料3-2-3-(2)-03_進路ガイダンスの実施について	進路ガイダンスの実施について
☑ 進路指導ガイダンスの実施	資料3-2-3-(2)-04_キャリアデザイン資料室使用心得	キャリアデザイン資料室使用心得
☑ 進路指導室	資料3-2-3-(2)-05_TOEICおよび英語検定試験の単位認定について	実用英語Ⅰ～Ⅴシラバス
☐ 進路先（企業）訪問	資料3-2-3-(2)-06_奈良工業高等専門学校留学規程	奈良工業高等専門学校留学規程
☑ 進学・就職に関する説明会	資料3-2-3-(2)-07_卒業生と語る会	
☐ 資格試験や検定試験のための補習授業や学習相談		
☑ 資格取得による単位修得の認定		
☑ 外国留学に関する手続きの支援、単位認定、交流協定の締結等		
☐ その他		

観点３－２－④　学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行う体制が整備されていること

直近の認証評価において本観点に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点の分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェック☑すること。

☐ 直近の認証評価における指摘等なし

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の課外活動に対する支援体制が整備されていること。	◇支援体制等が確認できる資料（関係規程、組織図、施設の整備状況が確認できる資料等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料3-2-4-(1)-01_クラブ顧問会議資料（本文編・資料編）	令和８年度学生生活のしおり：64頁
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：145～153頁（奈良工業高等専門学校学生会規約）
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：154～159頁（奈良工業高等専門学校学生会細則）
(2) (1)の体制において、責任の所在が明確になっていること。	◇(1)の体制において、責任の所在が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 明確になっている　○ 明確になっていない	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：背表紙（緊急時連絡ルート）
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：145～153頁（奈良工業高等専門学校学生会規約）
(3) (1)の体制は「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」（平成30年3月スポーツ庁）に基づいたものになっているか。【より望ましい取組として分析】	◇運動部活動の方針、活動時間・休養日に関する規定、地域のスポーツ団体との連携が確認できる資料等	
◉ なっている　○ なっていない	資料3-2-4-(1)-01_クラブ顧問会議資料（本文編・資料編）（再掲）	

観点３－２－⑤　学生寮を学生の生活及び勉学の場として整備していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生寮が整備されているか。	◇整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第13章
(2) 生活の場として整備されていること。	◇生活支援の内容が確認できる資料（寮生のしおり等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料3-2-5-(2)-01_R8年度寮生活のしおり	
(3) 勉学の場として整備されていること。	◇学習支援の内容が確認できる資料（自習室の整備状況、自習時間の設定が確認できる資料等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料3-2-5-(2)-01_R8年度寮生活のしおり（再掲）	
(4) 管理・運営体制が整備されていること。	◇管理・運営体制が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料2-2-1-(1)-09_奈良工業高等専門学校寮務委員会規程（再掲）	
	資料2-5-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校事務組織規程（再掲）	
(5) 学生の意見等を把握し、改善する体制が整備されていること。	◇実施体制等が確認できる資料（関係規程等、学生からの意見を集約するための仕組みを示す資料（目安箱等））	
◉ 整備されている　○ 整備されていない	資料3-2-5-(5)-01_奈良高専学寮細則	
	資料3-2-5-(5)-02_奈良高専寮生会会則	

観点３－２－⑥　学生に対する経済面での援助が行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 経済面での相談・助言・支援が行われているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料（学生便覧、関係規程、ウェブサイトでの明示、学生への周知・案内文等）	
☑ 相談・助言	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：71～75頁
☑ 奨学金	資料3-2-6-(1)-01_R8「高専生の海外活動支援事業」対象学生募集	
☑ 入学料・授業料減免等	資料3-2-6-(1)-02_奈良工業高等専門学校篤志奨学金制度運営要領	
☐ 特待生		
☑ 緊急時の貸与等の制度		
☐ その他		

３－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

３－２　優れた点

３－２　改善を要する点

領域４　財務基盤及び管理運営

基準
４－１　財務運営が学校の目的に照らして適切であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点４－１－①　学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表され、また、財務に係る監査等が適正に行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 法令等に基づき、財務諸表等が作成・公表されていること。 ◉ 公表されている　○ 公表されていない	◇作成・公表状況が確認できる資料（【様式２－４】ウェブサイト掲載項目チェック表等）	
	【様式２－４】ウェブサイト掲載項目チェック表	高専機構ホームページの「独立行政法人等情報公開法第22条に規定する情報」にて公開されている。 https://www.kosen-k.go.jp/release/independence
(2) 財務に係る監査等が実施されていること。 ◉ 実施されている　○ 実施されていない	◇監査等が実施されていることが確認できる資料（学内会計監査規程等（科学研究費助成事業等の外部資金に関する監査規程も含む。）））	
	資料4-1-1-(2)-01_奈良工業高等専門学校内部監査規程	
	資料4-1-1-(2)-02_令和７年度公的研究費内部監査実施計画	
	資料4-1-1-(2)-03_令和７年度リスクアプローチ監査実施計画	
	資料4-1-1-(2)-04_高専相互会計内部監査実施計画	
	◇監査報告書等（外部監査、学内監査の監査報告書、学校間の相互会計内部監査に関する最新の報告書）	
	資料4-1-1-(2)-05_令和７年度公的研究費内部監査実施報告書	
	資料4-1-1-(2)-06_令和７年度リスクアプローチ監査実施報告書	
	資料4-1-1-(2)-07_高専相互会計内部監査報告書	

観点４－１－②　教育研究活動に必要な予算が配分され、経費が執行されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 過去５年間の財務状態が適切な状況となっていること。 ◉ なっている　○ なっていない	◇設置者の財務諸表等（過去５年間）	
	資料4-1-2-(1)-01_独立行政法人国立高等専門学校機構令和３年度財務諸表	
	資料4-1-2-(1)-02_独立行政法人国立高等専門学校機構令和４年度財務諸表	
	資料4-1-2-(1)-03_独立行政法人国立高等専門学校機構令和５年度財務諸表	
	資料4-1-2-(1)-04_独立行政法人国立高等専門学校機構令和６年度財務諸表	
	資料4-1-2-(1)-05_独立行政法人国立高等専門学校機構令和７年度財務諸表	
(2) 過去５年間の収支状況が適切となっていること。 ◉ 適切となっている　○ 適切となっていない	◇設置者の決算報告書（過去５年間）	
	資料4-1-2-(1)-01_独立行政法人国立高等専門学校機構令和３年度財務諸表（再掲）	
	資料4-1-2-(1)-02_独立行政法人国立高等専門学校機構令和４年度財務諸表（再掲）	
	資料4-1-2-(1)-03_独立行政法人国立高等専門学校機構令和５年度財務諸表（再掲）	
	資料4-1-2-(1)-04_独立行政法人国立高等専門学校機構令和６年度財務諸表（再掲）	
	資料4-1-2-(1)-05_独立行政法人国立高等専門学校機構令和７年度財務諸表（再掲）	

４－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

４－１　優れた点

４－１　改善を要する点

基準
４－２　管理運営体制が整備され、機能していること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点４－２－①　学校の管理運営体制が、適切な規模と機能を有していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 管理運営体制に関する規程等が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇管理運営に関する諸規程、整備状況が確認できる資料	
	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第8条～第10条
	資料2-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員組織規程（再掲）	奈良工業高等専門学校教員組織規程：第2条・第3条
	資料2-2-1-(1)-11_校務担当一覧（非公表）（再掲）	
(2) 委員会等の体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇諸規程、整備状況が確認できる資料（組織図等）	
	資料4-2-1-(2)-01_令和8年度組織体制図	
(3) 校長、副校長、主事等の役割分担が明確になっていること。 ◉ なっている　○ なっていない	◇学校の管理運営に携わることととされている者の役割分担が確認できる資料	
	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第8条～第10条
	資料2-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員組織規程（再掲）	奈良工業高等専門学校教員組織規程：第2条・第3条

観点４－２－②　法令遵守に係る取組及び危機管理に係る取組のための体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）

(1) 学校として、責任の所在を明確にした危機管理を含む安全管理体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇【様式２－７】法令遵守事項、危機管理体制等一覧	
	資料4-2-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校危機管理規程	
	資料4-2-2-(1)-02_奈良工業高等専門学校危機管理細則	
(2) 危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇危機管理マニュアル、学校防災マニュアル等	
	資料4-2-2-(2)-01_危機管理マニュアル（防災・自然災害編）	
	資料4-2-2-(2)-02_危機管理対応フロー図（非公表）	毎年4月に運営会議構成員に配付・共有している。
(3) (2)に基づき、定期的に訓練を行うなど、危機に備えた活動が行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇訓練や講習会等の実施に関する規程・計画、実施案内や実施状況に関する資料等	
	資料3-1-2-(1)-05_令和8年度学校保健計画・学校安全計画（再掲）	
	資料4-2-2-(3)-01_奈良工業高等専門学校消防計画（案2500710）	昨年度、記載あり。
	資料4-2-2-(3)-02_令和8年度防災訓練について（実施計画）	
	資料4-2-2-(3)-03_20260106_情報システム統括室運営委員会議事録（要機密情報2甲）	議題2．令和７年度情報セキュリティインシデント対応訓練の結果において報告があり、定められているインシデント対応を実施していない教職員へ指導した旨の報告がなされている。

観点４－２－③　学校として持続的な研究成果が創出されるような研究環境の整備や充実に向けた体制の整備や措置が組織的に図られているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教員に対して研究の水準の維持向上及び活性化を図るために行っている措置や制度があるか。（複数チェック⊡可）【より望ましい取組として分析】	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料（関係規程、実績等）	
☑ 学位取得に関する支援	資料4-2-3-(1)-01_独立行政法人国立高等専門学校機構教職員就業規則	高専機構就業規則第34条第1項第八号にて、教員の博士号取得について職務専念義務免除を定めている。
	資料4-2-3-(1)-02_職務専念義務免除願	
☑ 教員表彰制度の導入	資料1-2-3-(1)-01_奈良工業高等専門学校教員評価規程（再掲）	奈良工業高等専門学校教員評価規程：第7条
	資料2-4-3-(1)-02_奈良工業高等専門学校教職員顕彰に関する内規（再掲）	
	資料2-4-3-(1)-03_R080312_運営会議議事要録　本校の教員表彰者報告（再掲）	報告事項7.その他において、対象者の報告がある。
☐ 企業研修への参加支援		
☑ 校長裁量経費等の予算配分	資料2-4-3-(1)-01_令和8年度予算編成等スケジュール（再掲）	「教員研究費の傾斜配分実施要領」(要領１）：7頁
☑ ゆとりの時間確保策の導入	資料4-2-3-(1)-03_R051212_運営会議議事要録	報告事項1.の寮務関係において、次年度も学寮指導員を雇用ならびに増員するとの報告している。教員の宿直業務を削減することで、教育・研究等に充てる時間を確保している。
	資料4-2-3-(1)-04_奈良工業高等専門学校の競争的研究費の直接経費からの研究以外の業務代行に係る経費の支出（バイアウト制度）に係る実施要項	
☐ サバティカル制度の導入		
☑ 他の高等教育機関・研究機関との人事交流	資料4-2-3-(1)-05_高専と両技科大との教員交流実施要項	
☐ その他	資料4-2-3-(1)-06_独立行政法人国立高等専門学校機構における産学官連携活動の報奨制度取扱要領	
(2)研究を促進するため、研究施設・設備を有効に活用する工夫に努めているか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 努めている　○ 努めていない	◇関係規程、活用計画や実績等	
	資料4-2-3-(2)-01_奈良工業高等専門学校共通機器管理センター規程	本校が所有する学内共用や学外者が利用するための規程である。また学外者の研究機器の利用促進活動を行っている。
	資料4-2-3-(2)-02_奈良工業高等専門学校共通機器管理センター保有の研究設備・機器共用規程	
	資料4-2-3-(2)-03_共通機器予約・管理システム	https://www.nit-nara-ia-center.share-ac.jp/
(3) 外部の財務資源（科学研究費助成事業による外部資金、受託研究、共同研究、受託試験、奨学寄附金、同窓会等からの寄附金等）を積極的に受け入れる取組が行われているか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇過去５年間の外部の財務資源の受入れの取組及び受入実績に関する資料	
	資料4-2-3-(3)-01_奈良工業高等専門学校クラウドファンディング実施要項	外部資金獲得の手段として、クラウドファンディングを実施するための要項である。
	資料4-2-3-(3)-02_奈良工業高等専門学校 学生が実施するクラウドファンディングを活用した学生活動支援金の募集に関する取扱いについて	学生が実施するクラウドファンディングを活用した学生活動支援金の募集にかかる取り扱いである。令和8年度は1件実施した。
	資料4-2-3-(3)-03_奈良工業高等専門学校間接経費取扱規程	外部資金を獲得した教員へのインセンティブ配分率等を定めている。
	資料4-2-3-(3)-04_奈良工業高等専門学校における間接経費の配分に係る内規	
	資料4-2-3-(3)-05_令和７年度産学協働地域創生研究センター運営委員会資料（抜粋）	
	資料4-2-3-(3)-06_令和７年度科研費採択推進の取組	
	資料4-2-3-(3)-07_「奈良高専地域イノベーションコンソーシアム概要」	
	資料4-2-3-(3)-08_奈良高専地域イノベーションコンソーシアム規程	
	資料4-2-3-(3)-09_奈良高専イノベーションコンソーシアム加入企業等一覧（Ｒ７年度末）	
	資料4-2-3-(3)-10_自己点検・評価報告書（2025年10月）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：131頁～137頁（科研費等受入実績調べなど）
(4)教員・学生・研究に携わる職員に対して研究倫理に関する必要な研修等を実施する体制があるか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 体制がある　○ 体制がない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料（体制図、研究倫理規程等の関係規程、公的研究費等使用マニュアル等）	
	資料4-2-3-(4)-01_奈良工業高等専門学校における人を対象とする研究倫理に関する規程	
	資料4-2-3-(4)-02_奈良工業高等専門学校における人を対象とする研究倫理委員会規程	
	資料4-2-3-(4)-03_奈良工業高等専門学校における人を対象とする研究倫理委員会規程に関する申し合わせ事項	
	資料4-2-3-(4)-04_奈良工業高等専門学校における公的研究費等の取扱いに関する要項	
	資料4-2-3-(4)-05_公的研究費使用等使用マニュアル奈良高専版	

(5)（1）～（4）の学校としての取組により、持続的に研究成果が創出されていることを確認する。【より望ましい取組として分析】 ◉ 確認できる　〇 確認できない	◇持続的に研究成果が得られていることが確認できる資料	
	資料4-2-3-(3)-10_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：163頁（著書・研究論文等の発表件数調べについて（2019年～2024年）まとめ）、131頁～137頁（科研費等受入実績調べなど）
	資料4-2-3-(5)-01_研究紀要・研究年報｜奈良高専 図書館	本校の学術研究および教育の成果を年１回研究年報としてHPに掲載している。 https://www.nara-k.ac.jp/nnct-library/publication/report/

観点４－２－④　学校の組織的な取組として行う地域における連携による活動について、その推進に向けた体制の整備や措置が図られているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 地域貢献活動・地域との連携による活動に係る計画が策定されるとともに、改善を図るための体制が整備されているか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 整備されている　〇 整備されていない	◇実施方針・実施体制が確認できる資料（関係規程、関係委員会会議資料、議事要旨等）	
	資料4-2-4-(1)-01_協定一覧（R080529）	
	資料2-2-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校産学協働・地域創生研究センター規程（再掲）	
	資料4-2-3-(3)-08_奈良高専地域イノベーションコンソーシアム規程（再掲）	本コンソーシアムは、本校を地域イノベーション拠点とした活動を通じて産学官金協働による知的資源の創造と地域経済の活性化に資することを目的として設置したものである。
	資料4-2-3-(3)-10_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：141頁（学市連携協定に基づく科学教室・出前授業の実施状況）
	資料4-2-4-(1)-02_令和7年度奈良高専産学協働・地域創生研究センター運営委員会議事録・資料（抜粋）	
(2) 外部の教育・研究資源が活用されているか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 活用されている　〇 活用されていない	◇活用状況が確認できる資料（関係規程、協定一覧、連携事業の実績等）	
	資料4-2-4-(2)-01_奈良工業高等専門学校専攻科先端融合テクノロジー連携教育プログラム履修規程	
	資料4-2-4-(2)-02_奈良先端科学技術大学院大学との高専-大学院連携教育プログラム実施に関する規定	
	資料4-2-4-(2)-03_奈良先端科学技術大学院大学と奈良工業高等専門学校との連携教育プログラムに関する覚書（案）	
	資料2-2-2-(1)-01_奈良工業高等専門学校産学協働・地域創生研究センター規程（再掲）	
	資料4-2-4-(1)-01_協定一覧（再掲）	
	資料4-2-3-(3)-10_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：96頁・97頁（令和６年度特別講演会実施一覧、令和６年度第４学年対象進路セミナー実施一覧）
(3)（1）～（2）の学校としての取組により、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】 ◉ 上げられている　〇 上げられていない	◇優れた成果が得られていることが確認できる資料	
	資料4-2-4-(3)-01_令和8年度 公開講座一覧	R8年度開催（予定）の公開講座一覧である。R8年度の初の試みとして、近隣の大型商業施設（イオンモール大和郡山）にて公開講座を実施した。なお、本商業施設とは、R5.8に地域社会の教育研究・文化振興、人材育成、地域産業界等の活性化や振興の分野において、地域社会の発展に寄与することを目的として「包括連携協力に関する連携覚書」を締結している。
	資料4-2-4-(3)-02_R8受託事業契約書（イオンモール大和郡山）	教育研究の振興に基づく地域創生に係る諸活動として実施項目に記載のイベント等を開催し、本校の広報の一助としている。
	資料4-2-4-(3)-03_イノベーションコンソーシアムの寄付金（産学協働・地域創生研究センター議事録）	
	資料4-2-4-(3)-04_イノベーションコンソーシアム総会の式次第（好事例発表）	
	資料4-2-4-(3)-05_専攻科生の学会発表等件数（過去5年間）	

４－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

４－２　優れた点

４－２　改善を要する点

基準

４－３　管理運営を円滑に行うための事務組織が、適切な規模と機能を有していること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　〇 満たしていない

観点４－３－①　適切な規模と機能を有する管理運営を円滑に行うための事務組織が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 管理運営を行う事務組織の体制が規程等に基づき整備されていること。 ◉ 整備されている　〇 整備されていない	◇体制について定めた規程等	
	資料2-5-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校事務組織規程（再掲）	

観点４－３－②　管理運営体制及び管理運営を円滑に行うための事務組織が十分に任務を果たすことができるよう、研修等、管理運営に関わる職員の資質の向上を図るための取組（スタッフ・ディベロップメント＊）が組織的に行われていること
***スタッフ・ディベロップメント（以下、「ＳＤ」という。）**

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) ＳＤが組織的に実施されていること。 ◉ 実施されている　〇 実施されていない	◇実施体制・実施方針・内容・方法が確認できる資料（SDの実施方針、委員会規程、委員会等の組織関係図等）、実施状況一覧	
	資料2-4-4-(1)-01_奈良工業高等専門学校FD・SD推進委員会規程(再掲)	奈良工業高等専門学校ＦＤ・ＳＤ推進委員会規程：第２条
	資料4-3-2-(1)-02_2025FD・SD参加者数まとめ	運営会議にて報告し、受講率100%になるよう参加を呼び掛けている。
	資料2-4-4-(2)-01_R8_FD・SD実施状況（再掲）	

	資料4-3-2-(1)-04_FD研修「授業での生成AI活用」について（9_24開催）	研修終了後にアンケート（内容：参加の有無、欠席した場合はその理由、資料配付の場合には、業務等に役立たせる旨の確認）を依頼し、当日参加が不可であった教職員へ受講を促している。

４－３　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

４－３　優れた点

４－３　改善を要する点

基準

４－４　教員と事務職員等との役割分担が適切であり、連携体制が確保されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点４－４－①　教員と事務職員等の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 教員、事務職員や技術職員の適切な役割分担の下、必要な連携体制が確保されていること。 ◉ 確保されている　　○ 確保されていない	◇全校的な委員会等の体制が確認できる資料（関係規程等） ◇校務分掌・分担の一覧等	
	資料2-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員組織規程（再掲）	
	資料2-5-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校事務組織規程（再掲）	
	資料2-5-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教育研究支援室設置規程（再掲）	
	資料2-2-1-(1)-11_校務担当一覧（非公表）（再掲）	
	資料4-2-1-(2)-01_令和８年度組織体制図（再掲）	

４－４　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

４－４　優れた点

４－４　改善を要する点

基準

４－５　学校の教育研究活動等に関する情報の公表が適切であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点４－５－①　法令等が公表を求める事項が公表されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 法令に従い、以下の教育情報が適切に公表されていること。（すべての項目にチェック必須）	◇【様式２－４】ウェブサイト掲載項目チェック表	
☑ 学校の教育上の目的及び学校教育法施行規則第165条の２第１項の規定により定める方針	資料4-5-1-(1)-01_奈良高専HP教育方針	奈良高専HP教育方針
	資料4-5-1-(1)-11_教育情報の公表	https://www.nara-k.ac.jp/guide/open/education_information.html
	資料4-5-1-(1)-02_奈良高専HP沿革と組織	奈良高専HP学校案内：沿革と組織
☑ 教育研究上の基本組織 ☑ 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績	資料4-5-1-(1)-02_奈良高専HP沿革と組織（再掲） 資料4-5-1-(1)-03_学校概要_本科案内	奈良高専HP学校案内：沿革と組織 奈良高専HP刊行物：学校概要　本科案内　p.10～p.21 Researchmap
☑ 基幹教員に関する情報	資料4-5-1-(1)-04_奈良高専HP教員の紹介	奈良高専HP教育・研究：教員の紹介
☑ 入学者の選抜に関すること	資料4-5-1-(1)-05_奈良高専HP本科入試	奈良高専HP入学案内：本科入試
☑ 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況並びに外国人留学生の数	資料4-5-1-(1)-06_奈良高専HP過去の入試状況 資料4-5-1-(1)-07_奈良高専HP卒業生の進路	奈良高専HP入学案内：過去の入試状況 奈良高専HP入学案内：卒業生の進路
☑ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画	資料4-5-1-(1)-08_カリキュラム・シラバス	奈良高専HP教育・研究：カリキュラム・シラバス
☑ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準	資料4-5-1-(1)-09_奈良高専HP教育情報	奈良高専HP学校案内：教育情報の公表
☑ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境	資料4-5-1-(1)-09_奈良高専HP教育情報（再掲）	奈良高専HP学校案内：教育情報の公表
☑ 授業料、入学料その他の高等専門学校が徴収する費用	資料4-5-1-(1)-10_奈良高専HP所要経費	奈良高専HP本科入試：授業料等所要経費
☑ 高等専門学校が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援	資料3-2-1-(1)-03_奈良高専HP学生支援（再掲）	奈良高専HP学生生活：学生支援

４－５　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

４－５　優れた点

４－５　改善を要する点

領域５　準学士課程の教育活動の状況

基準
５－１　DPが具体的かつ明確であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点５－１－①　DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 関係法令やガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇準学士課程のＤＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：4～6頁（卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー））
	資料1-2-2-(1)-01_卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（本科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(2) DPが、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ準学士課程全体、各学科の目的（自己評価書Ⅱに記載したもの。）と整合性を有していること。 ◉ 整合性を有している　○ 整合性を有していない	◇準学士課程のＤＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：1～3頁（学習・教育目標）
	資料2-1-1-(1)-02_DPCP教育目標チェック（改訂）20251216（再掲）	R8.1.15運営会議にて現行の学習・教育目標、DP、CPの整合性確認ならびに見直しを行っている。
(3)DPが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須） ☑ 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力を示している	◇準学士課程のＤＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：4～6頁（卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー））
☑ 養成しようとする人材像の内容を示している	資料1-2-2-(1)-01_卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（本科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/

５－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－１　優れた点

５－１　改善を要する点

基準
５－２　CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点５－２－①　CPにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 関係法令やガイドラインを踏まえ、CPが定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇準学士課程のＣＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：5～9頁（教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー））
	資料1-2-2-(1)-02_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（本科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(2)CPが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須） ☑ どのような教育課程を編成するかを示している	◇準学士課程のＣＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：5～9頁（教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー））
☑ どのような教育内容・方法を実施するかを示している	資料1-2-2-(1)-02_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（本科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
☑ 学習成果をどのように評価するかを示している		

観点５－２－②　CPがDPと整合性を有していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) CPが、DPとの整合性を有していること。 ◉ 整合性を有している　○ 整合性を有していない	◇準学士課程のＣＰ及びＤＰ	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：5～9頁（教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー））
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：4～6頁（卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー））
	資料5-2-2-(1)-01_学習・教育目標、DP、CP整合確認表	学習・教育目標、DP、CP整合確認表
	資料2-1-1-(1)-02_DPCP教育目標チェック（改訂）20251216（再掲）	R8.1.15運営会議の審議事項1.にて現行の学習・教育目標、DP、CPの整合性確認ならびに見直しを行っている。

５－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－２　優れた点

５－２　改善を要する点

基準
５－３　教育課程がCPに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がＤＰに基づき設定されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点５－３－①　教育課程が体系的に編成されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）

(1) CPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。	◇授業科目の配置状況が確認できる資料（カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等）	
◉ 配置されている　〇 配置されていない	資料5-3-1-(1)-01_奈良高専HPカリキュラム・シラバス	奈良高専HP教育・研究：カリキュラム・シラバス
(2) 一般教育の充実が配慮されていること。	◇一般科目教育課程表、会議の議事録等	
◉ 配慮されている　〇 配慮されていない	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：別表第1　一般教科カリキュラム
(3) 進級に関する規程が整備されていること。	◇進級に関する規程	
◉ 整備されている　〇 整備されていない	資料1-2-2-(1)-11_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則
観点５－３－②　創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料（ＰＢＬ型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-3-2-(1)-01_情報アクティブラーニング	情報アクティブラーニングⅠ・Ⅱシラバス
	資料5-3-2-(1)-02_創造設計製作	創造設計製作シラバス
(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料（シラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-3-2-(2)-01_学外実習	学外実習シラバス
(3)その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外（例：学生の国際性涵養（かんよう）に向けた教育など）で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。（シラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-3-2-(3)-01_異文化交流	異文化交流Ⅰ～Ⅴシラバス
	資料5-3-2-(3)-02_海外協働研修	海外協働研修Ⅰ～Ⅴシラバス
(4)（1）～（3）の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】	◇これらの取組実績により得られた、学校として優れた成果が確認できる資料	
◉ 上げられている　〇 上げられていない	資料5-3-2-(4)-01_奈良高専の取組・特色	奈良高専HP奈良高専の取組・特色
５－３　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。		
５－３　優れた点		
５－３　改善を要する点		
基準 **５－４　DP及びCPに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること**		
基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◉ 満たしている　〇 満たしていない		
観点５－４－①　１年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)1年間の授業を行う期間が、35週確保されていること。	◇35週が確保されている状況が確認できる資料（行事予定表、時間割表等）	
◉ 確保されている　〇 確保されていない	資料5-4-1-(1)-01_令和８年度_年間行事予定表	令和８年度_年間行事予定表
観点５－４－②　特別活動が90単位時間以上実施されていること		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 特別活動が90単位時間以上実施されていること。	◇特別活動の実施状況が確認できる資料（関係規程、時間割表、特別活動予定表等）	
◉ 実施されている　〇 実施されていない	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：29頁（教育課程と特別活動）
観点５－４－③　適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること		
直近の認証評価において本観点に係る「改善を要する点」の指摘がなく、各項目の内容に大きな変更がない場合は、本観点の分析は不要。その場合、下記「直近の認証評価における指摘等なし」にチェック☑すること。 ☐ 直近の認証評価における指摘等なし		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) ＣＰに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。	◇授業形態の開講状況（学科別の授業形態の構成割合等）が確認できる資料	
◉ 採用されている　〇 採用されていない	資料5-3-1-(1)-01_カリキュラム・シラバス（再掲）	奈良高専HP：教育・研究_カリキュラム・シラバス
(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。（複数チェック☑可） ☑ 教材の工夫 ☐ 少人数教育 ☑ 対話・討論型授業 ☐ フィールド型授業 ☑ 情報機器の活用 ☑ 基礎学力不足の学生に対する配慮 ☐ その他	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料（シラバス、事例を示す資料等） 資料5-4-3-(2)-01_学習指導上の工夫	奈良高専HP：教育・研究_カリキュラム・シラバス_本科シラバス
(3) CPを踏まえて、シラバスの作成要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。	◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料	
◉ 規定・作成されている　〇 規定・作成されていない	資料5-4-3-(3)-01_奈良工業高等専門学校webシラバス作成要領	奈良工業高等専門学校webシラバス作成要領
(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。	◇組織的な確認の体制が確認できる資料 ◇活用状況を把握する体制が確認できる資料 ◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料	
◉ 行っている　〇 行っていない	資料5-4-3-(4)-01_令和８年度シラバスの作成について	令和７年12月教務委員会議事要録：８．令和７年度シラバスの作成について
	資料5-4-3-(4)-02_令和７年度授業アンケート実施について	令和７年度授業アンケート実施について

(5) 設置基準第17条第3項の規定に基づき、授業科目（いわゆる履修単位科目）は１単位当たり30単位時間を確保していること。 ◉ 確保している　○ 確保していない	◇状況が確認できる資料（学年暦、時間割、年間行事予定表等）	
	資料5-4-3-(5)-01_令和８年度_授業時間割（前期）	令和８年度_授業時間割（前期）
	資料5-4-1-(1)-01_令和８年度_年間行事予定表（再掲）	令和８年度_年間行事予定表
(6) (5)の30単位時間授業では、１単位時間を標準50分としていること。 ◉ している　○ していない	◇状況が確認できる資料（学則、時間割等）	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：33・34頁（校時について）
	90 分（45 分×２連続）の授業時間で運用している。これにより、出欠確認、教材や機器等の準備・後片付け作業が一度で済み、標準50分×２回に相当する教育内容を確保している。	
(7)設置基準第17条第4項の規定に基づき １単位の履修時間が授業時間外の学修と合わせて45時間である授業科目（いわゆる学修単位科目）を配置している場合には、授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、１単位の履修時間は授業時間外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間外の学修が設定されていること。 ◉ 明示・設定されている　○ 明示・設定されていない	◇学則（授業形態ごとの授業時間に関する定め） ◇明示状況が確認できる資料（シラバス、履修要項、学生便覧等）	
	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：30頁（学修時間等の取り扱いについて）

５－４　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－４　優れた点

５－４　改善を要する点

基準

５－５　適切な履修指導、支援が行われていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　○ 満たしていない

観点５－５－①　学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料（関係規程、教育課程表、シラバス、実績等）	
☐ 他学科の授業科目の履修を認定	資料5-5-1-(1)-01_学外実習シラバス	学外実習シラバス
☑ インターンシップによる単位認定	資料5-5-1-(1)-02_実用英語Ⅰ～Ⅴシラバス	実用英語Ⅰ～Ⅴシラバス
☐ 専攻科課程教育との連携	資料5-5-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校の他大学等における修得単位認定に関する規程	奈良工業高等専門学校の他大学等における修得単位認定に関する規程
☑ 資格取得に関する教育		
☑ 他の高等教育機関との単位互換制度		
☐ 個別の授業科目内での工夫		
☐ 最先端の技術に関する教育		
☐ その他		
(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っているか。 ◉ 取り扱っている　○ 取り扱っていない	◇単位互換制度の内容が確認できる資料（関係規程等）	
	資料5-5-1-(1)-03_奈良工業高等専門学校の他大学等における修得単位認定に関する規程（再掲）	奈良工業高等専門学校の他大学等における修得単位認定に関する規程
(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。 ◉ 実施されている　○ 実施されていない	◇ガイダンス実施要項等	
(4)特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料（実施日程表、実施要項）	
☑ 編入学生	資料5-5-1-(3)-01_教務関係ガイダンス	令和８年度入学予定者オリエンテーション配布資料（編入学生用）
☑ 留学生	資料5-5-1-(3)-02_留学生のしおり	留学生のしおり
☐ 障害のある学生		
☐ 社会人学生		
☐ その他		

観点５－５－②　学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料（関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他整備した体制が確認できる資料等）	
☑ 担任制・指導教員制の整備	資料5-5-2-(1)-01_令和７年度学級経営の記録	令和７年度学級経営の記録
☑ オフィスアワーの整備	資料5-5-2-(1)-02_オフィスアワーの時間設定について	オフィスアワーの時間設定について：メール通知
☑ 対面型の相談受付体制の整備	資料5-5-2-(1)-03_奈良工業高等専門学校グローバル教育センター規程	奈良工業高等専門学校グローバル教育センター規程
☐ 電子メールによる相談受付体制の整備	資料5-5-2-(1)-04_学級担任一覧	学級担任一覧
☑ ＩＣＴを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備	資料5-5-2-(1)-05_WebClass、Teams等の利用	WebClass、Teams等の利用について
☐ 資格試験・検定試験等の支援体制の整備		
☑ 外国への留学に関する支援体制の整備		
☐ その他		
(2) 学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料（関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他制度が確認できる資料等）	
☑ 担任制・指導教員制の導入	資料2-2-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校教員組織規程（再掲）	奈良工業高等専門学校教員組織規程：第４条９
☐ 学生との懇談会		
☑ 意見投書箱	資料1-2-3-(2)-09_公式HP（学生・保護者の皆様へ）意見箱（再掲）	奈良高専HP：学生生活_意見箱 https://www.nara-k.ac.jp/life/opinionbox/
☐ その他		

観点５－５－③　正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】	◇支援体制が確認できる資料（関係規程、利用実績等）	
◉ 利用して学習している　〇 利用して学習していない	資料5-5-3-(1)-01_奈良高専HP国際交流参加報告	奈良高専HP：奈良高専の取組・特色_国際交流参加報告
	資料5-5-3-(1)-02_国際交流　派遣・受入事業一覧	

５－５　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－５　優れた点

５－５　改善を要する点

基準
５－６　DPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　〇 満たしていない

観点５－６－①　CP及びDPに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が、CPに基づき策定されていること。	◇成績評価や単位認定に関する規程等	
◉ 策定されている　〇 策定されていない	資料1-2-2-(1)-11_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。	◇追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等	
◉ 策定されている　〇 策定されていない	資料1-2-2-(1)-11_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則
	資料5-6-1-(2)-01_奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する申し合わせ事項	奈良工業高等専門学校学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する申し合わせ事項
(3) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料（関係規程、成績判定会議に関する資料等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-6-1-(3)-01_令和７年度進級認定資料	令和７年度進級認定資料
(4) １単位の履修時間が授業時間外の学修と合わせて45時間である授業科目（学修単位科目）を配置している場合、授業時間外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。	◇学修単位科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料（会議資料等）	
◉ 把握している　〇 把握していない	資料5-4-3-(3)-01_奈良工業高等専門学校webシラバス作成要領（再掲）	奈良工業高等専門学校webシラバス作成要領

観点５－６－②　成績評価認定基準が学生に周知されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。	◇周知を図る取組の内容が確認できる資料（学生便覧、ウェブサイトでの明示等）	
◉ 周知されている　〇 周知されていない	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：134～136頁（学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則）
	資料1-2-2-(1)-11_学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	

観点５－６－③　成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。（すべての項目にチェック必須）	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料（左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程等）	
☑ 答案の返却	資料5-6-3-(1)-01_Webシラバス_授業計画	Webシラバス：授業計画_試験返却・解答
☑ 模範解答や採点基準の提示	資料5-6-3-(1)-01_Webシラバス_授業計画（再掲）	Webシラバス：授業計画_試験返却・解答
☑ 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック	資料5-6-3-(1)-02_2026年度「成績根拠資料」作成の手引き	2026年度「成績根拠資料」作成の手引き_5.点検方法
☑ 成績評価の妥当性の事後チェック（シラバス通りに成績評価が行われていることの確認）	資料5-6-3-(1)-02_2026年度「成績根拠資料」作成の手引き（再掲）	2026年度「成績根拠資料」作成の手引き_5.点検方法
☑ 試験問題のレベルが適切であることのチェック	資料5-6-3-(1)-02_2026年度「成績根拠資料」作成の手引き（再掲）	2026年度「成績根拠資料」作成の手引き_5.点検方法

観点５－６－④　成績に対する異議申立て制度が組織的に設けられていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等	
◉ 定められている　〇 定められていない	資料5-4-1-(1)-01_令和８年度_年間行事予定表（再掲）	令和８年度_年間行事予定表_成績・欠課時数確認期間

５－６　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－６　優れた点

５－６　改善を要する点

基準
５－７　学校の目的及びCPに基づき、公正な卒業判定が実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　〇 満たしていない

観点５－７－①　卒業認定基準をDPに従って、組織として策定していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学校が定める卒業要件が組織的に策定され、設置基準が定める要件と整合していること。	◇卒業要件が組織的に策定されていることが確認できる資料（学則、卒業認定基準等）	
◉ 整合している　〇 整合していない	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第２条

観点５－７－②　策定された卒業要件が学生に周知されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 卒業認定基準が学生に周知されていること。	◇周知した資料（学生便覧、ウェブサイトでの明示等）	
◉ 周知されている　〇 周知されていない	資料3-1-1-(2)-01_学生生活のしおり（再掲）	令和８年度学生生活のしおり：134～136頁（学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則）
	資料1-2-2-(1)-11_学業成績評価，進級及び卒業の認定に関する規則（再掲）	

観点５－７－③　卒業の認定が、卒業認定基準に基づき組織的に実施されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 卒業認定基準に基づき、組織として卒業認定していること。	◇卒業判定時に使用する様式等	
◉ している　〇 していない	資料5-7-3-(1)-01_令和７年度卒業認定資料	令和７年度卒業認定資料

５－７　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－７　優れた点

５－７　改善を要する点

基準
５－８　学校の目的及びDPに基づき、適切な学習成果が得られていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　〇 満たしていない

観点５－８－①　DPに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が卒業時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・卒業生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　〇 整備されていない	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項：第１
	資料1-2-1-(1)-01奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）（再掲）	

観点５－８－②　卒業時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（卒業時アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料1-2-3-(1)-06_令和７年度　卒業時・修了時アンケート集計結果（抜粋：ディプロマポリシー達成割合）（再掲）	
	資料5-8-2-(1)-01_令和７年度_卒業生・修了生アンケート結果	令和７年度_卒業生・修了生アンケート
	資料5-8-2-(1)-02_令和8年3月_運営会議議事録（要機密情報2甲_学内限り）	報告事項1.の総務部門関係において、令和７年度卒業生・修了時アンケート結果（DP達成度）の報告ならびに改善の報告があった。
	資料1-2-3-(1)-11_令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果総括（再掲）	
	資料2-5-2-(1)-01_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：161頁（卒業生・修了生アンケート集計結果総括）

観点５－８－③　卒業後一定期間の就業経験等を経た卒業生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生（卒業後５年程度たった者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（卒業生アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-8-2-(1)-01_R7_卒業生・就職先アンケート結果（再掲）	総務委員会において２年毎にアンケートを実施している。

観点５－８－④　就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が卒業時に身に付けた学力、資質・能力について、卒業生の就職・進学先の関係者に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
◉ 行われている　〇 行われていない	資料5-8-2-(1)-01_R7_卒業生・就職先アンケート結果（再掲）	
	資料5-8-4-(1)-01_R070904_総務委員会議事要録（要機密情報2甲）	

５－８　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－８　優れた点

５－８　改善を要する点

基準

5－9　APが具体的かつ明確であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点5－9－①　APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)関係法令及びガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇準学士課程のＡＰ	
	資料1-2-2-(1)-03_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（本科）（再掲）	奈良高専HP：教育方針_アドミッション・ポリシー https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(2)APが、学校や学科の目的（自己評価書Ⅱに記載したもの。）、DP、CPを踏まえて策定されていること。 ◉ 策定されている　○ 策定されていない	◇準学士課程のＡＰ	
	資料1-2-2-(1)-03_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（本科）（再掲）	奈良高専HP：教育方針_アドミッション・ポリシー https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(3)APが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須） ☑ 入学者選抜の基本方針 ☑ 求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）	◇準学士課程のＡＰ	
	資料1-2-2-(1)-03_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（本科）（再掲）	奈良高専HP：教育方針_アドミッション・ポリシー（1. 求める学生像、2. 入学者選抜の方針） https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/

5－9　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

5－9　優れた点

5－9　改善を要する点

基準

5－10　学生の受入れが適切に実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点5－10－①　APに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) AP、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等。）、面接内容、配点・出題方針その他）となっていること。 ◉ なっている　○ なっていない	◇選抜区分ごとの入学者選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料（議事要旨等）	
	資料5-10-1-(1)-01_学生募集要項	令和８年度学生募集要項
	資料5-10-1-(1)-02_面接要領	面接要領
	資料5-10-1-(1)-03_合否判定基準	合否判定基準
	資料5-10-1-(1)-04_合否判定資料（推薦・学力）	合否判定資料（推薦・学力）

観点5－10－②　APに沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果が入学者選抜の改善に役立てられていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
	資料1-2-1-(1)-01奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）（再掲）	
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、APに沿っているかどうかの検証が行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇検証した資料（会議資料等）	
	資料5-10-2-(2)-01_R8_アドミッションポリシーの適合割合の確認	本年度後期中間試験期間中に実施予定
(3) (2)の検証の結果が入学者選抜の改善に役立てられていること。 ◉ 役立てられている　○ 役立てられていない	◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果が改善に役立てられている状況について、資料を基に記述する。	
	資料5-10-2-(2)-01_R8_アドミッションポリシーの適合割合の確認（再掲）	本年度後期中間試験期間中に実施予定 アドミッションポリシーの妥当性及び入学学生の適合度の確認のため、本科１年生学級担任および専門科目担当教員においてはクラスの学生の様子から、専攻科１年生の指導教員においては研究室の所属学生の様子から、それぞれのアドミッションポリシーにどの程度適合しているかアンケートを聴取している。

5－10　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

5－10　優れた点

5－10　改善を要する点

基準

5－11　実入学者数が入学定員※に対して適正な数となっていること　※収容定員を５で除した数

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点5－11－①　実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 収容定員が学科ごとに学則で定められていること。また、１学級当たり40人が標準とされていること。	◇学則の該当箇所	

◉ 定められている・標準とされている　〇 定められていない・標準とされていない	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則（再掲）	奈良工業高等専門学校学則：第7条
(2) 学科ごとの入学定員と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
◉ 整備されている　〇 整備されていない	資料5-11-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校入試専門部会規程	奈良工業高等専門学校入試専門部会規程：第2条
(3) 過去５年間の学科ごとの入学定員に対する実入学者数が適正であること。	◇【様式２－２】平均入学定員充足率計算表	
◉ 適正である　〇 適正でない		
(4) 過去５年間で、学科ごとの実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合は、改善の取組を行っていること。	◆大幅に超過、又は大幅に不足している状況にあった場合には、該当する学科について、実入学者数の改善に資する取組や教育環境等の改善により教育等に支障が生じないように取った対応等、実際に行った事例が確認できる資料を基に記述する。	
〇 行っている　◉ 行っていない		過去５年間において、実入学者数の大幅な超過または不測の状況は発生していない。

５－11　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

５－11　優れた点

５－11　改善を要する点

領域６　専攻科課程の教育活動の状況

基準

６－１　DPが具体的かつ明確であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点６－１－①　DPが、学校の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 関係法令及びガイドラインを踏まえ、DPが定められていること。	◇専攻科課程のＤＰ	
◉ 定められている　○ 定められていない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧	専攻科学生便覧：3・4頁（ポリシー）
	資料1-2-2-(1)-04_修了の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(2) DPが、「何ができるようになるか」に力点を置いたものであり、かつ専攻科課程全体、各専攻の目的（自己評価書Ⅱに記載したもの。）と整合性を有していること。	◇専攻科課程のＤＰ	
◉ 整合性を有している　○ 整合性を有していない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：4頁（ポリシー（DP)）
	資料1-2-2-(1)-04_修了の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(3)DPが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須）	◇専攻科課程のＤＰ	
☑ 学生が修了時に身に付ける学力、資質･能力を示している	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：3頁（教育方針）
	資料1-2-2-(1)-04_修了の認定に関する方針（ディプロマポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
☑ 養成しようとする人材像の内容を示している	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：4頁（ポリシー（DP)）

６－１　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－１　優れた点

６－１　改善を要する点

基準

６－２　CPが具体的かつ明確であり、DPと整合していること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点６－２－①　CPにおいて、①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) ガイドライン等を踏まえ、CPが定められていること。	◇専攻科課程のＣＰ	
◉ 定められている　○ 定められていない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧(再掲)	専攻科学生便覧：3・4頁（ポリシー）
	資料1-2-2-(1)-05_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
(2)CPが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須）	◇専攻科課程のＣＰ	
☑ どのような教育課程を編成するかを示している	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧(再掲)	専攻科学生便覧：3・4頁（ポリシー）
☑ どのような教育内容･方法を実施するかを示している	資料1-2-2-(1)-05_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
☑ 学習成果をどのように評価するかを示している		

観点６－２－②　CPがDPと整合性を有していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) CPが、DPとの整合性を有していること。	◇専攻科課程のＣＰ及びＤＰ	
◉ 整合性を有している　○ 整合性を有していない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧(再掲)	専攻科学生便覧：3・4頁（ポリシー）
	資料1-2-2-(1)-05_教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/

６－２　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－２　優れた点

６－２　改善を要する点

基準

６－３　教育課程がＣＰに基づき体系的に編成され、授業科目の内容がＤＰに基づき設定されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点６－３－①　教育課程が体系的に編成されていること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価（特例適用専攻科又はＪＡＢＥＥ認定プログラムの認定など。以下領域6において同じ。）の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) CPを踏まえて、適切な授業科目が体系的に配置されていること。	◇授業科目の配置状況が確認できる資料（カリキュラムマップ、コース・ツリー、学生便覧等）	
◉ 配置されている　○ 配置されていない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧(再掲)	専攻科学生便覧：3・4頁（ポリシー）

観点６－３－②　準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっていること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 専攻科の教育課程が、準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮していること。	◇連携及び発展等の考慮状況が確認できる資料（科目系統図、連携状況を示す資料等）	
◉ 考慮している　○ 考慮していない	資料6-3-2-(1)-01_システム創成工学専攻機械制御システムコースカリキュラムマップ	
	資料6-3-2-(1)-02_システム創成工学専攻電気電子システムコースカリキュラムマップ	
	資料6-3-2-(1)-03_システム創成工学専攻情報システムコースカリキュラムマップ	
	資料6-3-2-(1)-04_物質創成工学専攻カリキュラムマップ	

観点６－３－③　創造力、実践力等を育む教育方法の工夫が図られているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 創造力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている、創造力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料（ＰＢＬ型の授業や創造型の演習のシラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 工夫が行われている　○ 工夫が行われていない	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス(再掲)	システムデザイン演習、地域社会技術特論
	資料6-3-3-(1)-01_Webシラバス（システムデザイン演習、地域社会技術特論）	
(2) 実践力を育む教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている、実践力を育む教育方法の具体的な工夫が確認できる資料（シラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 工夫が行われている　○ 工夫が行われていない	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス(再掲)	地域社会技術特論、ビジネスデザイン、エンジニアと経営、インターンシップ
	資料6-3-3-(2)-01_Webシラバス（地域社会技術特論、ビジネスデザイン、エンジニアと経営、インターンシップ）	
(3)その他教育方法の工夫が行われているか。【より望ましい取組として分析】	◇教育プログラムの一環として行われている取組で、(1)(2)以外（例：学生の国際性涵養（かんよう）に向けた教育など）で教育方法の工夫を行っているものがあれば内容を示し、具体的な工夫が確認できる資料を提示する。（シラバス、授業教材、受講者数等）	
◉ 工夫が行われている　○ 工夫が行われていない	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス(再掲)	アドバンスト・グローバルコミュニケーション、アドバンスト・グローバルチャレンジ、アドバンスト・グローバルエンジニアスキル、海外インターンシップ
	資料6-3-3-(3)-01_Webシラバス（アドバンスト・グローバルコミュニケーション、アドバンスト・グローバルチャレンジ、アドバンスト・グローバルエンジニアスキル、海外インターンシップ）	
(4)（1）～（3）の学校としての取組の結果、優れた成果が上げられているか。【より望ましい取組として分析】	◇これらの取組実績により得られた、優れた成果が確認できる資料	
◉ 上げられている　○ 上げられていない	資料4-2-4-(3)-05_専攻科生の学会発表等件数（過去5年間）(再掲)	

６－３　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－３　優れた点

６－３　改善を要する点

基準

６－４　DP及びCPに基づき、適切な授業形態、学習指導法が採用されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　○ 満たしていない

観点６－４－①　１年間の授業を行う期間が原則として35週にわたるものとなっていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)1年間の授業を行う期間が、35週確保されていること。	◇35週が確保されている状況が確認できる資料（行事予定表、時間割表等）	
◉ 確保されている　○ 確保されていない	資料5-4-1-(1)-01_R7年間行事予定表(再掲)	
	資料6-4-1-(1)_R7前期時間割表	
	資料6-4-1-(2)_R7後期時間割表	

観点６－４－②　適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) ＣＰに照らして、講義、演習、実験、実習の適切な授業形態が採用されていること。	◇授業形態の開講状況（専攻別の授業形態の構成割合等）が確認できる資料	
◉ 採用されている　○ 採用されていない	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス（再掲）	
	資料6-4-2-(1)-01_科目情報ファイル	本科と共通
(2) 教育内容に応じて行っている、学習指導上の工夫には、どのような工夫があるか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の実施体制が確認できる資料（シラバス、事例を示す資料等）	
☑ 教材の工夫	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス（再掲）	（教育方法、授業の属性・履修上の区分）
☑ 少人数教育	資料6-4-2-(2)-01_WebClass	
☑ 対話･討論型授業	資料6-4-2-(2)-02_365Teams	
☐ フィールド型授業	資料6-4-2-(2)-03_Webシラバス（教育方法、授業の属性・履修上の区分）	
☑ 情報機器の活用		

□ 基礎学力不足の学生に対する配慮		
□ その他		
(3) CPを踏まえて、シラバスの作成要領を示す文書において記載すべき項目が明確に規定され、それに基づきシラバスが適切に作成されていること。 ◉ 作成されている　○ 作成されていない	◇シラバスの作成要領や具体例等が確認できる資料	
	資料6-4-2-(3)-01_Webシラバス操作マニュアル	
	資料6-4-2-(3)-02_奈良高専教員用Web シラバスシステム操作マニュアル（共通）	奈良高専教員用Web シラバスシステム操作マニュアル（共通）p1～8
(4) 組織的に、最新のシラバスが漏れなく提示されているかの確認及び学生のシラバスの活用状況を把握し、その把握した状況を基に改善を行っていること。 ◉ 行っている　○ 行っていない	◇ 組織的な確認の体制が確認できる資料	
	資料6-4-2-(4)-01_専攻科委員会議事録（令和7年度1月）	（不十分な部分についてはR7年より改善）
	資料6-4-2-(4)-02_専攻科委員会議事録（令和7年度2月）	
	◇活用状況を把握する体制が確認できる資料	
	資料6-4-2-(4)-02_授業チェックシート（本科共通）	
	資料2-5-2-(1)-01_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：162頁（授業チェックシート）
	◇改善を行った事例がある場合は、改善事例の具体的内容が確認できる資料	
	資料6-4-2-(4)-02_授業チェックシート（本科共通）（再掲）	
(5)授業科目ごとのシラバス、あるいはシラバス集、履修要項等に、１単位の履修時間は授業時間外の学修等を合わせて45時間であることを明示していること。その際、学則に定める授業形態ごとの単位時間数に応じた授業時間外の学修が設定されていること。 ◉ 明示・設定されている　○ 明示・設定されていない	◇学則（授業形態ごとの授業時間に関する定め）	
	◇明示状況が確認できる資料（シラバス、履修要項、学生便覧等）	
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：6頁

観点６－４－③　CPに基づき、教養教育や研究指導が適切に行われていること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生への教養教育や研究指導が、適切に行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇教養教育や研究指導の実施状況が確認できる資料	
	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス（再掲）	（地域創生工学研究、工学基礎研究、特別研究）
	資料6-4-3-(1)-01_Webシラバス（地域創生工学研究、工学基礎研究、特別研究）	
	◇特別研究の指導の枠組み及び指導状況と内容を示す資料（指導教員・副指導教員の指導状況、技術職員の研究のサポート状況等）	
	資料6-4-3-(1)-02_特別研究　評価シート（各専攻、コース）	

６－４　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－４　優れた点

６－４　改善を要する点

基準

６－５　適切な履修指導、支援が行われていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　○ 満たしていない

観点６－５－①　学生のニーズに応えるための履修指導の体制が組織として整備され、指導、助言が行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等を踏まえ、教育課程における具体的な配慮としてどのようなことを行っているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした各項目の実施状況が確認できる資料（関係規程、教育課程表、シラバス、実績等）	
☑ 他専攻の授業科目の履修を認定	資料6-5-1-(1)-01_専攻科前期末成績（1，2年）および専攻科学年末成績（１，２年）	
☑ インターンシップによる単位認定		
☑ 準学士課程教育との連携		
□ 資格取得に関する教育		
☑ 他の高等教育機関との単位互換制度		
☑ 個別の授業科目内での工夫		
☑ 最先端の技術に関する教育		
□ その他		
(2) 他の高等教育機関との単位互換制度を設けている場合、法令に従い適切に取り扱っていること。 ◉ 取り扱っている　○ 取り扱っていない	◇単位互換制度の内容が確認できる資料（関係規程等）	
	資料6-5-1-(2)-01_奈良高専専攻科他大学等における習得単位認定に関する規定	
(3) 教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか。 ◉ 実施されている　○ 実施されていない	◇ガイダンス実施要項等	
	資料6-5-1-(3)-01_R7専攻科年度当初予定	
	資料6-5-1-(3)-02_1年生ガイダンス資料（各専攻コース、4月当初）、2年生ガイダンス資料（4月当初）	
(4)特別な支援が必要と考えられる学生に対し、教育を実施する上でのガイダンスが実施されているか（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の実施状況が確認できる資料（実施日程表、実施要項）	
□ 留学生		
□ 障害のある学生		
☑ 社会人学生	資料6-5-1-(4)-01_社会人学力入試実施要領	
□ その他		

観点６－５－②　学生のニーズに応えるための学習相談の体制が整備され、助言、支援が行われていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生の自主的学習を進める上で、どのような相談・助言体制が整備されているか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の整備状況が確認できる資料（関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他整備した体制が確認できる資料等）	
□ 担任制・指導教員制の整備	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：58・59頁
☑ オフィスアワーの整備		
☑ 対面型の相談受付体制の整備	資料6-4-2-(2)-01_WebClass（再掲）	
☑ 電子メールによる相談受付体制の整備	資料6-4-2-(2)-02_365Teams（再掲）	
☑ ＩＣＴを活用した成績確認や学習相談等に関するシステムの整備		
□ 資格試験・検定試験等の支援体制の整備		
□ 外国への留学に関する支援体制の整備		
□ その他		
(2)学習支援に関して学生のニーズを把握するための制度があるか。（複数チェック☑可）	◇チェックした項目の制度内容が確認できる資料（関係規程、学生便覧、学生への周知・案内文、その他制度が確認できる資料等）	
☑ 担任制・指導教員制の導入	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	
□ 学生との懇談会		
☑ 意見投書箱	資料6-5-2-(2)-01_意見投書箱（本科と併用）	
□ その他		

観点６－５－③　正規学生に海外で学習する機会が提供され、有効に活用されているか【より望ましい取組として分析】

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 提供された機会を利用して学生が海外で学習しているか。【より望ましい取組として分析】	◇支援体制が確認できる資料（関係規程、利用実績等）	
◉ 利用して学習している　○ 利用して学習していない	資料6-5-3-(1)-01_海外インターンシップ（非公表）	

６－５　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－５　優れた点

６－５　改善を要する点

基準

６－６　CPに基づき、公正な成績評価が厳格かつ客観的に実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　○ 満たしていない

観点６－６－①　DP及びCPに基づき定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、成績評価基準が組織として策定されていること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が、CPに基づき策定されていること。	◇成績評価や単位認定に関する規程等	
◉ 策定されている　○ 策定されていない	資料6-6-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校専攻科履修規程	
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	専攻科学生便覧：3・4頁(カリキュラム・ポリシー)
(2) 追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法が定められていること。	◇追試験、再試験、単位追認試験の成績評価方法を定めた規程等	
◉ 定められている　○ 定められていない		専攻科の試験は、試験期間を設けず、授業期間中に実施しています。そのため、追試験は成績提出期限までに、実施可能な日程で実施しています。また、再試験についても、成績提出期限までに必要な指導を行ったうえで実施し、その結果を最終評価として提出しています。
(3) 成績評価や単位認定に関する基準に基づき、各授業科目の単位認定等が行われていること。	◇成績評価の組織内でのチェック等、成績評価が適切に実施されていることが確認できる資料（関係規程、成績判定会議に関する資料等）	
◉ 行われている　○ 行われていない	資料6-6-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校専攻科履修規程（再掲）	
(4) １単位の履修時間が授業時間外の学修と合わせて45時間である授業科目(学修単位科目)を配置している場合、授業時間外の学修についての評価がシラバスの記載どおりに行われていることを学校として把握していること。	◇学修単位科目の授業時間外学修を把握する体制、手法、手順等に関する資料（会議資料等）	
◉ 把握している　○ 把握していない	資料1-2-2-(1)-08_Webシラバス（再掲）	

観点６－６－②　成績評価認定基準が学生に周知されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定に関する基準が学生に周知されていること。	◇周知を図る取組の内容が確認できる資料（学生便覧、ウェブサイトでの明示等）	
◉ 周知されている　○ 周知されていない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	

観点６－６－③　成績評価基準に基づき各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価や単位認定の客観性、厳格性を担保するため、学校として組織的な措置が行われていること。（すべての項目にチェック必須）	◇学校として組織的に取り組まれている内容が確認できる資料（左記に示す事項について、どのようにチェックするかが記された規程、前年度の確認結果が確認できる資料等）	
☑ 成績評価の妥当性の事後チェック（シラバス通りに成績評価が行われていることの確認）	資料6-6-3-(1)-01_グループFD実施報告書【本科共通】	
☑ 答案の返却	資料6-4-2-(4)-02_授業チェックシート【本科共通】（再掲）	
☑ 模範解答や採点基準の提示	資料2-5-2-(1)-01_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：162頁（授業チェックシート）
☑ 同じ試験問題が繰り返されていないことのチェック		
☑ 試験問題のレベルが適切であることのチェック		
	◇同一の試験問題が使われていないことの確認に関し、評価実施の前年度に行った組織的な措置が確認できる資料（関係の会議資料、議事録、（あれば）是正措置が行われたことを確認できる資料）	

	資料6-6-3-(1)-01_グループFD実施報告書【本科共通】(再掲)	

観点６－６－④　成績に対する異議申立制度が組織的に設けられていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 成績評価結果に関する学生からの意見申立ての機会が規程等により定められていること。 ◉ 定められている　　○ 定められていない	◇学生からの意見申立てについて定めた規程等	
	資料6-6-4-(1)-01_成績評価訂正願（様式）	
	資料6-6-4-(1)-02_専攻科成績確認期間に関する申し合わせ	

６－６　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－６　優れた点

６－６　改善を要する点

基準

６－７　学校の目的及びDPに基づき、公正な修了判定が実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点６－７－①　修了認定基準をDPに従って、組織として策定していること

（根拠理由欄）

満たしていると判断する場合であって、第三者評価の結果を利用する場合は、当該結果が利用できると判断した根拠理由を記述すること。
なお、利用しない場合は、下記の自己点検・評価結果の項目について分析すること。

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学校が定める修了要件が組織的に策定されていること。 ◉ 策定されている　　○ 策定されていない	◇修了要件が組織的に策定されていることが確認できる資料（学則、卒業認定基準等）	
	資料6-7-1-(1)-01_R7学年末　修了認定表紙	
	資料6-7-1-(1)-02_R7学年末　1年生単位認定	

観点６－７－②　策定された修了要件が学生に周知されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 修了認定基準が学生に周知されていること。	◇周知した資料（学生便覧、ウェブサイトでの明示等）	
◉ 周知されている　　○ 周知されていない	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	

観点６－７－③　修了の認定が、修了認定基準に基づき組織的に実施されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 修了認定基準に基づき、組織として修了認定していること。	◇修了判定時に使用する様式等	
◉ している　　○ していない	資料6-7-1-(1)-01_R7学年末　修了認定表紙(再掲)	

６－７　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－７　優れた点

６－７　改善を要する点

基準

６－８　学校の目的及びDPに基づき、適切な学習成果が得られていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

◉ 満たしている　　○ 満たしていない

観点６－８－①　DPに沿った学習・教育の成果を確認するための体制が整備されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が修了時に身に付ける学力、資質・能力について、学生・修了生・進路先関係者等からの意見聴取の結果に基づいて学習・教育の成果を把握・評価するための体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　　○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
	資料6-8-1-(1)-01_進学先・就職先アンケート	
	資料5-8-2-(1)-01_R7_卒業生・就職先アンケート結果（再掲）	総務委員会において２年毎にアンケートを実施している。
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項：第１
	資料1-2-1-(1)-01奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）（再掲）	

観点６－８－②　修了時の学生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了時の学生に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 ◉ 行われている　　○ 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（修了時アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
	資料6-8-1-(1)-01_進学先・就職先アンケート（再掲）	
	資料1-2-3-(1)-06_令和７年度　卒業時・修了時アンケート集計結果（抜粋：ディプロマポリシー達成割合）（再掲）	
	資料5-8-2-(1)-02_令和8年3月_運営会議議事録（要機密情報2甲_学内限り）（再掲）	報告事項1.の総務部門関係において、令和７年度卒業生・修了時アンケート結果（DP達成度）の報告ならびに改善の報告があった。
	資料1-2-3-(1)-11_令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果総括（再掲）	

	資料4-2-3-(3)-10_自己点検・評価報告書（2025年10月）（再掲）	2025年10月発行 自己点検・評価報告書：161頁（卒業生・修了生アンケート集計結果総括）

観点６－８－③　修了後一定期間の就業経験等を経た修了生からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生（修了直後でない者）に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 ⊙ 行われている　○ 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（修了生アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
	資料6-8-1-(1)-01_進学先・就職先アンケート（再掲）	
	資料5-8-2-(1)-01_R7_卒業生・就職先アンケート結果（再掲）	総務委員会において２年毎にアンケートを実施している。

観点６－８－④　就職先等からの意見聴取の結果により、学校の目的及びDPに基づいた学習成果が得られていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 学生が修了時に身に付けた学力、資質・能力について、修了生の就職・進学先の関係者等に対する意見聴取の結果から学習・教育の成果の把握・評価が行われていること。 ⊙ 行われている　○ 行われていない	◇意見聴取の結果から成果の把握・評価が実施されていることが確認できる資料（就職・進学先アンケート、アンケート結果、会議資料等）	
	資料6-8-1-(1)-01_進学先・就職先アンケート（再掲）	
	資料5-8-2-(1)-01_R7_卒業生・就職先アンケート結果（再掲）	
	資料5-8-4-(1)-01_R070904_総務委員会議事要録（再掲）	

６－８　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－８　優れた点

６－８　改善を要する点

基準

６－９　APが具体的かつ明確であること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

⊙ 満たしている　○ 満たしていない

観点６－９－①　APが学校の目的を踏まえて明確に定められていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1)関係法令やガイドラインを踏まえ、APが定められていること。 ⊙ 定められている　○ 定められていない	◇専攻科課程のＡＰ	
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	
	資料1-2-2-(1)-06_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/
	各専攻共通 （１）豊かな人間性を有する技術者になりたい人 （求める要素：人間性） （２）自らの専門分野を生かし，さらに応用する力を育みたい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） （３）技術を通して国際社会や地域に貢献したい人 （求める要素：主体性・協働性・多様性） システム創成工学専攻 （４）創造性を高め，新しいシステムをつくり出したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） 物質創成工学専攻 （４）環境，エネルギー，バイオ，新材料およびこれらを融合したプロセスに関してその課題発見と解決に貢献したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） 連携教育プログラム （６）分野横断的俯瞰力を備え，地域社会に貢献したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性）	各専攻共通 （１）豊かな人間性を有する技術者になりたい人 （求める要素：人間性） （２）自らの専門分野を生かし，さらに応用する力を育みたい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） （３）技術を通して国際社会や地域に貢献したい人 （求める要素：主体性・協働性・多様性） システム創成工学専攻 （４）創造性を高め，新しいシステムをつくり出したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） 物質創成工学専攻 （４）環境，エネルギー，バイオ，新材料およびこれらを融合したプロセスに関してその課題発見と解決に貢献したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力） 連携教育プログラム （６）分野横断的俯瞰力を備え，地域社会に貢献したい人 （求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力，主体性・協働性）
(2)APが、以下の内容を含んでいること。（すべての項目にチェック必須） ☑ 入学者選抜の基本方針 ☑ 求める学生像（受け入れる学生に求める学習成果を含む。）	◇専攻科課程のＡＰ	
	資料6-1-1-(1)-01_専攻科学生便覧（再掲）	
	資料1-2-2-(1)-06_入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー）（専攻科）（再掲）	https://www.nara-k.ac.jp/guide/education/

６－９　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。

６－９　優れた点

６－９　改善を要する点

基準

６－10　学生の受入れが適切に実施されていること

基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）

以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。

⊙ 満たしている　○ 満たしていない

観点６－10－①　APに沿って適切な受入方法が採用されており、実施体制により公正に実施されていること

自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）

(1) AP、特に入学者選抜の基本方針に沿った入学者選抜方法（学生募集の方針、選抜区分（学力選抜、推薦選抜等。）、面接内容、配点・出題方針その他）となっていること。 ◉ なっている　○ なっていない	◇選抜区分ごとの入学者選抜募集要項、面接要領、合否判定基準、合否判定様式、入学試験実施状況等が確認できる資料（議事要旨等）	
	資料6-10-1-(1)-01_R7年度専攻科入学者選抜募集要項	
	資料6-10-1-(1)-02_令和８年度専攻科入学試験関係業務実施要項（非公表）	
	資料6-10-1-(1)-03_令和８年度専攻科入学試験選考方針及び問題作成基準について（非公表）	
	資料6-10-1-(1)-04_面接評価調書、合否判定基準は各専攻、コースで申し合わせ作成（非公表）	
観点６－10－②　APに沿った学生の受入れが実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果が入学者選抜の改善に役立てられていること		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 検証及び検証結果を改善に役立てる体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
	資料1-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校点検・評価規程（再掲）	
	資料6-10-2-(1)-01_アドミッションポリシーの適合割合の確認（アンケート）	
	資料1-1-1-(1)-02_奈良工業高等専門学校の点検評価に係る教育の内部質保証に関する実施要項（再掲）	
	資料1-2-1-(1)-01奈良工業高等専門学校アセスメントプラン（令和８年度版）　（再掲）	
(2) (1)の体制の下、実際に入学した学生が、APに沿っているかどうかの検証が行われていること。 ◉ 行われている　○ 行われていない	◇検証した資料（会議資料等）	
	資料6-10-2-(1)-01_アドミッションポリシーの適合割合の確認（アンケート）（再掲）	
	資料5-10-2-(2)-01_R8_アドミッションポリシーの適合割合の確認（再掲）	本年度後期中間試験期間中に実施予定
(3) (2)の検証の結果が入学者選抜の改善に役立てられていること。 ◉ 役立てられている　○ 役立てられていない	◆検証の結果に基づいた具体的な改善の実施状況を踏まえて、検証の結果が改善に役立てられている状況について、資料を基に記述する。	
	資料6-10-2-(1)-01_アドミッションポリシーの適合割合の確認（アンケート）（再掲）	
	資料5-10-2-(2)-01_R8_アドミッションポリシーの適合割合の確認（再掲）	本年度後期中間試験期間中に実施予定 アドミッションポリシーの妥当性及び入学学生の適合度の確認のため、本科１年生学級担任および専門科目担当教員においては クラスの学生の様子から、専攻科１年生の指導教員においては研究室の所属学生の様子から、それぞれのアドミッションポリシー にどの程度適合しているかアンケートを聴取している。
６－10　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。		
６－10　優れた点		
６－10　改善を要する点		
基準 **６－11　実入学者数が適切な数となっていること**		
基準の自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙） 以下の自己点検・評価結果を踏まえ、当該基準を満たしているか。 ◉ 満たしている　○ 満たしていない		
観点６－11－①　実入学者数が適切な数となっていること		
自己点検・評価結果欄（該当する○欄をチェック⊙）	自己点検・評価の根拠資料・説明等欄	備考（エビデンス）
(1) 収容定員（又は入学定員）が専攻ごとに学則等で定められていること。 ◉ 定められている　○ 定められていない	◇学則の該当箇所	
	資料2-1-1-(1)-01_奈良工業高等専門学校学則(再掲)	奈良工業高等専門学校学則：32条
(2) 専攻ごとの入学定員（収容定員を定めている場合は、収容定員を２で除した数）と実入学者数との関係を把握し、改善を図るための体制が整備されていること。 ◉ 整備されている　○ 整備されていない	◇体制の整備状況が確認できる資料（関係規程等）	
	資料6-11-1-(2)-01_専攻科入試実績	
(3) 過去５年間の専攻科全体の実入学者数が適切であること。 ◉ 適切である　○ 適切ではない	◇【様式２－２】平均入学定員充足率計算表	
	資料6-11-1-(2)-01_専攻科入試実績（再掲）	
６－11　特記事項　　この基準の内容に関して、「観点」のみでは自己評価できない活動や取組における個性や特色、資料を参照する際に留意すべきこと等があれば、記入すること。		
６－11　優れた点		
６－11　改善を要する点		

資料１－１

入試説明会等状況

中学校教諭対象入試説明会

年度	奈 良	大 阪	京 都	その他	合 計
H28	58 名	7 名	2 名	4 名	71 名
H29	63 名	7 名	2 名	0 名	72 名
H30	73 名	10 名	13 名	1 名	97 名
R1	57 名	18 名	7 名	2 名	84 名
R2	58 名	21 名	7 名	3 名	89 名
R3	68 名	22 名	9 名	4 名	103 名
R4	61 名	20 名	5 名	2 名	88 名
R5	48 名	12 名	3 名	2 名	65 名
R6	33 名	8 名	7 名	5 名	53 名
R7	36 名	6 名	4 名	1 名	47 名

中学生・保護者対象　学校＆入試説明会等

年度	学校・入試説明会				学校・入試説明会以外の本校主催入試説明会の計		合　計	
	10月下旬の土曜日		10月下旬の日曜日					
H28	85 組	187 名	90 組	194 名	215 組	428 名	390 組	809 名
H29	113 組	233 名	99 組	212 名	249 組	484 名	461 組	929 名
H30	組	名	127 組	273 名	278 組	574 名	405 組	847 名
R1	98 組	214 名	139 組	295 名	114 組	230 名	351 組	739 名
R2	99 組	196 名	89 組	177 名	85 組	145 名	273 組	518 名
R3	97 組	193 名	95 組	185 名	98 組	166 名	290 組	544 名
R4	79 組	152 名	81 組	145 名	49 組	86 名	209 組	383 名
R5	75 組	145 名	96 組	187 名	52 組	92 名	223 組	424 名
R6	66 組	146 名	91 組	215 名	25 組	43 名	182 組	404 名
R7	99 組	229 名	121 組	284 名	56 組	111 名	276 組	624 名

※H30:12/9　1日開催

学習塾指導者対象入試説明会

年度	参 加 者 数	
H28	25 塾	27 名
H29	28 塾	29 名
H30	31 塾	39 名
R1	21 塾	25 名
R2	17 塾	17 名
R3	15 塾	15 名
R4	16 塾	16 名
R5	3 塾	3 名
R6	12 塾	12 名
R7	12 塾	12 名

資料１－２

中学校訪問

年 度	訪 問	左のうち県内	
H28	243 校	93 校	
H29	114 校	75 校	
H30	92 校	71 校	
R1	92 校	71 校	
R2	－ 校	－ 校	※新型コロナウイルス感染症の状況により中止
R3	7 校	7 校	※新型コロナウイルス感染症の状況により途中で中止
R4	11 校	11 校	
R5	16 校	8 校	
R6	64 校	47 校	
R7	40 校	28 校	

体験入学

年 度	1日目	2日目	3日目	計	
H28	187 名	190 名	144 名	521 名	
H29	182 名	180 名	136 名	498 名	
H30	167 名	164 名	178 名	509 名	
R1	199 名	193 名	189 名	581 名	
R2	－ 名	－ 名	－ 名	－ 名	※
R3	－ 名	－ 名	－ 名	－ 名	※
R4	165 名	149 名	127 名	441 名	
R5	160 名	115 名	108 名	383 名	
R6	145 名	222 名	189 名	556 名	
R7	183 名	133 名	187 名	503 名	

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止

塾・中学校主催　学校説明会等参加状況

年 度	塾主催説明会	中学校主催説明会	中学校からの本校訪問	計
H28	12 回	8 回	4 回	24 回
H29	8 回	6 回	1 回	15 回
H30	6 回	8 回	1 回	15 回
R1	8 回	5 回	3 回	16 回
R2	3 回	3 回	0 回	6 回
R3	5 回	3 回	0 回	8 回
R4	7 回	5 回	0 回	12 回
R5	8 回	3 回	14 回	25 回
R6	9 回	4 回	6 回	19 回
R7	8 回	4 回	1 回	13 回

資料２

入 学 試 験 状 況

（ ）は女子で内数

年度		機械工学科	電気工学科	電子制御工学科	情報工学科	物質化学工学科	合 計
H29	総志願者	52	49	53	51	59	264 (50)
	志願者倍率	1.3	1.2	1.3	1.3	1.5	1.3
	推薦志願者数	21	23	32	26	34	136 (33)
	入学者数	42 (5)	42 (9)	40 (4)	41 (8)	42 (15)	207 (41)
H30	総志願者	52	51	69	75	52	299 (50)
	志願者倍率	1.3	1.3	1.7	1.9	1.3	1.5
	推薦志願者数	30	40	37	38	32	177 (39)
	入学者数	41 (3)	41 (4)	42 (2)	40 (4)	40 (20)	204 (33)
R1	総志願者	55	48	53	88	64	308 (67)
	志願者倍率	1.4	1.2	1.3	2.2	1.6	1.5
	推薦志願者数	27	26	35	48	44	180 (45)
	入学者数	42 (6)	40 (6)	41 (2)	41 (12)	41 (19)	205 (45)
R2	総志願者	52	70	60	71	58	311 (51)
	志願者倍率	1.3	1.8	1.5	1.8	1.5	1.6
	推薦志願者数	41	44	41	38	46	210 (42)
	入学者数	41 (4)	42 (9)	42 (0)	40 (6)	40 (18)	205 (37)
R3	総志願者	35	39	50	78	45	247 (50)
	志願者倍率	0.9	1.0	1.3	2.0	1.1	1.2
	推薦志願者数	19	23	32	49	30	153 (44)
	入学者数	40 (6)	42 (8)	41 (3)	42 (13)	40 (16)	205 (46)
R4	総志願者	43	40	41	71	66	261 (69)
	志願者倍率	1.1	1.0	1.0	1.8	1.7	1.3
	推薦志願者数	24	32	27	46	45	174 (55)
	入学者数	43 (8)	42 (8)	42 (8)	41 (10)	42 (23)	210 (57)
R5	総志願者	48	36	47	59	52	242 (59)
	志願者倍率	1.2	0.9	1.2	1.5	1.3	1.2
	推薦志願者数	28	27	30	44	41	170 (50)
	入学者数	41 (5)	42 (12)	42 (6)	41 (10)	43 (22)	209 (55)
R6	総志願者	39	40	43	63	52	237 (56)
	志願者倍率	1.0	1.0	1.1	1.6	1.3	1.2
	推薦志願者数	23	29	33	49	36	170 (50)
	入学者数	40 (6)	43 (13)	42 (5)	42 (9)	40 (20)	207 (53)
R7	総志願者	37	29	46	61	45	218 (66)
	志願者倍率	0.9	0.7	1.2	1.5	1.1	1.1
	推薦志願者数	27	19	32	44	31	153 (55)
	入学者数	40 (11)	40 (15)	40 (8)	41 (14)	41 (18)	202 (66)
R8	総志願者	37	32	50	62	33	214 (47)
	志願者倍率	0.9	0.8	1.3	1.6	0.8	1.1
	推薦志願者数	19	18	33	37	22	129 (40)
	入学者数	40 (2)	40 (12)	40 (8)	40 (6)	39 (17)	199 (45)

※ 志願者倍率は，総志願者数を入学定員（学科欄は40名，合計欄は200名）で割ったもの。

資料３

編 入 学 試 験 状 況

年度		機械工学科	電気工学科	電子制御工学科	情報工学科	物質化学工学科	合計
31F	志願者数	1	0	1	2	0	4
	合格者数	0	0	0	0	0	0
	入学者数	0	0	0	0	0	0
340	志願者数	1	1	0	3	0	5
	合格者数	0	1	0	2	0	3
	入学者数	0	1	0	2	0	3
96	志願者数	1	2	0	3	0	6
	合格者数	0	0	0	3	0	3
	入学者数	0	0	0	3	0	3
R1	志願者数	1	1	1	3	0	6
	合格者数	0	1	0	3	0	4
	入学者数	0	1	0	3	0	4
R4	志願者数	0	3	0	3	1	7
	合格者数	0	2	0	0	0	2
	入学者数	0	2	0	0	0	2
R7	志願者数	3	1	0	4	0	8
	合格者数	1	0	0	3	0	4
	入学者数	1	0	0	3	0	4
R2	志願者数	1	1	1	4	0	7
	合格者数	0	0	0	2	0	2
	入学者数	0	0	0	2	0	2
R5	志願者数	2	2	0	3	0	7
	合格者数	1	1	0	2	0	4
	入学者数	1	1	0	2	0	4
R8	志願者数	1	1	1	3	0	6
	合格者数	0	0	1	0	0	1
	入学者数	0	0	1	0	0	1
RH	志願者数	0	1	0	3	0	4
	合格者数	0	0	0	2	0	2
	入学者数	0	0	0	2	0	2

資料 4―1―1

一般科目［令和7年度開講科目一覧表］

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語Ⅰ	3	3					
	国語Ⅱ	3		3				
	国語Ⅲ	2			2			
	国語表現法	2				2		学修単位
	地理	2	2					
	歴史	2		2				
	公共	2			2			学修単位
	政治・経済	2			2			学修単位
	現代社会と法	2					2	学修単位
	基礎数学α	4	4					
	基礎数学β	2	2					
	微分積分Ⅰ	4		4				
	微分積分Ⅱ	2			2			
	線形代数	2		2				
	数学特論α	2			2			
	数学特論β	1			1			
	地球惑星物理	1	1					
	物理Ⅰ	1	1					
	物理Ⅱ	3		3				
	生物	1	1					
	化学Ⅰ	2	2					物質化学工学科以外
	化学Ⅱ	2		2				
	化学	4	4					物質化学工学科のみ
	保健・体育Ⅰ	2	2					
	保健・体育Ⅱ	2		2				
	体育理論Ⅰ	2			2			学修単位
	体育理論Ⅱ	2				2		学修単位
	体育実技	1					1	
	英語Ⅰ	3	3					
	英語Ⅱ	3		3				
	英語Ⅲ	2			2			
	英語Ⅳ	4				4		学修単位
	英語Ⅴ	2					2	学修単位
	英文法Ⅰ	2	2					
	英文法Ⅱ	2		2				
	英文法Ⅲ	1			1			
選択必修科目	美術	2	※2					学修単位　いずれか1科目を選択
	音楽	2	※2					学修単位
	人間環境学	2					△2	学修単位　いずれか1科目を選択
	地域学	2					△2	学修単位
	日本文化学	2					△2	学修単位
必修科目（留学生）	留学生の日本語Ⅰ	2			2			学修単位
	留学生の日本語Ⅱ	2			2			学修単位
	留学生の日本語Ⅲ	2				2		学修単位
	留学生の日本語Ⅳ	2				2		学修単位
	異文化コミュニケーション	2				2		学修単位
	日本事情	2					2	学修単位
選択科目	実用英語Ⅰ	1			1	(1)	(1)	(　)は未修得者
	実用英語Ⅱ	1				1	(1)	(　)は未修得者
	実用英語Ⅲ	1					1	
	異文化交流Ⅰ	1	1					
	異文化交流Ⅱ	1		1				
	異文化交流Ⅲ	1			1			
	異文化交流Ⅳ	1				1		
	異文化交流Ⅴ	1					1	
	海外協働研修Ⅰ	1	1					
	海外協働研修Ⅱ	1		1				
	海外協働研修Ⅲ	1			1			
	海外協働研修Ⅳ	1				1		
	海外協働研修Ⅴ	1					1	
修得単位計		79[79]	25[27]	23[21]	16[16]	8[8]	7[7]	

資料 4―1―2

専門科目 （機械工学科）[令和7年度開講科目一覧表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	応用数学α	2				2		学修単位
	応用数学β	2				2		学修単位
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	機械工学基礎	2	2					
	機械工学ゼミナール	1				1		
	技術英語	2					2	学修単位
	材料学Ⅰ	1		1				
	材料学Ⅱ	2			2			
	機械工作法Ⅰ	2		2				
	機械工作法Ⅱ	2			2			
	材料力学Ⅰ	2			2			
	材料力学Ⅱ	2				2		学修単位
	材料力学演習	1				1		
	流体力学Ⅰ	2				2		学修単位
	流体力学Ⅱ	2				2		学修単位
	流体力学演習	1					1	
	熱工学Ⅰ	2				2		学修単位
	熱工学Ⅱ	2				2		学修単位
	熱工学演習	1					1	
	機械力学Ⅰ	2			2			
	機械力学Ⅱ	2				2		学修単位
	機械力学演習	1				1		
	電気電子工学	2			2			
	計測工学	2					2	学修単位
	制御工学Ⅰ	2				2		学修単位
	制御工学Ⅱ	2					2	学修単位
	応用制御工学	2					2	学修単位
	情報処理	2			2			
	数値計算法	1				1		
	機械設計製図Ⅰ	2	2					
	機械設計製図Ⅱ	2		2				
	創造設計	1			1			
	機構学	2		2				
	機械設計工学	2					2	学修単位
	機械設計工学演習	2					2	
	生産システム工学	2					2	学修単位
	機械工作実習Ⅰ	3	3					
	機械工作実習Ⅱ	3		3				
	創造設計製作	3			3			
	機械工学実験Ⅰ	3				3		
	機械工学実験Ⅱ	2					2	
	卒業研究	6					6	
選択科目	学外実習	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅰ	1		1				
	数理データサイエンスAI基礎Ⅱ	1			1			
	数理データサイエンスAI基礎Ⅲ	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅳ	1					1	
	数理データサイエンスAI応用Ⅰ	1			1			
	数理データサイエンスAI応用Ⅱ	1				1		
	数理データサイエンスAI応用Ⅲ	1					1	
専門科目開設単位計		96	9	11	20	30	26	

修得単位	一般科目	79	25	23	16	8	7	
	専門科目	88	9	10	18	27	24	
	計	167	34	33	34	35	31	

資料 4―1―3

専門科目 （電気工学科）[令和7年度開講科目一覧表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	応用数学α	2				2		学修単位
	応用数学β	2				2		学修単位
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	基礎電気回路	2	2					
	電気・電子工学入門	1	1					
	環境リテラシー	1	1					
	電気回路Ⅰ	2		2				
	ディジタル回路Ⅰ	1		1				
	プログラミング	2		2				
	電気回路演習	1		1				
	電磁気学Ⅰ	1		1				
	電磁気学Ⅱ	2			2			
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電子工学	2			2			
	計測工学	2			2			
	電気工学演習Ⅰ	2			2			
	ディジタル回路Ⅱ	1			1			
	環境エレクトロニクス	1			1			
	アナログ回路	2				2		
	ディジタルシステム	1				1		
	電磁気学Ⅲ	2				2		学修単位
	電気回路Ⅲ	2				2		学修単位
	電力変換回路	2				2		学修単位
	電気電子材料	2				2		学修単位
	通信工学	2				2		学修単位
	電気機器工学	2				2		学修単位
	制御工学Ⅰ	2				2		学修単位
	環境エネルギー工学	2					2	学修単位
	制御工学Ⅱ	2					2	学修単位
	工業外国語	1					1	
	電気・電子工学実験Ⅰ	2		2				
	ものづくり基礎実習	2		2				
	電気・電子工学実験Ⅱ	2			2			
	ものづくり応用実習	2			2			
	電気・電子工学実験Ⅲ	2				2		
	電気・電子工学創造実験	2				2		
	電気・電子工学実験Ⅳ	4					4	
	卒業研究	6					6	
選択必修科目	電気工学演習Ⅱ	1				1		｝いずれか1単位選択
	電気機器設計	1				1		｝いずれか1単位選択
選択科目	学外実習	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅰ	1		1				
	数理データサイエンスAI基礎Ⅱ	1			1			
	数理データサイエンスAI基礎Ⅲ	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅳ	1					1	
	数理データサイエンスAI応用Ⅰ	1			1			
	数理データサイエンスAI応用Ⅱ	1				1		
	数理データサイエンスAI応用Ⅲ	1					1	
	電力系統工学	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	電気製図	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	高電圧工学	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	伝送工学	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	組み込みシステム	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	電気法規・設備工学	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
	半導体工学	2					2	学修単位 ｝10単位以上選択
専門科目開設単位計		101	6	12	20	32	31	

修得単位	一般科目	79	25	23	16	8	7	
	専門科目	88	6	11	18	28	25	
	計	167	31	34	34	36	32	

資料 4―1―4

専門科目 （電子制御工学科)[令和7年度開講科目一覧表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	応用数学α	2				2		学修単位
	応用数学β	2				2		学修単位
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	基礎製図法	1	1					
	プログラミング	2		2				
	電気回路Ⅰ	2		2				
	材料・加工学	3		3				
	アルゴリズムとデータ構造	3			3			
	計算機アーキテクチャ	3			3			
	電気回路Ⅱ	2			2			
	電磁気学	2			2			
	電子工学	2			2			
	熱力学	2			2			
	計測工学Ⅰ	2			2			
	システム要素設計	2			2			
	電子回路	2				2		学修単位
	材料力学	2				2		学修単位
	流体力学	2				2		学修単位
	制御工学Ⅰ	2				2		学修単位
	制御工学Ⅱ	2				2		学修単位
	計測工学Ⅱ	2				2		学修単位
	電磁気学演習	2				2		
	材料力学演習	3				3		
	流体力学演習	3				3		
	計測工学演習	3				3		
	数値解析	2					2	学修単位
	機械力学	2					2	学修単位
	機能性材料	2					2	学修単位
	制御工学Ⅲ	2					2	学修単位
	ロボティクスⅠ	2					2	学修単位
	ロボティクスⅡ	2					2	学修単位
	システム工学	2					2	学修単位
	応用システム設計	2					2	学修単位
	システム設計製作	2				2		
	機械工学実習	2		2				
	電子制御工学実験Ⅰ	1	1					
	電子制御工学実験Ⅱ	1		1				
	電子制御工学実験Ⅲ	1			1			
	電子制御工学実験Ⅳ	2				2		
	卒業研究	6					6	
選択科目	学外実習	3				3		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅰ	3		3				
	数理データサイエンスAI基礎Ⅱ	3			3			
	数理データサイエンスAI基礎Ⅲ	3				3		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅳ	3					3	
	数理データサイエンスAI応用Ⅰ	3			3			
	数理データサイエンスAI応用Ⅱ	3				3		
	数理データサイエンスAI応用Ⅲ	3					3	
	電子制御工学総合演習Ⅰ	3					3	1単位以上選択
	電子制御工学総合演習Ⅱ	3					3	
専門科目開設単位計		96	0	33	23	17	26	

修得単位	一般教科	69	25	21	38	0	6	
	専門科目	00	0	37	39	26	24	
	計	386	11	11	15	15	13	

資料 4―1―5

専門科目 （情報工学科）[令和7年度開講科目一覧表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	応用数学α	2				2		学修単位
	応用数学β	2				2		学修単位
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	ディジタル回路	2	2					
	情報工学概論	2	2					
	電気回路基礎	1		1				
	プログラミング基礎	1		1				
	プログラミングⅠ	1		1				
	コンピュータシステム概論	1		1				
	論理回路Ⅰ	1		1				
	IT活用	2		2				
	情報数学	2		2				
	論理回路Ⅱ	2			2			学修単位
	データベースとWebアプリケーション	1			1			
	情報アクティブラーニングⅠ	2			2			
	プログラミングⅡ	2			2			
	コンピュータアーキテクチャ	2			2			
	データ構造とアルゴリズム	2			2			
	計算機ネットワークⅠ	2			2			
	数値計算・統計	2				2		学修単位
	コンピュータ援用論理設計	2				2		学修単位
	オペレーティングシステム	2				2		学修単位
	計算機言語処理	2				2		学修単位
	情報理論	2				2		学修単位
	情報セキュリティ	2				2		学修単位
	計算機ネットワークⅡ	2				2		
	プログラミングⅢ	2				2		
	情報アクティブラーニングⅡ	2				2		
	集積回路	2					2	学修単位
	情報工学特論	2					2	学修単位
	マルチメディア情報処理	2					2	学修単位
	信号処理	2					2	学修単位
	ソフトウェア工学	2					2	学修単位
	情報戦略システム	2					2	学修単位
	人工知能	2					2	学修単位
	ヒューマンコンピュータインタラクション	2					2	学修単位
	工業外国語	1					1	
	情報工学実験Ⅰ	2		2				
	情報工学実験Ⅱ	3			3			
	情報工学実験Ⅲ	3				3		
	卒業研究Ⅰ	4					4	
	卒業研究Ⅱ	5					5	
選択科目	学外実習	1				1		
専門科目開設単位計		89	6	11	18	28	26	

修得単位	一般科目	79	25	23	16	8	7
	専門科目	88	6	11	18	27	26
	計	167	31	34	34	35	33

資料 4—1—6

専門科目 （物質化学工学科）[令和7年度開講科目一覧表]

区分	授業科目	単位数	学年別配当					備　　考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	情報リテラシー	2	2					
	応用数学α	2				2		学修単位
	応用数学β	2				2		学修単位
	応用物理Ⅰ	2			2			
	応用物理Ⅱ	2				2		
	一般化学演習Ⅰ	1	1					
	一般化学演習Ⅱ	1		1				
	一般化学演習Ⅲ	1		1				
	化学特論Ⅰ	1	1					
	化学特論Ⅱ	1		1				
	分析化学	2			2			
	機器分析	2					2	学修単位
	有機化学Ⅰ	2		2				
	有機化学Ⅱ	2			2			
	有機化学Ⅲ	2				2		
	有機材料合成化学	1					1	
	機能性高分子化学	2					2	学修単位
	無機化学Ⅰ	2		2				
	無機化学Ⅱ	2			2			
	固体化学	2				2		学修単位
	基礎電気化学	2					2	学修単位
	物理化学Ⅰ	2			2			
	物理化学Ⅱ	2				2		
	基礎量子化学	2				2		
	生物化学Ⅰ	2		2				
	生物化学Ⅱ	2			2			
	生物化学Ⅲ	2				2		
	応用微生物学	1				1		
	分子生物学	2					2	学修単位
	生物化学工学	1				1		
	化学工学Ⅰ	2			2			
	化学工学Ⅱ	2				2		
	微粒子工学	2				2		学修単位
	反応工学	2					2	学修単位
	環境分離工学	2					2	学修単位
	プロセス制御	2					2	学修単位
	物質化学工学実験Ⅰ	2	2					
	物質化学工学実験Ⅱ	3		3				
	物質化学工学実験Ⅲ	3			3			
	物質化学工学実験Ⅳ	3				3		
	卒業研究	16					16	
選択科目	学外実習	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅰ	1		1				
	数理データサイエンスAI基礎Ⅱ	1			1			
	数理データサイエンスAI基礎Ⅲ	1				1		
	数理データサイエンスAI基礎Ⅳ	1					1	
	数理データサイエンスAI応用Ⅰ	1			1			
	数理データサイエンスAI応用Ⅱ	1				1		
	数理データサイエンスAI応用Ⅲ	1					1	
専門科目開設単位計		90	0	13	26	29	27	

修得単位	一般科目	79	27	21	10	5	7	
	専門科目	55	0	18	15	20	24	
	計	107	88	83	83	83	82	

資料 4―1―7

特別活動

単位時間数	学年別配当		
	1年	2年	3年
90	30	30	30

資料 4－1－8

グローバル工学協働教育プログラム［令和７年度開講科目一覧表］

区分	科　目　名	単位数	カリキュラム配当		備　考
			本科	専攻科	
ネオベーシック（レギュラーコース／リーダーコース）	異文化交流Ⅰ	1	1		※1
	異文化交流Ⅱ	1	1		
	異文化交流Ⅲ	1	1		
	異文化交流Ⅳ	1	1		
	異文化交流Ⅴ	1	1		
	実用英語Ⅰ	1	1		※2
	実用英語Ⅱ	1	1		
	実用英語Ⅲ	1	1		
	海外協働研修Ⅰ	1	1		※1
	海外協働研修Ⅱ	1	1		
	海外協働研修Ⅲ	1	1		
	海外協働研修Ⅳ	1	1		
	海外協働研修Ⅴ	1	1		
	グローバルチャレンジ	1	1		３単位中、１単位を必修選択
	グローバルコミュニケーション	1	1		
	グローバルエンジニアスキル	1	1		
アドバンスト	アドバンスト・ グローバルコミュニケーション	2		2	
	海外インターンシップ	2		2	
	アドバンスト・ グローバルエンジニアスキル	2		2	
	アドバンスト・ グローバルチャレンジ	2		2	

※1　レギュラーコースについては、異文化交流Ⅰ～Ⅴのうち1単位以上、海外協働研修Ⅰ～Ⅴのうち1単位以上を含む合計3単位以上を、リーダーコースについては異文化交流Ⅰ～Ⅴのうち1単位以上、海外協働研修Ⅰ～Ⅴのうち1単位以上を含む合計4単位以上を修得していること。

※2　レギュラーコースについては実用英語Iを、リーダーコースについては実用英語ⅠからⅢを修得すること。

資料 ４―１―９

しなやか教育プログラム［令和７年度開講科目一覧表］

区分	科　目　名	単位数		備　考
		本科	専攻科	
ベーシック	エンジニアの感性と表現Ⅲ	1		
	エンジニアの感性と表現Ⅳ	1		
	応用イノベーティブワークショップ	1		
	総合イノベーティブワークショップ	1		
	ダイバーシティとインクルージョン	1		
アドバンスト	エンジニアと経営		2	
	リーダシップと意思決定		2	
	ビジネスデザイン		2	

資料 4—1—10

専攻科［令和７年度開講科目一覧表］

教養・専門基礎科目

区分		科　目　名	単位数	学年別配当		備　考
				1年	2年	
教養	選択必修	特修英語Ⅰ	2	2		4単位以上選択すること
		特修英語Ⅱ	2	2		
		プレゼンテーション英語	2		2	
		アドバンスト・グローバルコミュニケーション	2	2		※1
	選択必修	地域と世界の文化論	2		2	2単位以上選択すること
		リーダーシップと意思決定	2	2		※2
		ビジネスデザイン	2		2	※2
	開　設　単　位　数　計		14			
専門基礎	必　修	地域社会技術特論	2	2		
		技術者倫理	2	2		
	選択必修	数理科学	2	2		2科目以上を選択
		物理学特論Ａ	2	2		
		物理学特論Ｂ	2		2	
	選　択	エンジニアと経営	2	2		※2
		インターンシップ	2	2		※3
		海外インターンシップ	2	2		※3、※4
		アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	2	2		※1
		アドバンスト・グローバルチャレンジ	2	2		※4
	開　設　単　位　数　計		20			
教養・専門基礎科目開設単位数　計			34			

教養 専門基礎科目修得単位数　　計 20単位以上修得すること

(※1) グローバル工学協働教育プログラム履修生は必修

(※2) しなやかエンジニア教育プログラム履修生は必修

(※3) 物質化学工学科以外の出身学科で本科で「学外実習」未履修の場合はいずれかの科目を必修

(※4) グローバル工学協働教育プログラム履修生はいずれかを履修すること

資料 4—1—11

専攻科［令和７年度開講科目一覧表］

専門科目（システム創成工学専攻）

区分		科　目　名		単位数	学年別配当		備考
					1年	2年	
専門	必修	工学基礎研究		10	10		いずれかを選択
		地域創生工学研究		10	10		
		特別研究		10		10	
		システムデザイン演習		3	3		
		システム設計論Ⅰ		2	2		
		システム設計論Ⅱ		2	2		
		機械制御システムコース	電子情報設計技術基礎	2	2		
		電気電子システム、情報システムコース	機械設計技術基礎	2	2		
		機械制御システムコース	研究力向上セミナーⅠ（機械制御系）	2	2		
		機械制御システムコース	研究力向上セミナーⅡ（機械制御系）	2	2		
		電気電子システムコース	研究力向上セミナー（電気電子系）	2	2		
		情報システムコース	研究力向上セミナーⅠ（情報系）	2	2		
		情報システムコース	研究力向上セミナーⅡ（情報系）	2		2	
		専門必修開設単位数　計		51	39	12	
専門	選択	機械制御システムコース	実用技術英語（機械系）	2	2		
		電気電子システム、情報システムコース	実用技術英語（電気電子・情報系）	2	2		
		3コース共通	計測工学特論	2		2	
			ヒューマンインターフェース	2		2	
		機械制御システムコース	システム工学特論	2	2		
			制御工学特論	2	2		
			特殊加工学	2		2	
			工業材料	2		2	
			流体力学特論	2		2	
			計算機援用設計	2		2	
			輸送現象論	2		2	
		電気電子システムコース	電気電子回路特論	2	2		
			電磁気学特論	2	2		
			電子物性	2		2	
			エネルギーエレクトロニクス	2		2	
			情報伝送	2		2	
			電力システム工学特論	2		2	
		情報システムコース	計算理論	2	2		
			計算機ハードウェア	2	2		
			ソフトウェア設計	2		2	
			情報工学基礎論	2		2	
			メディアシステム論	2		2	
		専門選択開設単位数　計		44	16	28	
	専門科目開設単位　計			95	55	40	
システム創成工学専攻　合計				129			
専門科目修得単位数　計　42単位以上							

資料 4—1—12

専攻科［令和７年度開講科目一覧表］

専門科目（物質創成工学専攻）

区分		科　　目　　名	単位数	学年別配当		備考
				１年	２年	
専門	必修	工学基礎研究	10	10		いずれかを選択
		地域創生工学研究	10	10		
		特別研究	10		10	
		研究リテラシー	2	2		
		実践化学英語	2	2		
		先端工学特論	2		2	
		専門必修開設単位数　計	36	24	12	
	選択	量子化学	2	2		
		現代有機合成化学	2	2		
		物質分析工学	2	2		
		細胞工学	2	2		
		応用反応工学	2	2		
		選択的有機反応論	2		2	
		電子応用化学	2		2	
		資源エネルギ工学	2		2	
		生物化学工学特論	2		2	
		拡散工学特論	2		2	
		専門選択開設単位数　計	20	10	10	
	専門科目開設単位　計		56	34	22	
物質創成工学専攻　合計			90			
専門科目修得単位数　計　42単位以上						

〔前期〕

令和7年度　年間行事予定表

奈良工業高等専門学校

資料5

日	曜	4　月		日	曜	5　月		日	曜	6　月		日	曜	7　月		日	曜	8　月		日	曜	9　月	
1	火	↑　春季休業(2日まで)		1	木	火曜振替授業	火 4	1	日			1	火	|	火 11	1	金	試験予備日・補講日 専攻科夏季休業(9月30日まで)		1	月	|	
2	水	↓　開寮・寮生集会		2	金	閉寮	金 3	2	月	補講日 専攻科授業なし		2	水	|	水 12	2	土			2	火	|	
3	木	令和7年度入学式・入寮式 新入寮生歓迎会 専攻科新入生オリエンテーション		3	土	憲法記念日		3	火	↑　前期中間試験(本科・9日まで)	火 8	3	木	|	木 12	3	日			3	水	|	
4	金	全校集会・教科書購入 健康診断(内科) 新入生オリエンテーション(学生部門) 専攻科2年ガイダンス		4	日	みどりの日		4	水	|	水 8	4	金	↓　近畿地区高専弓道大会	金 12	4	月		月 16	4	木	|	
5	土			5	月	こどもの日		5	木	|	木 8	5	土	近畿地区高専体育大会(バレーボール・ソフトテニス・卓球・バドミントン:6日まで)		5	火		火 16	5	金	| 全国高専体育大会(バドミントン:7日まで)	
6	日			6	火	振替休日 開寮・寮生集会		6	金	|	金 8	6	日	近畿地区高専体育大会(水泳)		6	水		水 16	6	土	| 全国高専体育大会(バレーボール・卓球:7日まで)	
7	月	前期授業開始(本科・専攻科)	月 1	7	水		水 4	7	土	|		7	月		月 12	7	木	学寮大掃除	木 16	7	日	|	
8	火		火 1	8	木	学生会総会	木 4	8	日	|		8	火		火 12	8	金	全校集会 閉寮	金 16	8	月	| 一斉休業	
9	水	健康診断(眼科・身体計測等)		9	金	全国高専DCON(10日まで)	金 4	9	月	↓　安全対策講習会(熱中症・AED)	月 8	9	水		水 13	9	土			9	火	|	
10	木		木 1	10	土	↑　TOEIC-IPテスト(3・4年、11日まで)		10	火	試験予備日・補講日 専攻科授業なし		10	木		木 13	10	日			10	水	| 専攻科成績確認期間(11日まで)	
11	金		金 1	11	日	↓		11	水		水 9	11	金		金 13	11	月	山の日		11	木	|	
12	土	新入生歓迎行事		12	月		月 5	12	木	人権合同特活(1年)	木 9	12	土	寮祭		12	火	開校記念日振替休日 一斉休業		12	金	| 令和8年度編入学試験	
13	日			13	火		火 5	13	金		金 9	13	日			13	水	↑　本科夏季休業(9月30日まで)		13	土	|	
14	月		月 2	14	水		水 5	14	土	令和8年度専攻科入学試験(学力)		14	月		月 13	14	木	|		14	日	|	
15	火		火 2	15	木	健康診断(歯科)授業並行呼び出し 令和8年度専攻科入学試験(推薦)	木 5	15	日			15	火		火 13	15	金	|		15	月	| 敬老の日	
16	水		水 1	16	金		金 5	16	月		月 9	16	水		水 14	16	土	|		16	火	|	
17	木	春季リーダース研修会・評議会	木 2	17	土	近畿地区高専体育大会(硬式野球:18日まで)		17	火		火 9	17	木	保健衛生教室(3年)	木 14	17	日	|		17	水	|	
18	金	開校記念日(通常授業)	金 2	18	日			18	水		水 10	18	金		金 14	18	月	|		18	木	| 令和8年度専攻科入学試験(社会人)	
19	土			19	月		月 6	19	木	人権合同特活(2年) 前期ブックハンティング(オンライン・25日まで)	木 10	19	土			19	火	|		19	金	| 全国高専体育大会(ハンドボール:21日まで)	
20	日			20	火		火 6	20	金		金 10	20	日			20	水	|		20	土	|	
21	月		月 3	21	水		水 6	21	土	近畿地区高専体育大会(テニス:22日まで) (サッカー:23日まで)		21	月	海の日		21	木	| ↑　(予定)体験入学(23日まで)		21	日	| 近畿地区高専ロボコン	
22	火		火 3	22	木	交通安全教室(1年)	木 6	22	日			22	火		火 14	22	金	| |		22	月	| 一斉休業	
23	水		水 2	23	金		金 6	23	月		月 10	23	水	月曜振替授業	月 14	23	土	| ↓　全国高専体育大会(水泳:24日まで)		23	火	| 秋分の日	
24	木		木 3	24	土	学寮避難訓練 学寮春季スポーツ大会		24	火		火 10	24	木	補講日 専攻科授業なし		24	日	|		24	水	|	
25	金	春季ハイキング(1～4年) 5年進路指導日 専攻科1年春季学外研修		25	日			25	水		水 11	25	金	↑　前期末試験(本科・31日まで)	金 15	25	月	|		25	木	|	
26	土			26	月		月 7	26	木		木 11	26	土	|		26	火	| 全国高専体育大会(テニス:28日まで) 西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会(27日まで)		26	金	| 単車安全講習会	
27	日			27	火		火 7	27	金		金 11	27	日	|		27	水	| 全国高専将棋大会(29日まで)		27	土	|	
28	月		月 4	28	水		水 7	28	土	近畿地区高専体育大会(陸上)(バスケットボール・柔道:29日まで) 寮生保護者懇談会(1年)		28	月	|	月 15	28	木	| 全国高専体育大会(陸上:29日まで) 全国高専弓道大会(29日まで)		28	日	|	
29	火	昭和の日		29	木		木 7	29	日			29	火	|	火 15	29	金	| 全国高専体育大会(硬式野球:31日まで)		29	月	|	
30	水		水 3	30	金		金 7	30	月	↑　公開授業(4日まで)	月 11	30	水	|	水 15	30	土	| 全国高専体育大会(バスケットボール・ソフトテニス・柔道・剣道:31日まで)		30	火	↓　開寮・寮生集会 1年生部屋替え	
				31	土							31	木	↓　専攻科前期授業終了	木 15	31	日	|					

〔後期〕

令和7年度　年間行事予定表

奈良工業高等専門学校

日	曜	10　月		日	曜	11　月		日	曜	12　月		日	曜	1　月		日	曜	2　月		日	曜	3　月	
4	水	後期授業開始（本科・専攻科） 全校集会	水 4	4	土	近畿地区高専体育大会（ラグビーフットボール）		4	月	|	月 1	4	木	| | 元日		4	日	|		4	日		
8	木		木 4	8	日			8	火	|	火 1	8	金	| |		8	月	|	月 43	8	月		
9	金		金 4	9	月	文化の日		9	水	↓	水 1	9	土	| ↓		9	火	|	火 43	9	火		
7	土	学寮避難訓練 学寮秋季スポーツ大会		7	火		火 3	7	木	試験予備日・補講日 専攻科授業なし		7	日	| 全国高専体育大会（ラグビーフットボール：9日まで）		7	水	|	水 43	7	水		
3	日			3	水	月曜振替授業	月 3	3	金		金 2	3	月	↓ 開寮・寮生集会 一斉休業		3	木	↓ 入学試験前全校清掃 専攻科後期授業終了	木 43	3	木		
6	月		月 4	6	木		木 3	6	土			6	火	月曜振替授業 全校集会	月 48	6	金	特別日課（登校禁止）		6	金		
0	火		火 4	0	金		金 3	0	日			0	水		水 48	0	土	登校禁止		0	土		
1	水		水 8	1	土	↑ 高専祭(9日まで) 全国高専デザコン（9日まで）		1	月		月 2	1	木	留学生と語る会	木 48	1	日	令和8年度入学試験(学力)		1	日		
2	木	人権合同特活（3年）	木 8	2	日	↓		2	火	5年生と語る会	火 2	2	金		金 48	2	月	特別日課（原則登校禁止）		2	月		
45	金		金 8	45	月	高専祭後片付け		45	水		水 2	45	土			45	火	試験予備日・補講日 専攻科特別研究発表会候補日		45	火		
44	土	全国高専プロコン（12日まで）		44	火		火 6	44	木	人権教育特別講演会（5年）	木 2	44	日			44	水	建国記念の日		44	水		
48	日			48	水		水 6	48	金	社会工場見学（1～4年） 専攻科学外研修		48	月	成人の日		48	木	5年生を送る会	木 46	48	木		
49	月	スポーツの日		49	木	人権教育特別講演会（4年）	木 6	49	土			49	火		火 48	49	金		金 46	49	金		
47	火		火 8	47	金		金 6	47	日			47	水	金曜振替授業	金 49	47	土	原則登校禁止		47	土		
43	水		水 9	43	土	後期ブックハンティング（現地）		43	月	↑ 公開授業（19日まで）	月 45	43	木	入学試験前全校清掃	木 49	43	日	令和8年度入学試験(学力)【追試】		43	日		
46	木	古典芸能鑑賞会（2年） 寮長選挙	木 9	46	日	全国高専ロボコン		46	火	|	火 45	46	金	特別日課(登校禁止) 1～3年遠隔CBT		46	月		月 46	46	月		
40	金	月曜振替授業	月 8	40	月		月 6	40	水	|	水 45	40	土	令和8年度入学試験（推薦） 登校禁止		40	火		火 46	40	火	学年末成績・欠課時数確認期間(23日まで)	
41	土	TOEIC Bridge-IPテスト（2年）		41	火		火 0	41	木	| 進路ガイダンス（4年） 学寮大掃除	木 45	41	日	登校禁止		41	水	全校集会 5年生退寮期限 学寮荷物搬出日	水 46	41	水		
42	日			42	水		水 0	42	金	↓	金 45	42	月		月 49	42	木	閉寮		42	木	令和7年度卒業式・修了式	
85	月		月 9	85	木	社会人教育セミナー（2年）	木 0	85	土	全国高専体育大会（サッカー：24日まで）		85	火		火 49	85	金			85	金	↑ 春分の日 学年末休業(31日まで)	
84	火		火 9	84	金		金 0	84	日			84	水		水 49	84	土			84	土	|	
88	水		水 7	88	土			88	月		月 44	88	木		木 47	88	日			88	日	|	
89	木	スポーツ大会		89	日	勤労感謝の日		89	火		火 44	89	金		金 47	89	月	天皇誕生日		89	月	|	
87	金		金 9	87	月	振替休日		87	水		水 44	87	土	令和8年度入学試験(推薦)【追試】 全国高専英語プレコン（25日まで）		87	火			87	火	| 令和8年度入学・入寮予定者オリエンテーション	
83	土	↑ 学校見学・入試説明会（26日まで）		83	火	月曜振替授業	月 0	83	木	人権教育特別講演会（専攻科生・教職員対象）	木 44	83	日	原則登校禁止		83	水			83	水	|	
86	日	↓		86	水	補講日 専攻科授業なし		86	金	閉寮	金 44	86	月		月 47	86	木	↑ 専攻科成績確認期間（27日まで）		86	木	|	
80	月		月 7	80	木	↑ 後期中間試験(本科・12月3日まで)	木 1	80	土	↑ 冬季休業(1月5日まで)		80	火		火 47	80	金	↓ 5年不可（A)再試験		80	金	|	
81	火		火 7	81	金	|	金 1	81	日	|		81	水		水 47	81	土			81	土	|	
82	水		水 3	82	土	|		82	月	| ↑ 年末年始休業(1月3日まで)		82	木	補講日 専攻科授業なし						82	日	|	
95	木	マリンバ演奏鑑賞会（3年）	木 7	95	日	|		95	火	| |		95	金	↑ 学年末試験（本科・2月5日まで）	金 43					95	月	|	
94	金	過年度不可(A)解消期限	金 7					94	水	| |		94	土							94	火	↓	

資料6

令和7年度 授業時間割（前期）

奈良工業高等専門学校

		月								火								水								木								金							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
		9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10
一学年	M	情報リテラシー（福岡）		生物（堀内）		機械工作実習 I（須田）				機械設計製図 I（青木）		地球惑星物理（榊原）		英文法I（板倉）		地理（増山）		保健・体育 I（松井(良)・森）		国語I(現)（松井真）		基礎数学（飯間）		機械工学基礎（小柴）		基礎数学 β（稲川）		化学 I（北村）		英語I（伊藤）		特活（伊藤）		基礎数学 α（飯間）		国語I(言)（松井真）		英語I(W)（道本）			
	E	地球惑星物理（稲田）		情報リテラシー（大谷）		基礎数学 α（豊田）		電気・電子工学入門（池田・本村）		英語I（伊藤）		化学 I（北村）		地理（増山）				保健・体育 I（松井(良)・森）		英語I(W)（道本）						国語I(現)（松井真）		生物（堀内）		基礎数学 β（稲川）		特活（板倉）		基礎電気回路（石飛）		基礎数学 α（豊田）		英文法I（板倉）		
	S	基礎製図法（西田）				情報リテラシー（中村篤）		英文法I（板倉）		基礎数学 α（豊田）		地理（増山）		生物（堀内）				基礎数学 β（稲川）		保健・体育 I（松井(良)・森）		電子制御工学実験 I（棲・玉木）				英語I（伊藤）		国語 I（言）（奥野）		化学 I（北村）		特活（松井真）	数学TA	国語I(現)（松井真）		地球惑星物理（榊原）		基礎数学 α（豊田）		
	I	基礎数学 β（稲川）		地球惑星物理（稲田）		情報工学概論（内田）				基礎数学 α（飯間）		国語I(現)（松井真）		地理（上島）				ディジタル回路（松尾）		保健・体育 I（松井(良)・森）		情報リテラシー（市川・内田）				英文法I（板倉）		基礎数学 α（飯間）		生物（堀内）		特活（北村）		化学 I（北村）		英語I（伊藤）			
	C	化学（石丸）		情報リテラシー（顧谷）		生物（堀内）				地理（上島）		英文法I（板倉）		基礎数学 β（稲川）				国語I(現)（松井真）		基礎数学 α（飯間）		化学（石丸）				英語I(W)（道本）		保健・体育 I（松井(良)・森）		国語I(言)（松井(真)）		特活（飯間）		地球惑星物理（榊原）		基礎数学 α（飯間）		英語I（伊藤）		
二学年	M	国語II(言)（上芝）		英語II（石水）		機械設計製図 II（小柴）				国語II(現)（藤井）		英語II(W)（石水）		保健・体育 II（松井(良)・竹村）				機構学（廣）		化学 II（北村）		線形代数（鷲野）		機械工作法 I（廣）		微分積分 I（矢野）		英文法II（道本）		歴史（上島）		特活（石水）		微分積分 I（矢野）		物理 II（稲田）		機械工作実習 II（平）	
	E	電気・電子工学実験 I（石飛・頭師・永井・本村）				歴史（上島）		電気回路 I（大谷）		化学 II（北村）		物理 II（新野）		微分積分 I（矢野）		保健・体育 II（松井(良)・竹村）		電気回路演習（池田・永井）		プログラミング（芦原）		英文法II（道本）				物理 II（新野）		英語II（石水）		微分積分 I（矢野）		特活（矢野）		国語II(現)（藤井）		英語II(W)（石水）		線形代数（山中）	
	S	微分積分 I（山中）	国語II(現)（藤井）		電子制御工学実験 II（玉木）					英語II(W)（石水）		線形代数（鷲野）		保健・体育 II（松井(良)・竹村）		電気回路 I（山口和）		プログラミング（棲）		歴史（上島）		機械工学実習（太田）				英語II（石水）		物理 II（稲田）		国語II(古)（藤井）		特活（藤井）	数学TA	微分積分 I（山中）		英文法I（道本）		化学 II（北村）	
	I	コンピュータシステム概論（内田）		線形代数（鷲野）		国語II(現)（藤井）		英語II（石水）		情報工学実験 I（松尾・松村・内田）		物理 II（藤森）		微分積分 I（山中）		保健・体育 II（松井(良)・竹村）		IT活用（上野）		プログラミング基礎（松村）		化学 II（北村）				歴史（上島）		物理 II（藤森）		微分積分 I（山中）		特活（山中）		英文法II（道本）		電気回路基礎（松尾）		情報数学（岡村）	
	C	微分積分 I（鷲野）		歴史（上島）		有機化学 I（宇田）				無機化学 I（松浦）		物理 II（稲田）		英文法II（道本）		線形代数（山中）		生物化学 I（伊月）		微分積分 I（鷲野）		物質化学工学実験 II（宇田・亀井）				国語II(古)（上芝）		保健・体育 II（松井(良)・森）		物理 II（稲田）		特活（鷲野）		英語II（石水）		国語II(現)（藤井）		化学特論 II（片倉）	
三学年	M	微分積分 II（豊田）		創造設計（須田）		材料学 II（谷口）		材料力学 I（谷口）		公共（竹原）		機械工作法 II（谷口）		創造設計製作（廣）								英語III（塩川）		情報処理（平）		数学特論 α（安田）		国語III（新井）		応用物理 I（新野）		特活（坂本）				機械力学 I（坂本）		電気電子工学（藤本）		数学特論 β（飯間）	
	E			計測工学（芦原）		国語III（新井）		電気回路 II（永井）				ディジタル回路 II（土井）		数学特論 β（飯間）				微分積分 II（矢野）		英語 III（塩川）		電気・電子工学実験 II（藤田・池田・三崎・永井）						数学特論 α（安田）		公共（竹原）		特活（藤田）		応用物理 I（新野）		電子工学（藤田）		電磁気学 II（石飛）		電気工学演習 I（藤田・本村）	
	S	電気回路 II（山口和）		システム要素設計（早川）		計測工学 I（西田）				国語II（新井）		公共（竹原）		熱力学（中村篤）		アルゴリズムとデータ構造（棲）		電子工学（玉木）		英語 III（後藤）		数学特論 α（稲川）						応用物理 I（新野）		数学特論 β（飯間）	留学生の日本語（中西）	特活（玉木）		電子制御工学実験 III（棲・山口和）				電磁気学（山口和）		微分積分 II（矢野）	
	I			国語III（新井）		数学特論 α（稲川）						情報アクティブラーニング I（全教員[1]）		応用物理 I（新野）				データ構造とアルゴリズム（市川）		プログラミング II（上野）		コンピュータアーキテクチャ（岩田）		英語 III（後藤）		計算機ネットワーク I（本間）		公共（竹原）		微分積分 II（豊田）		特活（上野）		情報工学実験 II（山口賢・岡村・岩田）				論理回路 II（岩田）	
	C	無機化学 II（松浦）		有機化学 II（宇田）		公共（竹原）				生物化学 II（直江）		国語III（新井）		微分積分 II（豊田）						化学工学 I（林）		英語 III（後藤）		分析化学（石丸）						数学特論 α（安田）		特活（宇田）		物理化学 I（山田）		応用物理 I（新野）		物質化学工学実験 III（松浦・山田）			
四学年	M			流体力学 I（小柴）								体育理論 II（森）		材料力学 II（平）				機械工学実験 I（平・小柴・谷口）								英語IV（後藤）		応用数学 α（山中）		応用物理 II（榊原）								機械力学 II（酒井）		熱工学 I（中山）	
	E				電気電子材料（三崎）		電力変換回路（石飛）				電気・電子工学創造実験（大谷・石飛・芦原・頭師）				応用数学 α（鷲野）					アナログ回路（掛橋）		応用物理 II（榊原）							英語IV（後藤）		体育理論 II（松井(良)）				[選]電気工学演習 II（大谷）		電磁気学 III（本村）		[選]電気機器設計（大谷）	
	S	電子回路（玉木）		流体力学（ 中村篤）		電磁気学演習（橋爪）						電子制御工学実験IV（橋爪・曾・太田・中村篤・山口和）		応用物理 II（榊原）				材料力学（太田）		計測工学 II（西田）										応用数学 α（鷲野）		英語IV（後藤）	HR			体育理論 II（松井(良)）		制御工学 I（飯田）		システム設計製作（橋爪・棲）	
	I			応用数学 α（山中）		体育理論 II（森）				コンピュータ援用論理設計（岩田・山口賢）		情報アクティブラーニング II（全教員[1]）						応用物理 II（榊原）		英語IV（柑本）		情報理論（岡村）		プログラミング III（本間・松尾）				国語表現法（上芝）		計算機ネットワーク II（本間）						オペレーティングシステム（松村）		情報工学実験 III（山口智・本間・上野・市川）			
	C	化学工学 II（林）		生物化学 III（直江）		物質化学工学実験IV（直江・伊月・林・石丸）				物理化学 II（山田）		有機化学 III（亀井）						英語IV（柑本）		国語表現法（上芝）						体育理論 II（森）		応用物理 II（榊原）		応用数学 α（鷲野）				基礎量子化学（松浦）		固体化学（片倉）		生物化学工学（直江）	
五学年	M			現代社会と法（竹原）		流体力学演習（坂本）		熱工学演習（福岡）		技術英語（全教員）		体育実技（竹村）		機械工学実験 II（小柴・坂本）								制御工学 II（酒井）		機械設計工学演習（須田）		卒業研究								計測工学（廣）		英語V（板倉）			
	E	体育実技（森）		[選]電力系統工学（池田）		英語V（板倉）		制御工学 II（藤本）		[選]電気製図（永井）		工業外国語（池田）		電気・電子工学実験IV（全教員）				[選]電気法規・設備工学（藤田）								卒業研究								[選]組み込みシステム（頭師）		現代社会と法（竹原）			
	S			[選]電子制御工学総合演習 I（ 山口和）		ロボティクス I（早川）		[選]電子制御工学総合演習 II（中村篤）		システム工学（顧谷）		機能性材料（西田）								英語V（伊藤）		制御工学 III（飯田）		体育実技（森）		卒業研究								現代社会と法（竹原）					
	I	集積回路（山口 賢）		人工知能（山口 智）								英語V（伊藤）		工業外国語（全教員）		卒業研究 I（全教員）						マルチメディア情報処理（松村）		体育実技（松井(良)）		卒業研究 I										情報戦略システム（松尾）			
	C			分子生物学（伊月）		環境分離工学（中村）						機能性高分子化学（宇田）		機器分析（石丸）		卒業研究（全教員）		英語V（伊藤）		有機材料合成化学（亀井）		反応工学（林）				卒業研究										体育実技（松井(良)）					

令和7年度 授業時間割（後期）

奈良工業高等専門学校

		月								火								水								木								金							
		1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
		9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10	9:00 9:45	9:45 10:30	10:40 11:25	11:25 12:10	13:00 13:45	13:45 14:30	14:40 15:25	15:25 16:10
二学年	S	情報リテラシー（福岡）		英文法Ⅰ（板倉）		機械工作実習Ⅰ（須田）				機械設計製図Ⅰ（青木）		地理（増山）		基礎数学α（飯間）				保健・体育Ⅰ（松井（良）・森）		基礎数学β（稲川）		物理Ⅰ（榊原）				[選]美術・音楽（宇野・荒巻）		化学Ⅰ（北村）		基礎数学α（飯間）		特活（伊藤）		英語Ⅰ（伊藤）		国語Ⅰ（現）（松井（真））		機械工学基礎（小柴）			
	C	英文法Ⅰ（板倉）		基礎数学α（豊田）		国語Ⅰ（現）（松井（真））				環境リテラシー（三崎）		基礎数学β（稲川）		地理（増山）				保健・体育Ⅰ（松井（良）・森）		英語Ⅰ（伊藤）		情報リテラシー（頭師）				基礎数学α（豊田）		国語Ⅰ（言）（眞野）		[選]美術・音楽（宇野・荒巻）		特活（板倉）		基礎電気回路（石飛）		物理Ⅰ（稲田）		化学Ⅰ（北村）			
	E	基礎製図法（玉木）				基礎数学β（稲川）		情報リテラシー（中村篤）		化学Ⅰ（北村）		基礎数学α（豊田）		国語Ⅰ（現）（松井（真））				英語Ⅰ（伊藤）		保健・体育Ⅰ（松井（良）・森）		電子制御工学実験Ⅰ（中村篤）				英文法Ⅰ（板倉）		[選]美術・音楽（宇野・荒巻）		基礎数学α（豊田）		特活（松井真）	数学TA	物理Ⅰ（榊原）		英語Ⅰ（W）（森岡）		地理（増山）			
	I	国語Ⅰ（現）（松井（真））		物理Ⅰ（稲田）		情報工学概論（内田）				国語Ⅰ（言）（松井（真））		基礎数学α（飯間）		化学Ⅰ（北村）				英文法Ⅰ（板倉）		保健・体育Ⅰ（松井（良）・森）		地理（上島）				基礎数学β（稲川）		英語Ⅰ（伊藤）		[選]美術・音楽（宇野・荒巻）		特活（北村）		情報リテラシー（内田）		基礎数学α（飯間）		英語Ⅰ（W）（森岡）		ディジタル回路（松尾）	
	M	化学（石丸）		情報リテラシー（脇谷）		物質化学工学実験Ⅰ（中村秀・石丸）				基礎数学β（稲川）		一般化学演習Ⅰ（林）		物理Ⅰ（新野）				基礎数学α（飯間）		地理（上島）		英文法Ⅰ（板倉）		化学（石丸）		[選]美術・音楽（宇野・荒巻）		保健・体育Ⅰ（松井（良）・森）		国語Ⅰ（現）（松井（真））		特活（飯間）		化学特論Ⅰ（亀井）		英語Ⅰ（伊藤）		基礎数学α（飯間）			
一学年	S	物理Ⅱ（稲田）		機械設計製図Ⅱ（小柴）		線形代数（篤野）		材料学Ⅰ（谷口）		機械工作法Ⅰ（廣）		保健・体育Ⅱ（松井（良）・竹村）		国語Ⅱ（現）（藤井）				微分積分Ⅰ（矢野）		英文法Ⅱ（道本）		機械工作実習Ⅱ（平）				物理Ⅱ（稲田）		歴史（上島）		化学Ⅱ（北村）		特活（石水）	数学TA	英語Ⅱ（石水）		微分積分Ⅰ（矢野）		機構学（廣）			
	C	電磁気学Ⅰ（藤田）		歴史（上島）		ディジタル回路（藤田）		国語Ⅱ（古）（藤井）		ものづくり基礎実習（大谷・永井・本村）				保健・体育Ⅱ（松井（良）・竹村）				英文法Ⅱ（道本）		微分積分Ⅰ（矢野）		物理Ⅱ（新野）		プログラミング（芦原）		微分積分Ⅰ（矢野）		英語Ⅱ（石水）		国語Ⅱ（現）（藤井）		特活（矢野）		化学Ⅱ（北村）		電気回路Ⅰ（大谷）		線形代数（山中）			
	E	歴史（上島）		プログラミング（樫）		電子制御工学実験Ⅱ（太田・西田）				英語Ⅱ（石水）		保健・体育Ⅱ（松井（良）・竹村）		物理Ⅱ（稲田）				化学Ⅱ（北村）		電気回路Ⅰ（山口和）		線形代数（篤野）				微分積分Ⅰ（山中）		英文法Ⅱ（道本）		物理Ⅱ（稲田）		特活（藤井）		微分積分Ⅰ（山中）		材料・加工学（西田）		国語Ⅱ（現）（藤井）			
	I	論理回路Ⅰ（山口賢）		歴史（上島）		英語Ⅱ（石水）		微分積分Ⅰ（山中）		情報工学実験Ⅰ（松尾・松村・内田）		線形代数（篤野）		保健・体育Ⅱ（松井（良）・竹村）				プログラミングⅠ（岡村）		化学Ⅱ（北村）		IT活用（上野）		国語Ⅱ（古）（上芝）		英語Ⅱ（W）（石水）		物理Ⅱ（藤森）		微分積分Ⅰ（山中）		特活（山中）		国語Ⅱ（現）（藤井）		英文法Ⅱ（道本）		情報数学（岡村）			
	M	歴史（上島）		微分積分Ⅰ（篤野）		一般化学演習（宇田）		無機化学Ⅰ（松浦）		線形代数（山中）		有機化学Ⅰ（宇田）		英語Ⅱ（石水）				生物化学Ⅰ（伊月）		微分積分Ⅰ（篤野）		物質化学工学実験Ⅱ（宇田・亀井）				国語Ⅱ（現）（藤井）		保健・体育Ⅱ（松井（良）・森）		英文法Ⅱ（道本）		特活（篤野）		一般化学演習Ⅱ（直江）		英語Ⅱ（W）（石水）		物理Ⅱ（稲田）			
三学年	S	国語Ⅲ（新井）		電気電子工学（廣）		体育理論Ⅰ（森）				機械工作法Ⅱ（谷口）		英文法Ⅲ（道本・伊藤・板倉）		創造設計製作（廣）				情報処理（平）		英語Ⅲ（塩川）		材料学Ⅱ（伊崎）				数学特論α（安田）		応用物理Ⅰ（新野）		政治・経済（竹原）		特活（坂本）		材料力学Ⅰ（谷口）		微分積分Ⅱ（豊田）		機械力学Ⅰ（坂本）			
	C	ものづくり応用実習（三崎・頭師・本村）				電気回路Ⅱ（石飛）		環境エレクトロニクス（三崎）		電子工学（藤田）		英文法Ⅲ（道本・伊藤・板倉）		政治・経済（竹原）				国語Ⅲ（新井）		電気工学実習Ⅰ（掛橋）		英語Ⅲ（塩川）						数学特論α（安田）		体育理論Ⅰ（森）		特活（藤田）		計測工学（芦原）		応用物理Ⅰ（新野）		微分積分Ⅱ（矢野）		電磁気学Ⅱ（石飛）	
	E	熱力学（中村篤）		数学特論α（稲川）		システム要素設計（早川）				計測工学Ⅰ（西田）		英文法Ⅲ（道本・伊藤・板倉）		政治・経済（竹原）				電気回路Ⅱ（山口和）		英語Ⅲ（後藤）		電子工学（玉木）		計算機アーキテクチャ（樫）		体育理論Ⅰ（松井（良））		微分積分Ⅱ（矢野）		国語Ⅲ（新井）		特活（玉木）	留学生の日本語（中西）	電子制御工学実験Ⅲ（橋爪）		応用物理Ⅰ（新野）		電磁気学（山口和）	
	I	データ構造とアルゴリズム（市川）		国語Ⅲ（新井）		数学特論β（山中）				応用物理Ⅰ（新野）		情報アクティブラーニングⅠ（全教員(I)）		英文法Ⅲ（道本・伊藤・板倉）				プログラミングⅡ（上野）		データベースとWebアプリケーション（岩田）		英語Ⅲ（後藤）		コンピュータアーキテクチャ（岩田）		計算機ネットワークⅠ（本間）		政治・経済（竹原）		数学特論α（稲川）		特活（上野）		情報工学実験Ⅱ（山口賢・岡村・岩田）		微分積分Ⅱ（豊田）		体育理論Ⅰ（松井（良））	
	M	無機化学Ⅱ（松浦）		体育理論Ⅰ（森）		微分積分Ⅱ（豊田）				物理化学Ⅰ（山田）		生物化学Ⅱ（直江）		英文法Ⅲ（道本・伊藤・板倉）				化学工学Ⅰ（林）		有機化学Ⅱ（宇田）		分析化学（石丸）		英語Ⅲ（後藤）		応用物理Ⅰ（新野）		国語Ⅲ（新井）		数学特論α（安田）				数学特論β（小川）		政治・経済（竹原）		物質化学工学実験Ⅲ（片倉・松浦・山田）			
五学年	S			機械工学ゼミナール（谷口）		機械力学演習（酒井）				機械工学実験Ⅰ（坂本・早・福岡）				材料力学演習（平）				流体力学Ⅱ（小柴）		数値計算法（坂本）						英語Ⅳ（後藤）		応用数学β（篤野）		国語表現法（上芝）						制御工学Ⅰ（酒井）		応用物理Ⅱ（榊原）		熱工学Ⅱ（中山）	
	C					電気機器工学（永井）		通信工学（頭師）				応用物理Ⅱ（榊原）		国語表現法（上芝）				電気・電子工学実験Ⅲ（藤田・芦原・池田・頭師）				アナログ回路（掛橋）		制御工学Ⅰ（藤本）				英語Ⅳ（後藤）		ディジタルシステム（土井）								応用数学β（小川）		電気回路Ⅲ（大谷）	
	E			材料力学演習（太田）		制御工学Ⅱ（飯田）						流体力学演習（中村篤）		応用物理Ⅱ（榊原）						計測工学演習（玉木）		電磁気学演習（橋爪）						国語表現法（上芝）		英語Ⅳ（後藤）						応用数学β（小川）		システム設計製作（橋爪・山口和）		電子制御工学実験Ⅳ（西田）	
	I					数値計算・統計（松村）				計算機言語処理（岡村）		情報アクティブラーニングⅡ（全教員(I)）								英語Ⅳ（柑本）		プログラミングⅢ（本間・松尾）		情報セキュリティ（岡村）		応用物理Ⅱ（榊原）		計算機ネットワークⅡ（本間）		応用数学β（篤野）								情報工学実験Ⅲ（山口智・本間・上野・市川）		
	M	微粒子工学（林）		物理化学Ⅱ（山田）		物質化学工学実験Ⅳ（直江・伊月・林）				化学工学Ⅱ（林）		生物化学Ⅱ（伊月）						英語Ⅳ（柑本）		応用微生物学（伊月）										応用物理Ⅱ（榊原）						基礎量子化学（松浦）		有機化学Ⅱ（亀井）		応用数学β（小川）	
四学年	S	応用制御工学（酒井）								機械設計工学演習（須田）		［選］日本文化学 ［選］人間環境学（新井・上島）										機械設計工学（藤本）				卒業研究						生産システム工学（平）		［選］地域学（増山）					
	C									高電圧工学（池田）				電気・電子工学実験Ⅳ（全教員）								環境エネルギー工学（池田）		半導体工学（三崎）		卒業研究								伝送工学（芦原）			
	E			ロボティクスⅡ（早川）										数値解析（橋爪）	卒業研究					応用システム設計（橋爪）						卒業研究										機械力学（太田）			
	I	ソフトウェア工学（内田）				情報工学特論（市川）				ヒューマンコンピュータインタラクション（山口智）				卒業研究Ⅱ						借用処理（松尾）						卒業研究Ⅱ										現代社会と法（竹原）			
	M	プロセス制御（田口）		現代社会と法（竹原）		基礎電気化学（山田）		卒業研究（宇田・山田）		卒業研究（直江・松浦・亀井・石丸・伊月・中村秀）				卒業研究						卒業研究（林）						卒業研究													

資料7

令和7年度特別講演会実施一覧

学科	実施日	演題	講師
M	令和7年11月20日(木)	「医療を支える情報のしくみ」	奈良県立医科大学 戦略的医療情報連携推進講座 教授
S	令和7年12月17日(水)	「ヒューマンロボティクス」	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域 教授
I	令和7年6月19日(木)	「高専キャラバン2025奈良」	株式会社TOKIUM　プロダクト組織開発部　DevHR 株式会社みらいスタジオ　開発事業G　サブリーダー 株式会社プロッセル　CTO フラー株式会社　エンジニアリンググループ　エンジニア
C	令和7年7月8日(火)	「ポリエーテルポリカーボネートウレタンの設計・合成・物性」	UBE株式会社 研究開発本部　大阪研究開発センター サステナブルマテリアルグループ グループリーダー
専攻科	令和7年11月13日（木）	「分散知能のためのネットワーク」	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学領域　大規模システム管理研究室 准教授

資料8

令和7年度第4学年対象進路セミナー実施一覧

学科	実施日	講師
E	令和7年12月16日（火）	平成29年度専攻科修了生 （近畿日本鉄道 鉄道本部 企画統括部 技術管理部（車両））
S	令和7年11月14日（金）	令和4年度卒業生 （千代田化工建設株式会社）
C	令和7年12月16日（火）	平成23年度卒業生 （UBE株式会社　堺工場　製造技術グループ）

令和7年度秋季社会工場見学，専攻科学外研修

期日	クラス	行　　程	引率教員		
12月12日（金）	1M	ニフレル，万博記念公園，大阪国際空港　株式会社JALエンジニアリング	伊藤	榊原	
	1E	株式会社小松製作所　大阪工場，EXPOCITY，ニフレル	板倉	池田	三崎
	1S	新明和工業株式会社　甲南工場，御前浜公園，阪神電気鉄道株式会社　尼崎車庫	松井（真）	太田	橋爪
	1I	株式会社ダイフク　日に新た館，甲賀流忍者屋敷	北村	山口（智）	
	1C	株式会社大阪ソーダ　尼崎工場，シオノギファーマ株式会社	飯間	亀井	上島
	2M	株式会社JALエンジニアリング 大阪航空機整備センター，万博記念公園	石水	小柴	稲田
	2E	株式会社エネゲート千里丘事業所，万博記念公園，カップヌードルミュージアム大阪池田	矢野	大谷	
	2S	GMB株式会社	藤井	山口（和）	
	2I	ドコモ大阪南港ビル，天王寺動物園	山中	松尾	内田
	2C	住友化学株式会社　大阪工場，天保山公園，株式会社資生堂　大阪茨木工場	鷲野	松浦	上芝
	3M	大徳食品株式会社，株式会社ヒラノテクシード，馬見丘陵公園，岡本株式会社　奈良工場，大同薬品工業株式会社	坂本	新井	
	3E	国会図書館　関西館，オムロン株式会社　京阪奈イノベーションセンター，関西電力送配電株式会社　新生駒変電所	藤田	本村	
	3S	株式会社モリタ製作所，大和ハウス工業株式会社　総合技術研究所	玉木	稲川	
	3I	谷町四丁目駅(集合)，班ごとに行動，近畿管区警察局，大阪府警察本部(解散)	上野	本間	
	3C	三井化学株式会社　大阪工場，浜寺公園，UBE株式会社　堺工場	宇田	林	豊田
	4M	株式会社MSTコーポレーション，国会図書館　関西館（けいはんなプラザ周辺で昼食），株式会社HILLTOP	谷口	道本	
	4E	紀ノ川SA，和歌山アイコム株式会社	頭師	芦原	松井（良）
	4S	村田機械株式会社　京都本社，湖岸緑地唐崎苑，株式会社堀場製作所　びわこ工場	西田	森	
	4I	西三荘駅(集合)，パナソニックミュージアム，パナソニックホールディングス株式会社，西三荘駅（解散）	岡村	岩田	
	4C	積水化学工業株式会社　滋賀水口工場，多賀SA，マルホ株式会社　彦根工場	直江	伊月	
4月25日（金）	専攻科（1年）	コトクリエ，信貴山のどか村	松村	山田	竹原
12月12日（金）	専攻科（1年）	DMG森精機株式会社，唐子・鍵遺跡　史跡公園，フルックス	竹原	須田	
	専攻科（2年）	京都大学宇治川オープンラボラトリー，けいはんな記念公園，RITE（公益財団法人地球産業技術研究機構）	松村	山田	

資料１０

年度別博士号取得者一覧

年度 ＼ 区分	現員	学科別博士号取得者数							
		校　長	一　般	機　械	電　気	電　制	情　報	物　化	合　計
令和3年度	75	1	13	9	8	7	9	12	59
令和4年度	72	1	15	8	8	8	9	12	61
令和5年度	74	1	16	8	8	8	9	13	63
令和6年度	70	1	16	8	9	8	9	10	61
令和7年度	70	1	17	9	8	7	9	8	59

資料11

令和7年度 クラブ顧問・部員数一覧

体 育 部

クラブ名	主顧問（連絡担当）	顧問	顧問	顧問	部員数 1年 男子	1年 女子	2年 男子	2年 女子	3年 男子	3年 女子	4年 男子	4年 女子	5年 男子	5年 女子	計 男子	計 女子	計 合計
アーチェリー	石丸 裕士	岩田 大志	本間 啓道		7	1	2	3	2	2	3	0	0	0	14	6	20
合 気 道	石飛 学	池田 陽紀	松浦 幸仁	石水 明香	4	4	4	0	2	0	1	2	1	0	12	6	18
弓 道	谷口 幸典	北村 誠	新井 由美		9	9	4	3	7	4	4	4	14	3	38	23	61
剣 道	池田 陽紀	須田 敦	三崎 雅裕		4	1	4	0	3	0	5	3	0	0	16	4	20
硬式野球	内田 眞司	平 俊男	酒井 史敏	小柴 孝	6	0	7	1	7	2	3	3	2	0	25	6	31
サッカー	山口 智浩	上野 秀剛	松尾 賢一		5	0	3	2	9	1	3	0	3	0	23	3	26
柔 道	矢野 充志				4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	5
少林寺拳法	直江 一光	松井 真希子			0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	6	1	7
水 泳	廣 和樹	石飛 学	松村 寿枝	橋爪 進	7	2	5	5	2	3	9	1	2	4	25	15	40
ソフトテニス	藤井 隆輔	宇田 亮子	西田 茂生	伊月 亜有子	3	0	4	0	4	0	5	0	1	1	17	1	18
卓 球	亀井 稔之	榊原 和彦	鷲野 朋広	松井 真希子	7	0	2	1	8	2	2	0	2	1	21	4	25
硬式テニス	福岡 寛	樑 弘明	山口 賢一	伊藤 麻理	2	0	4	1	5	1	3	1	1	0	15	3	18
バスケットボール	新野 康彦	頭師 孝拓	稲川 太郎	本村 拓海	1	4	4	0	6	1	3	0	2	0	16	5	21
バドミントン	伊月 亜有子	林 啓太	玉木 隆幸	岡村 真吾	11	6	13	5	6	0	5	4	1	0	36	15	51
バレーボール	松井 良明	太田 孝雄	板倉 和裕	道本 祐子	6	8	5	2	4	3	4	3	0	3	19	19	38
ハンドボール	大谷 真弘	坂本 雅彦	豊田 洋平		1	2	0	0	1	1	4	0	2	0	8	3	11
ラグビー	森 弘暢	山口 和也	矢野 充志	市川 嘉裕	5	0	10	0	7	0	6	0	2	0	30	0	30
陸上競技	飯間 圭一郎	稲田 直久	太田 孝雄	山中 聡恵	9	5	5	2	3	3	5	3	4	1	26	14	40
				小 計	91	42	76	25	82	24	65	24	37	14	351	129	480

文 化 部

からくり	橋爪 進	廣 和樹	上島 智史	山田 裕久	19	4	19	0	5	0	7	1	0	0	50	5	55
機械研究会	坂本 雅彦	頭師 孝拓			3	5	2	1	2	0	3	2	1	0	11	8	19
軽音楽	山口 和也	谷口 幸典			16	9	20	14	9	5	13	9	12	1	70	38	108
茶 道	西田 茂生	松村 寿枝			2	9	1	3	4	6	2	3	0	2	9	23	32
システム開発研究会	中村 篤人	樑 弘明			0	0	1	0	6	3	8	1	0	0	15	4	19
将 棋	玉木 隆幸	岡村 真吾			2	0	4	1	3	2	2	0	2	0	13	3	16
情報処理研究会	岩田 大志	松尾 賢一	上野 秀剛		10	2	6	3	4	0	1	0	3	0	24	5	29
吹奏楽	永井 歩美	芦原 佑樹	顯谷 智也子	藤田 直幸	2	4	5	4	3	6	4	3	0	0	14	17	31
美 術	市川 嘉裕	竹原 信也			3	6	0	9	3	3	0	0	1	1	7	19	26
放 送	芦原 佑樹	山口 賢一			7	1	11	0	2	0	2	0	5	2	27	3	30
				小 計	64	40	69	35	41	25	42	19	24	6	240	125	365

同 好 会

化学同好会	宇田 亮子	林 啓太			3	3	2	2	11	9	6	0	0	0	22	14	36
合唱同好会	稲田 直久	松井 良明			0	5	0	3	0	0	1	0	2	4	3	12	15
クイズ研究会	新井 由美				5	2	0	2	5	1	1	1	1	1	12	7	19
手芸同好会	石水 明香				0	1	0	3	0	4	0	3	0	2	0	13	13
数学同好会	山中 聡恵	飯間 圭一郎			1	0	0	0	7	2	3	2	0	0	11	4	15
生協学生同好会	藤井 隆輔	上芝 令子			5	8	0	1	3	0	0	1	0	0	8	10	18
電気技術研究会	三崎 雅裕	大谷 真弘			3	1	8	2	1	0	3	2	0	0	15	5	20
				小 計	17	20	10	13	27	16	14	9	3	7	71	65	136

各学年部員数※	1年 男子	1年 女子	2年 男子	2年 女子	3年 男子	3年 女子	4年 男子	4年 女子	5年 男子	5年 女子	合計 男子	合計 女子
	172	102	155	73	150	65	121	52	64	27	662	319

※各学年部員数はのべ数（複数の部に所属している者もカウント）

総合計	981

				学生会執行部員数	1年 男子	1年 女子	2年 男子	2年 女子	3年 男子	3年 女子	4年 男子	4年 女子	5年 男子	5年 女子	合計 男子	合計 女子
学生会執行部	福岡 寛	上島 智史	三崎 雅裕		2	2	9	4	8	1	5	0	5	1	29	8

総合計	37

資料１２

令和７年度　大会等成績一覧

＜体育系＞

大会名	月・日	種目		成績
第106回全国高校野球選手権春季奈良大会	4.20-29			３回戦敗退
第74回大和郡山市市民スポーツ大会	5.11	弓道		優勝
第62回近畿地区高等専門学校体育大会	6.28	陸上競技	総合	入賞なし
			男子　100m	入賞なし
			男子　800m	入賞なし
			男子　1500m	準優勝
			男子　5000m	準優勝
			男子　4×100mリレー	入賞なし
			男子　4×400mリレー	入賞なし
			男子　走幅跳	入賞なし
			男子　砲丸投	入賞なし
			男子　槍投	入賞なし
			女子　100m	優勝
			女子　800m	準優勝
				3位
			女子　4×100mリレー	3位
			女子　走幅跳	入賞なし
			女子　砲丸投	優勝
	6.28-29	バスケットボール		入賞なし
	7.5-6	バレーボール	男子	3位
			女子	入賞なし
	7.5-6	ソフトテニス	団体　男子	入賞なし
			個人　男子	入賞なし
	7.5-6	卓球	団体　男子	入賞なし
			個人　男子ダブルス	入賞なし
			個人　男子シングルス	入賞なし
			個人　女子シングルス	入賞なし
	6.28-29	柔道	男子　個人66kg級	入賞なし
			女子　個人無差別級	優勝
	6.28-29	剣道	団体　男子	3位
			個人　男子	4位
			団体　女子	入賞なし
			個人　女子	入賞なし
	5.17-18	硬式野球（大阪公大高専との合同チーム）		入賞なし
	6.21-23	サッカー		入賞なし
	6.28-29	ハンドボール		3位
	6.21-22	テニス	団体　男子	入賞なし
			個人　男子シングルス	入賞なし
			個人　男子ダブルス	入賞なし
			団体　女子	優勝
			個人　女子シングルス	優勝
				準優勝
			個人　女子ダブルス	優勝
		バドミントン	団体　男子	優勝

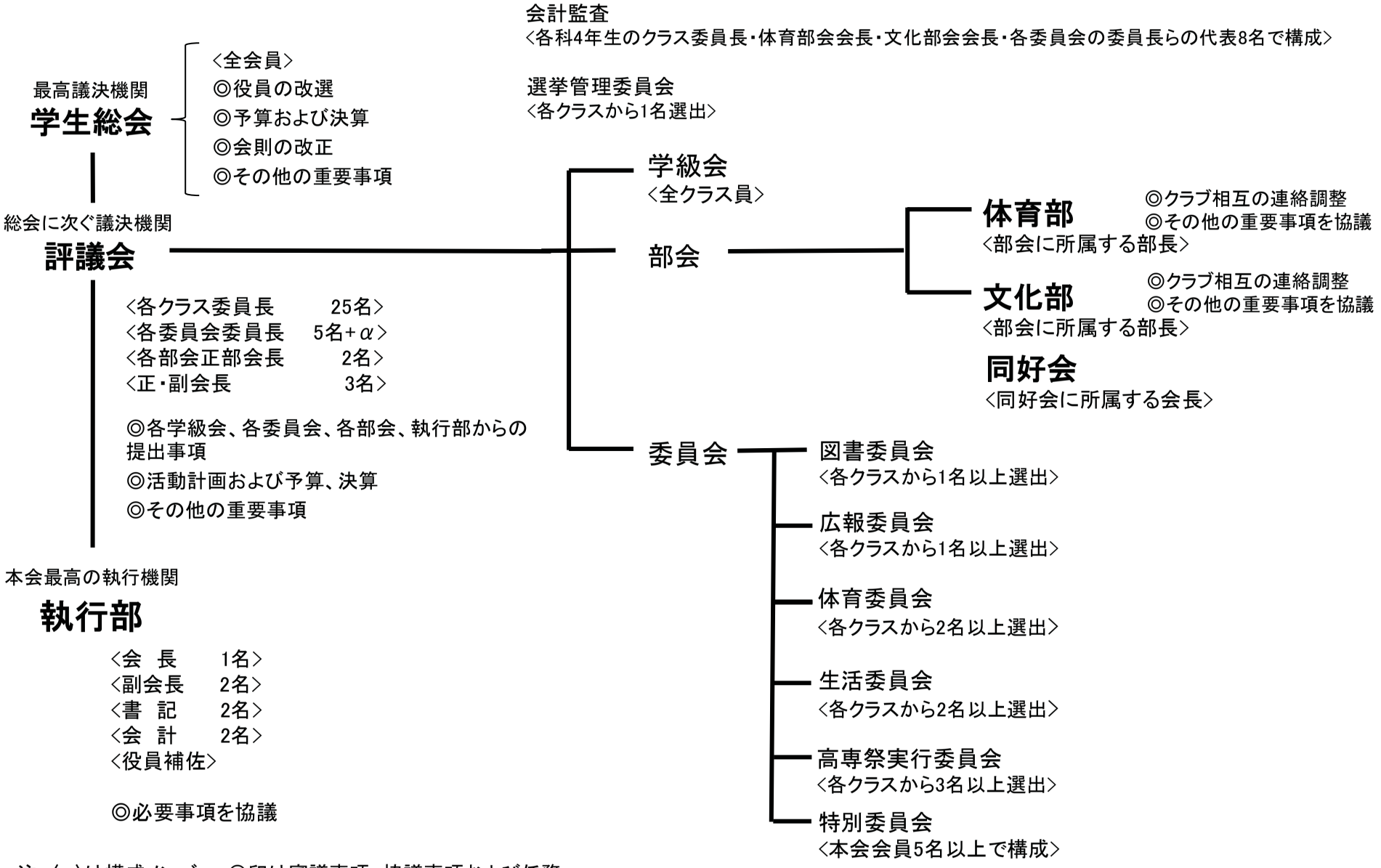
大　会　名	月・日	種　目		成績
	370m8		個人　男子ダブルス	1位
			個人　男子シングルス	入賞なし
			団体　女子	準優勝
			個人　女子ダブルス	入賞なし
			個人　女子シングルス	1位
	378	水泳	男子　自由形　06m	入賞なし
			男子　自由形　466.	1位
			男子　自由形　266.	入賞なし
			男子　自由形　-66.	入賞なし
			男子　背泳ぎ　466.	入賞なし
			男子　背泳ぎ　266.	入賞なし
			男子　平泳ぎ　466.	入賞なし
			男子　バタフライ　466.	入賞なし
			男子　フリーリレー-9 466.	準優勝
			男子　メドレーリレー-9 466.	1位
			女子　自由形　06m	1位
			女子　自由形　466.	1位
			女子　背泳ぎ　466.	入賞なし
			女子　平泳ぎ　466.	入賞なし
			女子　バタフライ　466.	入賞なし
			女子　個人メドレー　266.	2位
			女子　フリーリレー-9 06.	2位
			女子　メドレーリレー-9 06.	1位
	4474	ラグビー		優勝
第463回全国高校野球選手権奈良大会	3726	硬式野球		３回戦敗退
第05回近畿地区高専弓道大会	37-	弓道	団体　男子	入賞なし
			個人　男子	優勝
			団体　女子	優勝
			個人　女子	優勝
			個人　女子	2位
第86回全国高等専門学校体育大会	572×m16	陸上競技	男子　4066.	予選敗退
			男子　0666.	予選敗退
			女子　466.	予選敗退
			女子　566.	予選敗退
			女子　砲丸投	-位
	5716m14	柔道	女子　個人無差別級	1位
	5716m14	剣道	個人　男子	2回戦敗退
	5728m25	テニス	団体　女子	4回戦敗退
			個人　女子シングルス	ベスト８
				ベスト８
			個人　女子ダブルス	ベスト48
	×70m3	バドミントン	団体　男子	4回戦敗退
	5721m2-	水泳	男子　自由形　466.	予選敗退
			男子　フリーリレー-9 466.	予選敗退
			女子　個人メドレー　266.	3位
			女子　フリーリレー-9 06.	8位
	47-m×	ラグビー		優勝
第12回西日本地区高等専門学校アーチェリー競技会	5728m23	アーチェリー	団体　男子	2位
			団体　女子	優勝
			個人　男子　16.ダブル競技	優勝
			個人　女子　06m・16.競技	優勝
				2位

大　会　名	月・日	種　目		成績
			個人　女子　30mダブル競技	優勝
			個人　女子　30m競技	優勝
第12回全国高等専門学校弓道大会	8.28-29	弓道	個人	3位
			団体	準優勝
			個人	入賞なし
			個人	入賞なし
第42回通信制全国高等専門学校アーチェリー競技会		アーチェリー	団体　男子　70mダブル競技	2位
			団体　男子　50m・30m競技	2位
			団体　女子　50m・30m競技	優勝
			個人　女子　50m・30m競技	優勝
				2位

＜文化系＞

大　会　名	月・日	種　目		成績
第32回全国高等専門学校将棋大会	8.27-29	将棋	団体戦	予選リーグ敗退
			男子個人戦	ベスト８
				ベスト16
				ベスト16
				ベスト64
			女子個人戦	予選リーグ敗退
第17回全国高等学校鉄道模型コンテスト	8.1-3	機械研究会	ジオラマ部門	健闘賞
第57回国際化学オリンピック	7.5-14			金メダル
全国高等専門学校デザインコンペティション2025		AMデザイン部門		予選敗退
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025近畿地区大会	9.21		Aチーム「金剛（コンゴウ）」	優勝
			Bチーム「塔大事（トウダイジ）」	特別賞
第36回全国高等専門学校プログラミングコンテスト	10.11-12	競技部門		準決勝敗退
KOSENセキュリティコンテスト2025	10.25			優勝
近畿地区高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト2025	11.15-16	シングル部門		4位
アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2025全国大会	11.16	Aチーム「金剛（コンゴウ）」		技術賞
第5回 全国高校 軽音楽部大会 we are SNEAKER AGES オリジナルソングコンテスト	11.17			優秀賞
第4回高専GIRLS SDGs × Technology Contest	12.14			ファイナリスト賞
第三回高専マテリアルコンテスト	3.14-15			マテコン大賞
関西春ロボコン2026	3.11-12		からくり部A	優勝
			からくり部B	準優勝

≪学生会組織図≫



注 〈 〉は構成メンバー・◎印は審議事項、協議事項および任務

資料１４

学生支援センター相談件数

年度	相談項目＼学年		1年	2年	3年	4年	5年	専攻科	保護者	教職員	合計
R3	心理相談	人数	3	8	8	4	5	3	8	12	51
		延べ数	6	16	12	10	82	11	14	37	188
	学業	人数	10	8	8	6	5	0	9	5	51
		延べ数	27	37	11	8	5	0	10	11	109
	対人関係	人数	1	2	2	6	2	1	2	16	32
		延べ数	1	9	8	75	25	1	3	71	193
	進路相談	人数	2	2	4	8	47	8	13	2	86
		延べ数	3	4	9	15	86	30	13	6	166
	異性問題	人数	0	1	1	1	2	0	0	0	5
		延べ数	0	1	1	1	4	0	0	0	7
	ハラスメント	人数	0	2	0	1	0	0	0	5	8
		延べ数	0	5	0	1	0	0	0	5	11
	家庭内問題	人数	0	3	1	1	1	0	0	2	8
		延べ数	0	3	1	2	32	0	0	2	40
	その他	人数	7	4	4	3	2	4	19	36	79
		延べ数	23	10	6	26	2	20	38	74	199
	合計	人数	23	30	28	30	64	16	51	78	320
		延べ数	60	85	48	138	236	62	78	206	913
R4	心理相談	人数	3	7	11	9	19	3	6	16	74
		延べ数	5	12	41	28	90	4	13	76	269
	学業	人数	78	8	8	31	3	2	10	8	148
		延べ数	116	19	18	38	5	11	27	19	253
	対人関係	人数	3	3	4	0	4	0	2	2	18
		延べ数	3	11	5	0	10	0	2	2	33
	進路相談	人数	2	5	1	22	20	2	8	9	69
		延べ数	2	8	1	29	91	4	14	14	163
	異性問題	人数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		延べ数	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ハラスメント	人数	5	0	0	0	0	0	1	3	9
		延べ数	8	0	0	0	0	0	2	11	21
	家庭内問題	人数	0	0	3	5	2	0	0	0	10
		延べ数	0	0	8	6	2	0	0	0	16
	その他	人数	10	2	4	18	7	0	32	90	163
		延べ数	12	2	16	20	21	0	44	225	340
	合計	人数	101	25	31	86	55	7	59	128	492
		延べ数	146	52	89	122	219	19	102	347	1096
R5	心理相談	人数	7	22	5	9	3	5	12	41	104
		延べ数	20	36	15	36	17	6	25	145	300
	学業	人数	2	6	8	0	0	1	5	3	25
		延べ数	4	11	25	0	0	1	7	10	58
	対人関係	人数	9	2	3	0	3	0	2	1	20
		延べ数	16	3	4	0	12	0	9	1	45
	進路相談	人数	2	6	6	4	11	3	5	12	49
		延べ数	4	11	13	14	35	3	12	19	111
	異性問題	人数	1	0	2	0	1	0	0	0	4
		延べ数	1	0	2	0	1	0	0	0	4
	ハラスメント	人数	0	1	0	0	1	0	0	1	3
		延べ数	0	2	0	0	2	0	0	1	5
	家庭内問題	人数	4	1	2	1	0	0	4	2	14
		延べ数	4	1	2	1	0	0	10	2	20
	その他	人数	10	3	8	3	1	2	18	63	108
		延べ数	14	5	8	9	1	3	54	125	219
	合計	人数	35	41	34	17	20	11	46	123	327
		延べ数	63	69	69	60	68	13	117	303	762

	相談項目＼月	相談分類（在学生のみ）														保護者・教職員から相談
		学業	進路・就職	家族関係	対人関係（学校・いじめ）	対人関係（その他）	心理・性格	学校生活への不適応・不満	精神衛生・心身の健康	経済的問題	ハラスメント	性に関すること（LGBTQ等）	その他の相談	合計	左記のうち、オンラインで対応した相談件数	
R6	４月	73	34	4	4	0	1	7	8	0	0	0	0	131	4	35
	５月	31	22	1	2	4	2	8	10	1	0	0	4	85	0	51
	６月	10	8	2	1	3	2	8	5	0	0	0	1	40	1	17
	７月	34	4	7	2	0	1	12	6	0	1	0	1	68	0	99
	８月	28	1	5	2	0	3	7	3	0	0	0	0	49	0	51
	９月	4	1	4	2	0	0	6	2	0	0	0	0	19	0	12
	１０月	48	8	14	2	2	0	14	10	1	2	0	2	103	1	53
	１１月	11	1	6	4	8	0	8	6	0	2	0	2	48	0	23
	１２月	19	6	3	5	2	3	8	5	0	1	0	2	54	1	31
	１月	17	20	5	1	2	1	7	4	0	0	0	0	57	1	19
	２月	18	34	4	1	1	1	5	3	1	1	0	0	69	1	30
	３月	0	3	6	1	0	0	1	2	0	0	0	0	13	0	3
	合計	293	142	61	27	22	14	91	64	3	7	0	12	736	9	424

	相談項目＼月	相談分類（在学生のみ）														保護者・教職員から相談
		学業	進路・就職	家族関係	対人関係（学校・いじめ）	対人関係（その他）	心理・性格	学校生活への不適応・不満	精神衛生・心身の健康	経済的問題	ハラスメント	性に関すること（LGBTQ等）	その他の相談	合計	左記のうち、オンラインで対応した相談件数	
R7	４月	11	66	2	4	1	4	7	12	0	0	0	2	109	0	24
	５月	15	25	3	3	4	3	5	20	0	0	0	4	82	0	30
	６月	18	19	4	1	4	5	5	17	0	0	0	2	75	1	49
	７月	13	20	5	8	9	1	9	12	0	0	0	1	78	1	47
	８月	9	15	3	4	2	2	2	6	0	0	0	1	44	0	27
	９月	10	11	0	0	1	3	2	7	0	0	0	0	34	1	23
	１０月	26	19	8	4	5	7	9	19	1	0	0	0	98	1	57
	１１月	21	15	7	3	3	4	10	13	0	0	0	0	76	0	37
	１２月	18	16	6	1	5	6	7	14	1	0	0	0	74	1	39
	１月	16	18	5	0	2	5	4	11	0	0	0	1	62	0	27
	２月	11	18	8	0	6	6	10	8	0	0	1	0	68	0	27
	３月	6	16	3	1	1	1	1	5	0	0	0	0	34	0	14
	合計	174	258	54	29	43	47	71	144	2	0	1	11	834	5	401

資料１５

令和7年度 保健室利用学生数

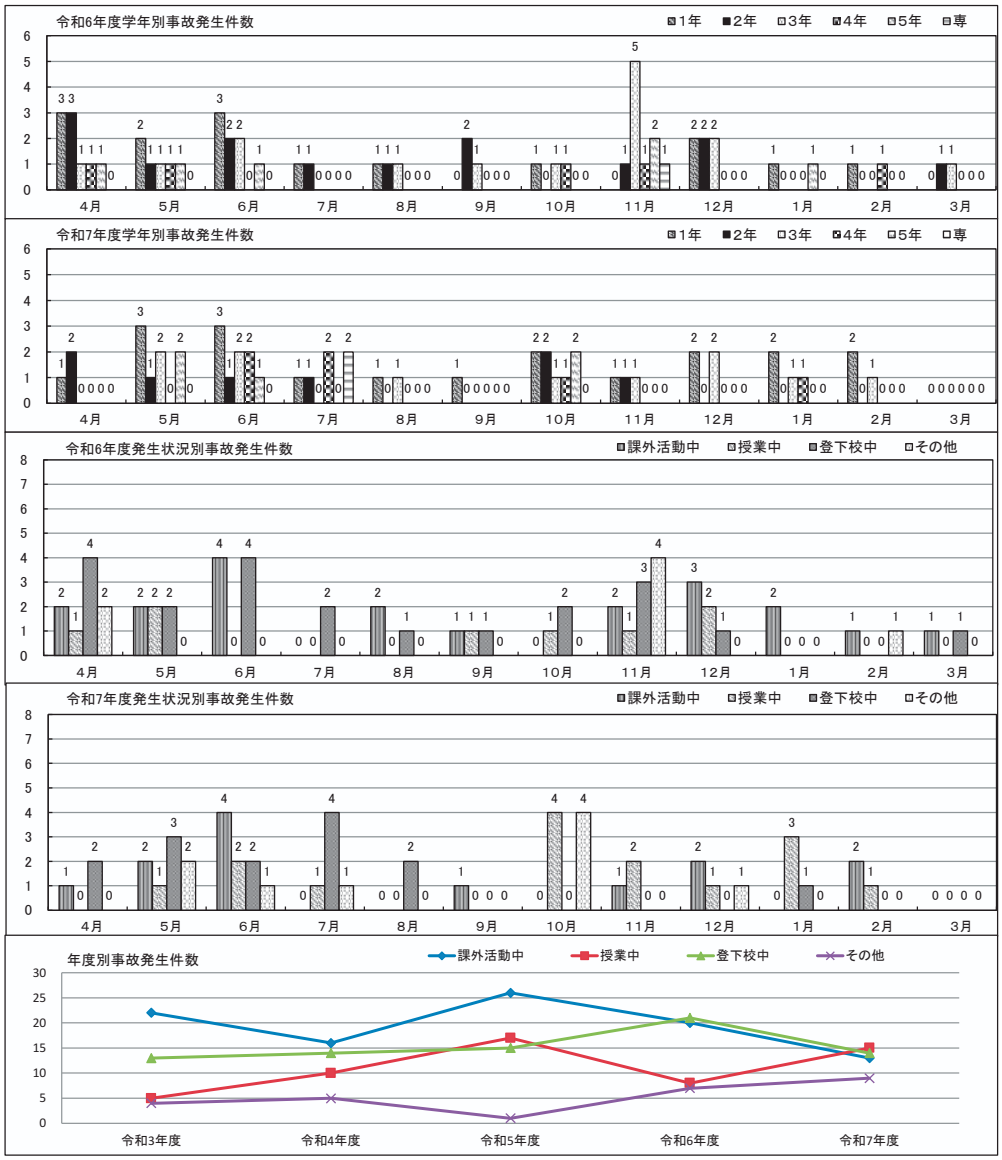
区分 / 月	怪 我 等	体調不良等	相 談 等	総　数	登校日数
4	23	19	8	50	19(春季休業)
5	22	24	10	56	20
6	18	17	19	54	21（前期中間試験）
7	12	35	15	62	22（前期末試験）
8	7	8	9	24	6
9	2	1	3	6	0（夏季休業）
10	31	36	20	87	22
11	22	25	5	52	18（後期中間試験）
12	12	21	8	41	20（後期中間試験・冬季休業）
1	12	19	5	36	17（冬季休業）
2	6	7	4	17	16（学年末試験）
3	2	0	2	4	14（学年末休業）
合計	169	212	108	489	195

保健室利用状況

区　分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
怪　我　等	140	171	201	189	169
体　調　不　良　等	178	186	252	215	212
相　談　等	60	93	52	74	108
合　計	378	450	505	478	489

資料１６

令和6.7年度　学生事故発生件数



令和6年度事故発生報告（提出された事故報告書に基づく）

	月別学年別							月別発生状況別					
発生月	1年	2年	3年	4年	5年	専	計	発生月	課外活動中	授業中	登下校中	その他	計
4月	3	3	1	1	1	0	9	4月	2	1	4	2	9
5月	2	1	1	1	1	0	6	5月	2	2	2	0	6
6月	3	2	2	0	1	0	8	6月	4	0	4	0	8
7月	1	1	0	0	0	0	2	7月	0	0	2	0	2
8月	1	1	1	0	0	0	3	8月	2	0	1	0	3
9月	0	2	1	0	0	0	3	9月	1	1	1	0	3
10月	1	0	1	1	0	0	3	10月	0	1	2	0	3
11月	0	1	5	1	2	1	10	11月	2	1	3	4	10
12月	2	2	2	0	0	0	6	12月	3	2	1	0	6
1月	1	0	0	0	1	0	2	1月	2	0	0	0	2
2月	1	0	0	1	0	0	2	2月	1	0	0	1	2
3月	0	1	1	0	0	0	2	3月	1	0	1	0	2
総数	15	14	15	5	6	1	56	総数	20	8	21	7	56

	課外活動中	授業中	登下校中	その他	計
令和3年度	22	5	13	4	44
令和4年度	16	10	14	5	45
令和5年度	26	17	15	1	59
令和6年度	20	8	21	7	56
令和7年度	13	15	14	9	51

令和7年度事故発生報告（提出された事故報告書に基づく）

	月別学年別							月別発生状況別					
発生月	1年	2年	3年	4年	5年	専	計	発生月	課外活動中	授業中	登下校中	その他	計
4月	1	2	0	0	0	0	3	4月	1	0	2	0	3
5月	3	1	2	0	2	0	8	5月	2	1	3	2	8
6月	3	1	2	2	1	0	9	6月	4	2	2	1	9
7月	1	1	0	2	0	2	6	7月	0	1	4	1	6
8月	1	0	1	0	0	0	2	8月	0	0	2	0	2
9月	1	0	0	0	0	0	1	9月	1	0	0	0	1
10月	2	2	1	1	2	0	8	10月	0	4	0	4	8
11月	1	1	1	0	0	0	3	11月	1	2	0	0	3
12月	2	0	2	0	0	0	4	12月	2	1	0	1	4
1月	2	0	1	1	0	0	4	1月	0	3	1	0	4
2月	2	0	1	0	0	0	3	2月	2	1	0	0	3
3月	0	0	0	0	0	0	0	3月	0	0	0	0	0
総数	19	8	11	6	5	2	51	総数	13	15	14	9	51

資料１７

入学料免除者数（高専機構）

年　　度	申請者数	全額免除	半額免除	不許可
令和3年度	7	7	7	7
令和4年度	3	7	7	3
令和5年度	7	7	7	7
令和6年度	7	7	7	7
令和7年度	7	7	7	7

入学料減免者数（高等教育の修学支援新制度）

年　　度	申請者数	満額減免	2/3減免	1/3減免	不認定・辞退
令和3年度	5	1	7	3	7
令和4年度	33	5	9	9	3
令和5年度	8	5	7	3	3
令和6年度	2	9	3	7	7
令和7年度	6	8	7	3	7

資料１８

授業料免除者数

授業料減免者数（高等教育の修学支援新制度）

※令和2年4月から「高等教育の修学支援新制度」（4年生以上の学生（収入等の要件有）に対し，①授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）と②給付型奨学金の2つの経済支援を行う）が開始。

※減免額については，　(1)「第Ⅰ区分：満額（上限の範囲内）」　(2)「第Ⅱ区分：第Ⅰ区分の減免額の2/3」
(3)「第Ⅲ区分：第Ⅰ区分の減免額の1/3」　(4)「第Ⅳ区分：第Ⅰ区分の減免額の1/4」
(5)「停止：適格認定（家計）により支援対象外」　(6)「不認定」　(7)「その他」

年　度		申請者数	(1) 全額減免	(2) 2/3減免	(3) 1/3減免	(4) 1/4減免	(5) 停止	(6) 不認定	(7) その他
令和4年度	前期	12	25	5	8		3	3	3
	後期	11	21	4	5		0	9	3
令和5年度	前期	01	96	1	1		2	2	7
	後期	04	29	4	9		1	3	7
令和6年度	前期	13	94	31	2	3	7	1	7
	後期	12	96	32	2	2	2	9	7
令和7年度	前期	329	376	37	2	7	7	37	7
	後期	392	376	1	0	7	7	1	7

授業料免除者数（高専機構）

年　度	前　期				後　期				
	申請者数	全額免除	半額免除	不許可	申請者数	全額免除	半額免除	一部免除	不許可
令和3年度	8	3	1(9)	9(3)	4	3	1	7	3
令和4年度	0	3	9	3	9	3	3	7	7
令和5年度	3	3	7	7	9	9	7	7	7
令和6年度	7	7	7	7	5	7	7	5	7
令和7年度	7	7	7	7	7	7	7	7	7

（　）が付いている授業料免除者は，「高等教育の修学支援新制度による授業料減免」の免除額が「高専機構による授業料免除」の免除額（不許可含む）より多いため，「高等教育の修学支援新制度による授業料減免」（2/3又は1/3減免）を適用している者。

資料１９

日本学生支援機構貸与奨学生採用者数

	本　科					専　攻　科					採用者数	採用者数
	在学採用（第一種）	在学採用（第二種）	緊急採用（第一種）	応急採用（第二種）	予約採用	在学採用（第一種）	在学採用（第二種）	緊急採用（第一種）	応急採用（第二種）	無利子（第二種）	合計（第一種）	合計（第二種）
令和３年度	7	5	1	1	5	3	9	1	1	1	8	3
令和４年度	1	9	1	1	1	1	5	1	1		1	3
令和５年度	2	9	1	1	1	1	1	1	1		2	9
令和６年度	6	1	1	1	1	3	9	1	1		99	9
令和７年度	7	9	1	1	1	9	1	1	1		4	9

※予約採用は，中学校で予め申請をし，本校入学後に届け出ることで採用が決定される。
※第一種・第二種併用申請者等は第一種・第二種それぞれに計上する。

資料２０

日本学生支援機構給付奨学生採用者数

	本　科						専　攻　科						採用者数
	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分	多子世帯	支給停止	第Ⅰ区分	第Ⅱ区分	第Ⅲ区分	第Ⅳ区分	多子世帯	支給停止	合計
令和４年度	52	7	0	1		9	8	3	1	1		3	78
令和５年度	51	7	5	1		5	95	7	1	1		9	75
令和６年度	55	91	3	3		9	2	3	1	1		5	76
令和７年度	53	2	2	92	49	3	5	9	1	1	91	5	996

※令和2年4月から「高等教育の修学支援新制度」（4年生以上の学生（収入等の要件有）に対し，
①授業料等の減免（授業料と入学料の免除または減額）と②給付型奨学金の2つの経済支援を行う）が開始。
※令和7年度から多子世帯への支援が拡大され、第Ⅰ～Ⅳ区分の中に多子世帯も含む。

資料21

進 路 状 況

年 度	学 科	卒業者数	求人		就職者			進学・その他
			企業数	求人数	民間企業	官公庁	計	
令和3年度	機 械 工 学 科	84	969	469	29	1	29	26
	電 気 工 学 科	89		415	25	2	41	29
	電子制御工学科	37		420	28	1	28	46
	情 報 工 学 科	85		270	42	1	42	29
	物質化学工学科	84		54	9	1	9	46
令和4年度	機 械 工 学 科	80	956	812	23	2	27	29
	電 気 工 学 科	85		462	26	1	26	40
	電子制御工学科	80		253	24	1	24	48
	情 報 工 学 科	84		291	9	1	9	46
	物質化学工学科	83		226	28	1	28	48
令和5年度	機 械 工 学 科	68	2146	820	44	2	48	41
	電 気 工 学 科	80		483	26	1	26	42
	電子制御工学科	82		490	22	1	22	41
	情 報 工 学 科	85		483	41	1	41	25
	物質化学工学科	89		240	5	1	5	45
令和6年度	機 械 工 学 科	83	527	492	23	1	23	41
	電 気 工 学 科	37		416	23	1	23	42
	電子制御工学科	64		447	40	2	43	23
	情 報 工 学 科	37		411	41	4	44	20
	物質化学工学科	85		248	26	1	26	40
令和7年度	機 械 工 学 科	85	598	434	48	1	48	23
	電 気 工 学 科	82		883	27	2	29	28
	電子制御工学科	83		449	46	1	46	24
	情 報 工 学 科	64		233	40	1	40	27
	物質化学工学科	84		248	28	1	28	25

資料２２

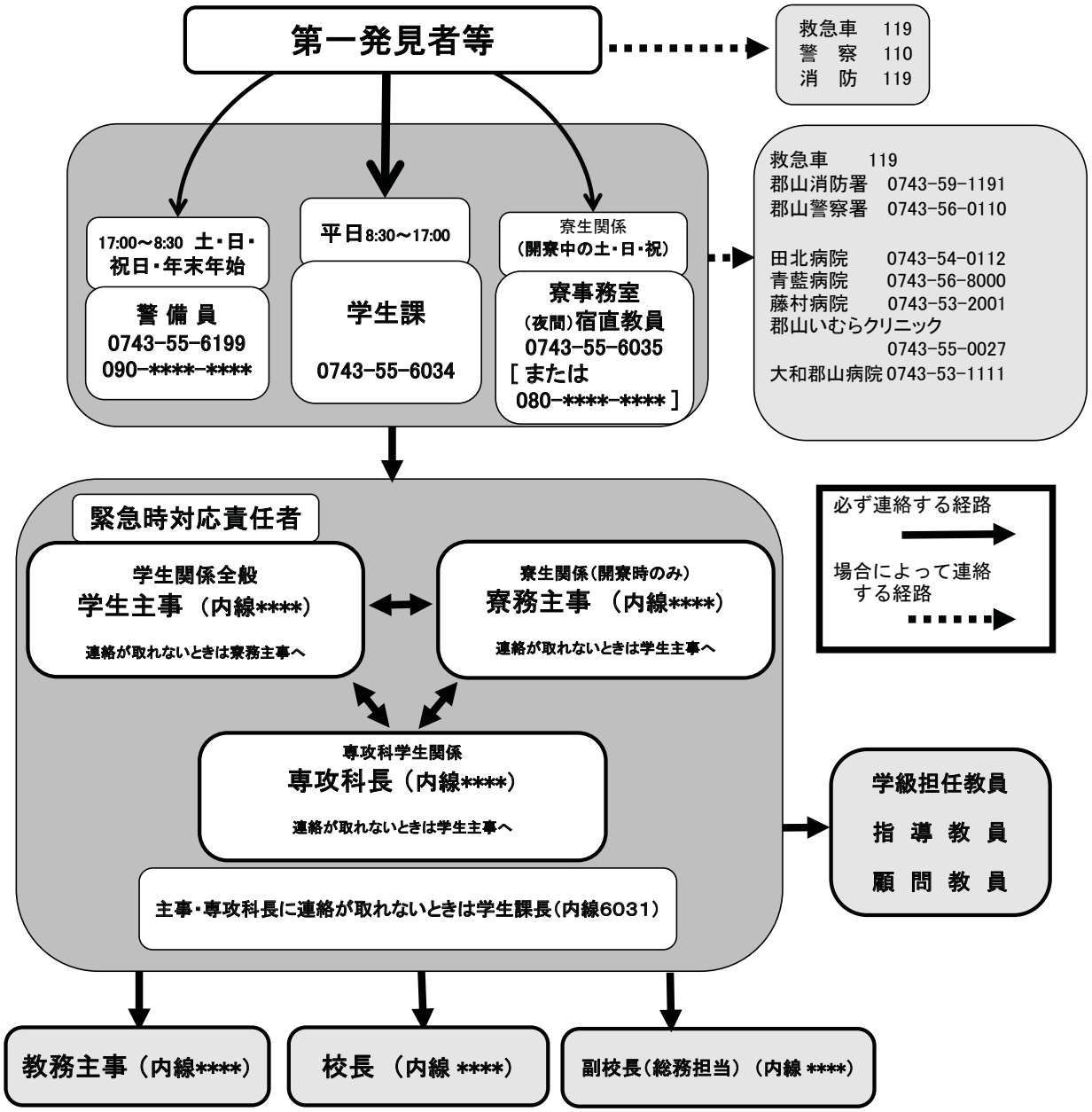
単車通学許可申請者

	学　年	申請者数	許可数
令和3年度	7	5	1
	3	3	3
	9	7	5
	8	3	3
	専攻科	2	2
	合　計	56	54
令和4年度	7	5	1
	3	4	8
	9	9	3
	8	5	5
	専攻科	55	55
	合　計	73	71
令和5年度	7	1	1
	3	5	5
	9	4	4
	8	7	7
	専攻科	4	4
	合　計	58	58
令和6年度	7	1	1
	3	7	1
	9	7	5
	8	6	6
	専攻科	9	9
	合　計	54	53
令和7年度	7	1	1
	3	3	5
	9	3	5
	8	7	5
	専攻科	9	9
	合　計	57	0

資料23

奈良高専学生関係事故等緊急時連絡ルート

（ 図中「 内線」は令和7年8月現在の対象教員研究室の内線電話番号）



○ 事故等の第一発見者は，生命の安全に留意し現場対応（救急車要請，警察通報）を行うとともに，速やかに関係部署へ連絡し応援を求める。

○ 緊急時対応責任者は，状況に応じ速やかに校長に報告するとともに，関係教職員とともにその対応に当たる。

○ 緊急時には次のことに留意する。

（1）生命の維持を最優先し，全教職員が適切な応急措置，救急体制がとれるように周知しておく。

（2）冷静で的確な判断と指示をする。

（3）救急車が必要だと判断した際には，直ちに救急車の要請を行う。

（4）けが等で病院に搬送するときは，緊急時を除き，保護者の意向を確認する。

（5）事故について，保護者に事故発生状況，程度，今後の対応など詳細に納得のいく説明をする。

（6）事故等緊急時連絡チェックリスト（別記）により関係教職員等に確実に連絡する。

（7）緊急時対応責任者は，経過及び対応を簡潔かつ正確に記録しておく（またはその指示をする）。

資料２４

学生委員会違反件数

（　）は関係者数

年度 / 違反・事件内容	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
無許可単車・自動車通学 免許取得要項違反	4	(4)	4	(4)	8	(8)	2	(4)	0	(0)
交通違反・事故	39	(39)	105	(105)	73	(76)	38	(40)	121	(122)
不祥事件 (条例違反･窃盗･不正利用等)	2	(4)	5	(5)	6	(6)	7	(7)	1	(1)
合　　計	45	(47)	114	(114)	87	(90)	47	(51)	122	(123)

寮生数推移調（令和3年度～令和7年度）

令和3年度		4　月		1 0 月	
	学　年	男　子	女　子	男　子	女　子
	1年	20	9	20	9
	2年	22	6	20	6
	3年	15 (3)	3	13 (3)	2
	4年	19 (3)	5 (1)	16 (3)	4 (1)
	5年	17 (2)	4	15 (2)	4
	小計	93 (8)	27 (1)	84 (8)	25 (1)
	合計	120 (9)		109 (9)	

令和4年度		4　月		1 0 月	
	学　年	男　子	女　子	男　子	女　子
	1年	23	8	23	9
	2年	20	9	20	9
	3年	21 (2)	7 (1)	20 (2)	7 (1)
	4年	11 (3)	2	10 (3)	2
	5年	14 (3)	3 (1)	9 (3)	3 (1)
	小計	89 (8)	29 (2)	82 (8)	30 (2)
	合計	118 (10)		112 (10)	

令和5年度		4　月		1 0 月	
	学　年	男　子	女　子	男　子	女　子
	1年	17	6	17	6
	2年	22	8	22	8
	3年	20 (1)	9 (1)	20 (1)	9 (1)
	4年	16 (2)	8 (1)	15 (2)	8 (1)
	5年	9 (3)	2	8 (3)	2
	小計	84 (6)	33 (2)	82 (6)	33 (2)
	合計	117 (8)		115 (8)	

令和6年度		4　月		1 0 月	
	学　年	男　子	女　子	男　子	女　子
	1年	20	7	21	7
	2年	17	5	16	5
	3年	23 (3)	8 (1)	23 (3)	8 (1)
	4年	20 (2)	9 (1)	20 (2)	9 (1)
	5年	15 (1)	8 (1)	14 (1)	8 (1)
	小計	95 (6)	37 (3)	94 (6)	37 (3)
	合計	132 (9)		131 (9)	

令和7年度		4　月		1 0 月	
	学　年	男　子	女　子	男　子	女　子
	1年	17	8	18	8
	2年	19	7	19	6
	3年	17 (1)	5 (1)	17 (1)	5 (1)
	4年	12 (2)	5 (1)	12 (2)	5 (1)
	5年	19 (2)	9 (1)	18 (2)	9 (1)
	小計	84 (5)	34 (3)	84 (5)	33 (3)
	合計	118 (8)		117 (8)	

※ （ ）は留学生で内数

※ 短期留学生を除く

学　寮　の　日　課　表

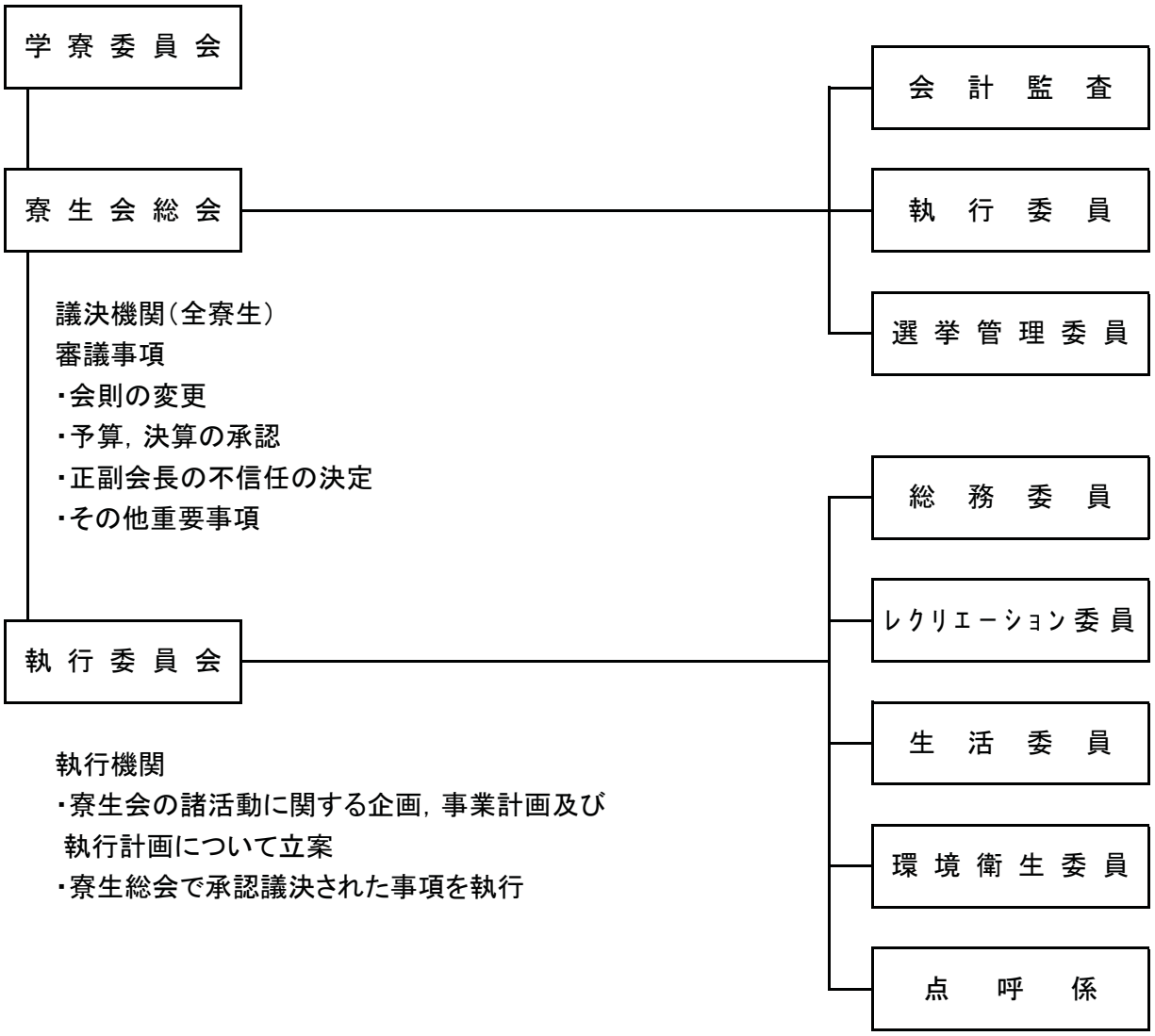
寮生は，基本的に以下の日課表に従って自主的に規則正しい生活をしなければならない。

時　間		内　容
男　子	女　子	
7:00	7:00	起床
7:00 ～ 7:25	7:00 ～ 7:25	清掃
7:30	7:25	点呼報告
7:50	7:50	朝食を知らせる放送
7:50 ～ 8:30	7:50 ～ 8:30	朝食時間
8:30 ～ 8:40	8:30 ～ 8:40	食堂の片づけ
12:10 ～ 13:00	12:10 ～ 13:00	昼食時間
17:30 ～ 19:15	17:30 ～ 19:15	夕食時間
18:30 ～ 21:30	18:00 ～ 21:00	入浴時間
21:30	21:30	門限
22:00	21:30	点呼報告
23:30	23:30	１年生の消灯時間
1:00	1:00	全寮棟の消灯時間

備考

◎　消灯時刻は，定期試験の１週間前から試験最終日までは自由とする。

寮 生 会 の 組 織


学 寮 委 員 会
寮 生 会 総 会
議決機関（全寮生）
審議事項
・会則の変更
・予算，決算の承認
・正副会長の不信任の決定
・その他重要事項
執 行 委 員 会
執行機関
・寮生会の諸活動に関する企画，事業計画及び
執行計画について立案
・寮生総会で承認議決された事項を執行
会 計 監 査
執 行 委 員
選 挙 管 理 委 員
総 務 委 員
レクリエーション委員
生 活 委 員
環 境 衛 生 委 員
点 呼 係

学寮の年間行事（令和7年度）

月	諸　　行　　事
４　月	開寮，寮生集会，入寮式，新入寮生歓迎会
５　月	連休に伴う閉寮，開寮，寮生集会，春季レクリエーション大会
６　月	１年生寮生保護者との懇談会
７　月	寮祭，留学生と語る会，寮通信の発行
８　月	大掃除，夏季休業による閉寮
９　月	開寮，寮生集会，１年生部屋替え
１０月	秋季レクリエーション大会，寮長・副寮長選挙
１１月	
１２月	5年生と語る会，大掃除，寮通信の発行，冬季休業による閉寮
１　月	開寮，避難訓練，寮生集会
２　月	学寮送別会，学年末・春季休業による閉寮
３　月	寮通信の発行，入寮予定者オリエンテーション

資料２９

専攻科入学者選抜方法

年　　度	選　抜　方　法　・　日　程		
	推　薦	学 力 検 査	社　会　人
令和4年度	５月20日(木)	６月12日(土)	９月22日(水)
	推　薦	学 力 検 査	社　会　人
令和5年度	５月19日(木)	６月18日(土)	９月21日(水)
	推　薦	学 力 検 査	社　会　人
令和6年度	５月18日(木)	６月17日(土)	９月20日(水)
	推　薦	学 力 検 査	社　会　人
令和7年度	５月16日(木)	６月15日(土)	９月19日(木)
	推　薦	学 力 検 査	社　会　人
令和8年度	５月15日(木)	６月14日(土)	９月18日(木)

資料３０

年度別専攻科入学状況

年度	専攻名	コース名	入学定員	志願倍率	志願者	合格者	入学者	入学者の出身高専別内訳 （ ）は社会人で内数
令和４年度	システム創成工学	機械制御システムコース	12	1.7	20	15	11	本校 10 他高専 1
		電気電子システムコース	6	3.2	19	12	8	本校 8
		情報システムコース	6	2.0	12	9	8	本校 8
	物質創成工学	－	6	2.3	14	12	10	本校 10
	合　計		30	2.2	65	48	37	本校 36 他高専 1
令和５年度	システム創成工学	機械制御システムコース	12	2.0	24	16	14	本校 13 他高専 1
		電気電子システムコース	6	2.8	17	13	10	本校 10
		情報システムコース	6	3.2	19	14	11	本校 11
	物質創成工学	－	6	2.0	12	9	7	本校 7
	合　計		30	2.4	72	52	42	本校 41 他高専 1
令和６年度	システム創成工学	機械制御システムコース	12	1.7	20	16	11	本校 11
		電気電子システムコース	6	2.5	15	11	9	本校 8 他高専 1
		情報システムコース	6	2.8	17	12	11	本校 11
	物質創成工学	－	6	1.7	10	10	8	本校 8
	合　計		30	2.1	62	49	39	本校 38 他高専 1
令和７年度	システム創成工学	機械制御システムコース	12	1.8	22	17	12	本校 12
		電気電子システムコース	6	2.8	17	11	8	本校 8
		情報システムコース	6	2.2	13	9	8	本校 8
	物質創成工学	－	6	2.7	16	12	8	本校 8
	合　計		30	2.3	68	49	36	本校 36 他高専 0
令和８年度	システム創成工学	機械制御システムコース	12	1.6	19	15	12	本校 11 他高専 1
		電気電子システムコース	6	2.7	16	9	8	本校 8
		情報システムコース	6	1.7	10	9	7	本校 7
	物質創成工学	－	6	2.2	13	12	8	本校 8
	合　計		30	1.9	58	45	35	本校 34 他高専 1

資料３１

専攻科学力検査科目と学力検査の日時及び検査場（令和８年度）

区　分			出　題　分　野　（内　容）
各専攻共通（一般科目）			数学（微分積分，線形代数）
専門科目	システム創成工学専攻	機械制御システムコース	熱・水力学，材料力学，電気回路 以上３分野から２分野選択
		電気電子システムコース	電気電子工学（電磁気学，電気回路，アナログ電子回路）
		情報システムコース	情報工学（論理回路，情報数学，情報理論，データ構造とアルゴリズム，プログラミング，計算機ネットワーク）
	物質創成工学専攻		化学工学（流動，伝熱，物質移動）， 物理化学（熱力学及び反応速度論）， 無機化学（元素の性質，化学結合論，固体化学）， 分析化学（酸塩基平衡，沈殿平衡，錯生成平衡，分配平衡，酸化還元平衡）， 有機化学（脂肪族及び芳香族化合物）， 生物化学（生体成分及び代謝） 以上６分野から３分野選択

（学力検査）

月　　日	時　　間	科　目　等	検　査　場
６月１４日（土）	9：10～10：10	数　　学	奈良工業高等専門学校
	10：30～12：30	専門科目	
	13：30～	面　　接	

令和7年度　専攻科授業時間割

		月				火				水				木				金			
		1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20
専攻科一年	機械制御システム	地域社会技術特論 （谷口・顯谷）	システム工学特論 （橋爪）		電子情報設計技術基礎 （土井）	物理学特論A （新野）	エンジニアと経営 （顯谷）	工学基礎研究・地域創生工学研究		システム設計論Ⅱ （須田）		特修英語Ⅰ （森岡）	システム設計論Ⅰ （上野）	工学基礎研究・地域創生工学研究				研究力向上セミナーⅠ （機械制御系） （福岡・太田）	研究力向上セミナーⅡ （機械制御系） （福岡・太田）	数理科学 （矢野）	
	電気電子システム		研究力向上セミナー （電気電子系） （三崎）	電磁気学特論 （芦原）				工学基礎研究 地域創生工学研究						工学基礎研究・地域創生工学研究				工学基礎研究 地域創生工学研究	機械設計技術基礎 （中山・橋爪）		
	情報システム							工学基礎研究 地域創生工学研究			計算理論 （岡村）			工学基礎研究・地域創生工学研究				工学基礎研究 地域創生工学研究			
	物質創成		応用反応工学 （中村秀）	量子化学 （松浦）	研究リテラシー （山田）			細胞工学 （伊月）	工学基礎研究 地域創生工学研究				工学基礎研究 地域創生工学研究	工学基礎研究・地域創生工学研究							物質分析工学 （亀井）
専攻科二年	機械制御システム	流体力学特論 （坂本）				計測工学特論 （玉木）	計算機援用設計 （須田）	ビジネスデザイン （顯谷）		地域と世界の文化論 （新井）	ヒューマンインターフェース （樫）			特別研究				特別研究		工業材料 （太田）	プレゼンテーション英語 （森岡）
	電気電子システム				情報伝送 （頭師）				特別研究					特別研究				特別研究	エネルギーエレクトロニクス （石飛）		
	情報システム			情報工学基礎論 （山口智）					特別研究					特別研究				特別研究	ソフトウェア設計 （上野）		
	物質創成			電子応用化学 （山田）	先端工学特論 （宇田・亀井）				特別研究				特別研究	特別研究						選択的有機反応論 （亀井）	

		月				火				水				木				金			
		1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20	1 9:00 10:30	2 10:40 12:10	3 13:10 14:40	4 14:50 16:20
専攻科一年	機械制御システム			リーダーシップと意思決定 （顯谷　他）	技術者倫理 （竹原・平田）	アドバンスト・グローバルチャレンジ （松井（良））	制御工学特論 （樫）	工学基礎研究・地域創生工学研究		システムデザイン演習 （福岡・永井・飯田・山口智）			特修英語Ⅱ （森岡）	工学基礎研究・地域創生工学研究			アドバンスト・グローバルコミュニケーション （後藤）		実用技術英語 （機械系） （坂本・太田）		アドバンスト・グローバルエンジニアスキル （片倉）
	電気電子システム		電気電子回路特論 （大谷）					工学基礎研究・地域創生工学研究						工学基礎研究・地域創生工学研究						実用技術英語 （電気電子・情報系） （本村）	
	情報システム		計算機ハードウェア （山口賢）					工学基礎研究・地域創生工学研究						工学基礎研究・地域創生工学研究				研究力向上セミナーⅠ （山口智・松尾）			
	物質創成							工学基礎研究・地域創生工学研究		現代有機合成化学 （亀井）				工学基礎研究・地域創生工学研究				実践化学英語 （片倉）			
専攻科二年	機械制御システム			特殊加工学 （和田）	輸送現象論 （福岡）	物理学特論B （稲田）		特別研究						特別研究							
	電気電子システム							特別研究			電子物性 （三崎）			特別研究					電力システム工学特論 （池田）		
	情報システム							特別研究				メディアシステム論 （松村）		特別研究				研究力向上セミナーⅡ （山口智・松尾）			
	物質創成		拡散工学特論 （中村秀）				生物構造化学 （石丸）	特別研究						特別研究					資源エネルギ工学 （片倉）	生物化学工学特論 （直江）	

資料９９

専攻科特別講演会

回	日　　時	講演者職名	演　　題
23	平成 25 年 1 月 25 日(金) 13:00～14:30	豊橋技術科学大学教授	センサと LSI の融合が導くイノベーション
24	平成 25 年 12 月 20 日（金）　14:40～16:10	大阪大学大学院教授	再生医療実用化の現状と取り組みについて
25	平成 26 年 10 月 10 日 （金）　13:00～14:35	近畿大学水産研究所 所長・特任教授	クロマグロの完全養殖技術の開発と産業化
26	平成 27 年 11 月 13 日(金) 13:00～14:35	京都大学医学部附属病院 医療情報企画部　助教	コンピュータが視る世界，コンピュータが描く世界
27	平成 28 年 12 月 8 日(木) 14:40～16:15	東レ（株）先端材料研究所 新エネルギー材料研究室室長 リサーチフェロー/工務技監	新素材研究と医療・環境分野への適用
28	平成 29 年 11 月 30 日(木) 14:40～16:15	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授	試行錯誤で行動を学習する人工知能ロボットの進化
29	平成 30 年 10 月 18 日(木) 14:40～16:15	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科教授	スピン電子工学：入門
30	令和元年 12 月 12 日(木) 15:00～16:30	大阪大学院情報科学 研究科　情報数理学専攻 情報フォトニクス講座　助教	コンピュテーショナルイメージング
31	令和 3 年 1 月 21 日（木） 15:00～16:30	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 ソフトウェア工学研究室助教	ソフトウェアエコシステム研究：ドキュメンテーション・オープンサイエンス・エコノミクス
32	令和 3 年 11 月 11 日(木) 14:50～16:20	山本光学株式会社 執行役員　開発部　部長	現場主義と一気通貫のものづくり
33	令和 4 年 11 月 10 日(木) 15:00～16:00	株式会社アンド 技術顧問	高専卒業後から現在まで
34	令和 5 年 11 月 9 日（木） 14:50～16:20	奈良工業高等専門学校 電気工学科　研究員	電気化学を活用した“ものづくり”
35	令和 6 年 11 月 7 日（木） 14:40～16:10	大阪国際工科専門職大学 副学長	ロボカップと認知発達ロボティクスの提唱推進とその拡張応用
36	令和 7 年 11 月 13 日(木) 16:20～17:50	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 情報科学領域 大規模システム管理研究室 准教授	分散知能のためのネットワーク

資料３４

専 攻 科 修 了 者 の 進 路

奈良工業高等専門学校

年度	専攻名		進路 就職		進路 進学		その他	
R3	システム創成工学	機械制御システムコース	日立造船㈱	1	大阪大学大学院	4		
			㈱小松製作所	1	奈良先端科学技術大学院大学	3		
			新明和工業㈱	1	東北大学大学院	1		
			㈱アル テクナ	1	京都工芸繊維大学大学院	1		
			計	4	計	9	計	0
		電気電子システムコース	大阪ガス㈱	1	奈良先端科学技術大学院大学	2		
			ヤンマーホールディングス㈱	1	東北大学大学院	2		
			㈱ビーネックスソリューションズ	1	北陸先端科学技術大学院大学	1		
			日立造船㈱	1	東京工業大学大学院	1		
			TBSアクト㈱	1	大阪大学大学院	1		
			パナソニック㈱エレクトリックワークス	1				
			㈱中央エンジニアリング	1				
			計	7	計	7	計	0
		情報システムコース	㈱マネーフォワード	1	奈良先端科学技術大学院大学	10		
			大研医器㈱	1				
			㈱NTTデータSBC	1				
			㈱はてな	1				
			計	4	計	10	計	0
	物質創成工学		出光興産㈱	1	奈良先端科学技術大学院大学	2		
			三菱ガス化学㈱	1	北海道大学大学院	1		
			旭化成㈱	1				
			住友電気工業㈱	1				
			計	4	計	3	計	0
	計			19		29		0

奈良工業高等専門学校

年度	専攻名		進路 就職		進路 進学		その他	
R4	システム創成工学	機械制御システムコース	オーツェイド㈱	1	奈良先端科学技術大学院大学	2	未定	1
			ファナック㈱	1	大阪大学大学院	1		
			(同)日本テキサスインスツルメンツ	1				
			オムロン㈱	1				
			大阪ガス㈱	1				
			ジョンソンコントロールズ㈱	1				
			中西金属工業㈱	1				
			㈱イトーキ	1				
			ダイキン工業㈱	1				
			東京ロボティクス㈱	1				
			計	10	計	3	計	1
		電気電子システムコース	アイテック阪急阪神㈱	1	大阪大学大学院	2		
			パナソニック㈱くらしアプライアンス社	1	奈良先端科学技術大学院大学	1		
			ダイダン㈱	1	京都大学大学院	1		
			豊橋技術科学大学 研究員	1	東北大学大学院	1		
					岡山大学大学院	1		
			計	4	計	6	計	0
		情報システムコース	ソニーグローバルマニュファクチュアリング＆オペレーションズ㈱	1	奈良先端科学技術大学院大学	4	未定	1
			㈱ハイマックス	1				
			eBASE㈱	1				
			㈱テイジイエル	1				
			㈱KMS	1				
			計	5	計	4	計	1
	物質創成工学		㈱呉竹	1	京都大学大学院	2		
			日東電工㈱	2	奈良先端科学技術大学院大学	1		
					筑波大学大学院	1		
					大阪大学大学院	1		
					九州大学大学院	1		
			計	3	計	6	計	0
	計			22		19		2

奈良工業高等専門学校

年度	専攻名		進路		
			就職	進学	その他
R5	システム創成工学	機械制御システムコース	㈱クボタ 1 JFEプラントエンジ㈱ 1 奈良県職員 1 日本電気硝子㈱ 1 パナソニックインダストリー㈱ 1 パナソニックエンターテイメント&コミュニケーション㈱ 1 計 6	東北大学大学院 1 大阪大学大学院 1 京都工芸繊維大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 2 計 5	計 0
		電気電子システムコース	エース音響㈱ 1 大阪ガスネットワーク㈱ 1 日東電工㈱ 1 ㈱日立製作所 1 計 4	豊橋技術科学大学大学院 1 金沢大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 1 計 3	計 0
		情報システムコース	東日本電信電話㈱ 1 計 1	筑波大学大学院 2 奈良先端科学技術大学院大学 4 計 6	奈良高専研究生 1 計 1
	物質創成工学		アクア化学㈱ 1 大陽日酸㈱ 1 日揮グローバル㈱ 1 パナソニックインダストリー㈱ 2 ㈱村田製作所 1 計 6	大阪大学大学院 1 神戸大学大学院 1 奈良女子大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 1 計 4	計 0
	計		17	18	1

奈良工業高等専門学校

年度	専攻名		進路		
			就職	進学	その他
R6	システム創成工学	機械制御システムコース	サントリーホールディングス 1 藤田油機 1 計 2	長岡技術科学大学大学院 1 東北大学大学院 1 大阪大学大学院 2 静岡大学大学院 1 京都工芸繊維大学大学院 1 九州工業大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 3 計 10	奈良高専研究生 1 計 1
		電気電子システムコース	キヤノンメディカルシステムズ 1 J-POWERハイテック 1 計 2	東北大学大学院 2 九州大学大学院 1 千葉大学大学院 1 金沢大学大学院 1 徳島大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 1 九州工業大学大学院 1 計 8	計 0
		情報システムコース	NECネッツエスアイ 1 西日本電信電話 1 パナソニックプロダクションエンジニアリング 1 MUGENUP 1 レアゾンホールディングス 1 計 5	大阪大学大学院 1 奈良先端科学技術大学院大学 5 計 6	計 0
	物質創成工学		天野エンザイム 1 デンソー 1 三井化学分析センター 1 LIXIL 1 計 4	京都大学大学院 2 奈良先端科学技術大学院大学 1 計 3	計 0
	計		13	27	1

奈良工業高等専門学校

年度	専攻名		進路 就職		進路 進学		その他	
R7	システム創成工学	機械制御システムコース	デンソー	1	東北大学大学院	1		
			叡山電鉄	1	大阪大学大学院	1		
			マツダ	1	京都工芸繊維大学大学院	1		
			DMG森精機	1	北陸先端科学技術大学院大学	1		
					奈良先端科学技術大学院大学	3		
			計	4	計	7	計	0
		電気電子システムコース	TMEIC	1	長岡技術科学大学大学院	1		
			ウシオ電機	1	東北大学大学院	1		
					大阪大学大学院	2		
					岡山大学大学院	1		
					北陸先端科学技術大学院大学	1		
					奈良先端科学技術大学院大学	2		
			計	2	計	8	計	0
		情報システムコース	カプコン	1	東北大学大学院	1		
			ラック	1	奈良先端科学技術大学院大学	4		
			TDCソフト	1				
			西日本旅客鉄道	1				
			計	4	計	5	計	0
	物質創成工学		日東電工	1	大阪大学大学院	1		
			カネカ	1	奈良先端科学技術大学院大学	3		
			日本液炭	1				
			計	3	計	4	計	0
	計		13		24		0	

資料３５

奈良高専JABEE修了者進路状況

平成17年度												平成18年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
4	8	0	12	2	6	0	8	2	3	0	5	9	6	1	16	2	11	1	14	2	3	0	5
33.3%	66.7%	0.0%		25.0%	75.0%	0.0%		40.0%	60.0%	0.0%		56.3%	37.5%	6.3%		14.3%	78.6%	7.1%		40.0%	60.0%	0.0%	

平成19年度												平成20年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	12	1	15	6	11	0	17	3	4	0	7	6	11	3	20	7	8	1	16	3	3	0	6
13.3%	80.0%	6.7%		35.3%	64.7%	0.0%		42.9%	57.1%	0.0%		30.0%	55.0%	15.0%		43.8%	50.0%	6.3%		50.0%	50.0%	0.0%	

平成21年度												平成22年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
3	8	1	12	4	4	2	10	3	5	0	8	11	9	0	20	5	10	1	16	2	2	0	4
25.0%	66.7%	8.3%		40.0%	40.0%	20.0%		37.5%	62.5%	0.0%		55.0%	45.0%	0.0%		31.3%	62.5%	6.3%		50.0%	50.0%	0.0%	

平成23年度												平成24年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
9	8	0	17	3	8	2	13	2	8	0	10	8	6	0	14	6	6	1	13	4	3	0	7
52.9%	47.1%	0.0%		23.1%	61.5%	15.4%		20.0%	80.0%	0.0%		57.1%	42.9%	0.0%		46.2%	46.2%	7.7%		57.1%	42.9%	0.0%	

平成25年度												平成26年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
7	7	0	14	6	13	1	20	5	6	0	11	2	12	0	14	10	7	0	17	2	5	0	7
50.0%	50.0%	0.0%		30.0%	65.0%	5.0%		45.5%	54.5%	0.0%		14.3%	85.7%	0.0%		58.8%	41.2%	0.0%		28.6%	71.4%	0.0%	

平成27年度												平成28年度											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
3	7	0	10	3	12	0	15	2	7	0	9	1	9	0	10	2	10	0	12	0	8	0	8
30.0%	70.0%	0.0%		20.0%	80.0%	0.0%		22.2%	77.8%	0.0%		10.0%	90.0%	0.0%		16.7%	83.3%	0.0%		0.0%	100.0%	0.0%	

平成29年度												改組前　累計											
MS				EI				C				MS				EI				C			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
7	10	0	17	5	12	1	18	2	11	0	13	72	113	6	191	61	118	10	189	32	68	0	100
41.2%	58.8%	0.0%		27.8%	66.7%	5.6%		15.4%	84.6%	0.0%		37.7%	59.2%	3.1%		32.3%	62.4%	5.3%		32.0%	68.0%	0.0%	

平成30年度												令和元年度											
システム創成工学専攻(SI専攻)												システム創成工学専攻(SI専攻)											
AMコース				AEコース				AIコース				AMコース				AEコース				AIコース			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
3	11	1	15	1	6	0	7	4	3	0	7	2	9	0	11	0	6	0	6	5	5	0	10
20.0%	73.3%	6.7%		14.3%	85.7%	0.0%		57.1%	42.9%	0.0%		18.2%	81.8%	0.0%		0.0%	100.0%	0.0%		50.0%	50.0%	0.0%	

令和2年度												令和3年度											
システム創成工学専攻(SI専攻)												システム創成工学専攻(SI専攻)											
AMコース				AEコース				AIコース				AMコース				AEコース				AIコース			
就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計	就職	進学	その他	合計
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
2	10	3	15	3	9	2	14	4	3	3	10	3	9	0	12	5	6	0	11	4	10	0	14
13.3%	66.7%	20.0%		21.4%	64.3%	14.3%		40.0%	30.0%	30.0%		25.0%	75.0%	0.0%		45.5%	54.5%	0.0%		28.6%	71.4%	0.0%	

資料３６

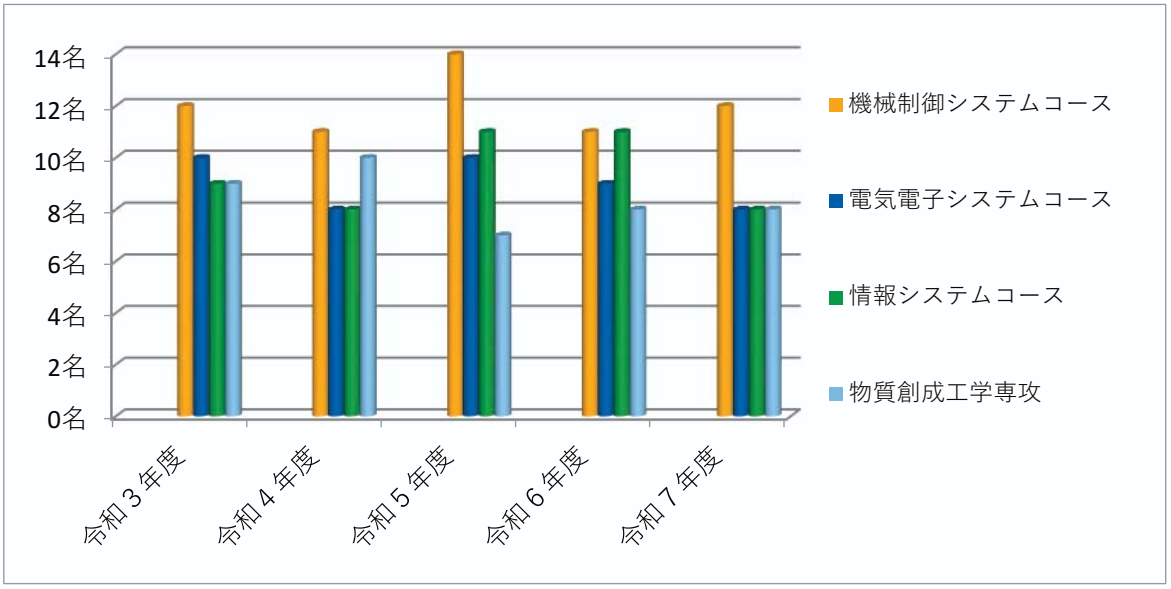


図　　専攻科入学者数の推移

資料３６

企業・大学等インターンシップ参加者数（専攻科・延べ人数）

年　度	システム創成工学専攻			物質創成工学専攻	合　計
	機械制御システムコース	電気電子システムコース	情報システムコース		
令和３年度	5	10	3	0	18
令和４年度	11	10	8	6	35
令和５年度	12	15	9	5	41
令和６年度	10	8	11	5	34
令和７年度	11	5	8	2	26

※海外インターンシップ含む

資料３６

専攻科生の論文等の学会発表件数

発表先	年度	機械制御システムコース	電気電子システムコース	情報システムコース	物質創成工学専攻	合計
学術雑誌論文	令和3年度	1	1	1	0	3
	令和4年度	4	0	1	0	5
	令和5年度	1	2	1	0	4
	令和6年度	6	1	1	0	8
	令和7年度	2	1	0	0	3
国際学会発表	令和3年度	13	0	1	3	15
	令和4年度	8	2	4	9	23
	令和5年度	5	3	2	5	1(
	令和6年度	11	3	6	1	21
	令和7年度	3	4	4	0	11
国内学会発表※	令和3年度	13	23	1(	1)	50
	令和4年度	11	19	2(	27	59
	令和5年度	16	20	15	22	5(
	令和6年度	22	13	15	1)	51
	令和7年度	11	12	5	8	36
その他 4特許，研究紀要，解説等8	令和3年度	1	0	0	0	1
	令和4年度	0	0	0	0	0
	令和5年度	0	0	0	0	0
	令和6年度	0	0	0	0	0
	令和7年度	2	0	0	0	2

※国内で開催された国際学会での発表は、国際学会発表欄に含めるものとする

資料３９

専攻科生の学外表彰実績

所属		学生氏名	タイトル	授与機関・学会議名 賞名
システム創成工学専攻	情報システムコース	島岡 宏彰	C素子を対象とした非同期式回路のテスト容易化設計に関する研究	日本高専学会 研究奨励賞 優秀賞
		杉山 咲	中心性指標を用いたRTL 可検査性に基づく反復的なテスト容易化設計手法の提案	情報処理学会 第88回全国大会 学生奨励賞
		髙寺 昌吾	答案画像からの手書き回答文字の抽出	電子情報通信学会　関西支部　若手研究発表会 優秀論文発表賞
物質創成工学専攻		平岡 拓真	フッ素用吸着剤を用いた微量フッ素成分含有塩廃液からのフッ化物イオンの分離	化学工学会　第56回秋季大会 分離プロセス部会ポスター賞
		中村 風花	吉野ヒノキ間伐材抽出成分の抗花粉アレルゲン作用の検討	化学工学会　第56回秋季大会 優秀発表賞

科学研究費等受入実績調べ

（単位：件、円）

学科名	科学研究費補助金 外数（研究分担金）		共同研究（産学連携等研究費）		受託研究・受託事業（産学連携等研究費）		補助金事業		奨学寄付金		うち県内		うち県外	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	25 (13)	31,788,197 【20,616,789】 (2,041,000) 【8:60,399】	14	10,570,000	5	38,882,999	8	15,950,000	65	14,234,000	29	3,254,000	36	10,980,000
令和7年度	27 (15)	23,310,000 【80,149,999】 (3,280,960) 【247,644】	13	6,985,000	8	29,263,000	6	5,700,000	76	17,916,000	35	12,420,000	41	5,496,000
令和5年度	25 (12)	24,380,000 【80,419,999】 (2,575,000) 【116,599】	21	17,127,000	13	38,853,294	4	7,200,000	153	19,194,400	74	9,780,000	79	9,414,400
令和8年度	22 (11)	24,930,000 【10:90,999】 (2,505,000) 【176,599】	22	14,963,000	9	4,661,056	5	3,350,000	300	30,345,000	135	13,150,000	165	17,195,000
令和1年度	20 (5)	24,466,984 【10,379,928】 (1,650,000) 【725,999】	16	12,560,000	6	1,135,733	3	4,200,000	98	19,039,400	41	5,877,400	57	13,162,000

外数【間接経費】

令和７年度 科学研究費採択状況一覧

『配分額』は学内受入総額（学外分担者分除く直接+間接）を指す。

年度	種別	申請数	採択数 期間延長除く	採択率	直接経費（千円）	間接経費（千円）	内訳 氏名	種別	配分額（千円）	課題番号	課題
7年度	特別推進研究	0	0	－							
	学術変革領域研究（A）	0	0	－							
	学術変革領域研究（B）	0	0	－							
	基盤研究（S）	0	0	－							
	基盤研究（A）	0	0	－							
	基盤研究（B）	2	1	50.0%	3,200	960	山田 裕久	継続	5,694	24K01617	水系LIBを実現させる負極疑似SEI用新規機能性IL／LiILBPハイブリッド膜の検討
	基盤研究（C）	45	17	37.8%	0	0	酒井 史敏	期間延長	0	22K04005	機械システムに対する反復学習同定法のためのパラメータ空間表現
					0	0	顯谷 智也子	期間延長	0	22K02908	協働学習におけるグループ編成パターンの構築と学習活性度の定量的効果測定の研究
					0	0	芦原 佑樹	期間延長	0	22K04147	電離圏鉛直・水平構造観測を実現するロケットGNSS-TECトモグラフィ
					600	180	道本 祐子	継続	780	21K00805	日本人EFL学習者の英語産出における統語構造の複雑性の発達
					500	150	上野 秀剛	継続	650	21K11842	生体情報を用いたプログラム理解のマイクロプロセス分析
					1,200	360	石丸 裕士	継続	1,950	22K03014	客観指標に基づいたポストコロナ対応型グループ学習による高専生命科学授業の開発
					100	30	谷口 幸典	継続	130	23K03614	圧粉成形における非線形壁面摩擦挙動のモデル化とその数値解析への実装
					1,367	410	中村 篤人	継続	1,777	23K03668	音波共鳴管実験と分子気体力学に基づく非平衡，混合状態における蒸発係数測定法の開発
					400	120	松尾 賢一	継続	520	23K02675	採点済み答案画像内の自由手書きされた回答文字の認識を可能にする前処理の実現
					500	150	直江 一光	継続	650	23K04483	ドライ培養液を用いた気相中での水素細菌培養によるCO2からの新規物質生産プロセス
					1,100	330	竹原 信也	継続	1,430	24K06372	中等・高等教育における工学倫理・技術者倫理教育の展開・接続に向けた基礎的研究
					1,000	300	新井 由美	継続	1,300	24K03682	木村荘八未公開自筆資料を基盤とした大衆文化形成過程の解明に関する領域横断的研究
					900	270	平 俊男	継続	1,170	24K07282	「力の流れ」に着目した力学的感性の解明（深層学習アプローチによる実証的考察）
					1,100	330	中村 秀美	継続	1,430	24K15364	半導体製造プロセスで生じる金属廃棄物からの有価金属リサイクルシステムの構築
					1,300	390	宇田 亮子	継続	1,690	24K08608	グアニン四重鎖トポロジー認識のための酸性環境応答型プローブの分子設計
					1,700	510	玉木 隆幸	新規	2,210	25K07521	大面積・高速接合を実現するビームシェーピングによる超短光パルスマイクロ接合
					1,300	390	福岡 寛	新規	1,690	25K07592	多重反射衝撃波の制御を可能にする材料特性設計
					2,000	600	芦原 佑樹	新規	2,600	25K07768	ロケットGNSS-TEC観測に最適化した全指向性・低位相雑音・外付型受信アンテナ
					2,200	660	石飛 学	新規	2,990	25K08156	電動船舶の短時間大電流充電を可能とする非接触給電用超電導コイルの構造検討
					1,500	450	松村 寿枝	新規	1,950	25K15188	音声と概日リズムの関連に関する基礎研究
	挑戦的研究（開拓）	0	0	－							
	挑戦的研究（萌芽）	2	0	0.0%							
	若手研究	3	2	66.7%	0	0	板倉 和裕	期間延長	0	22K18085	ナーレンドラ・モーディー政権下のインドにおけるムスリムの政治運動
					600	180	頭師 孝拓	継続	780	23K13163	CubeSatによる多点同時観測を可能にする超小型・省電力なプラズマ波動受信器
					1,900	570	鷲野 朋広	新規	2,470	25K17021	数学学習の過剰般化現象を情報科学的アプローチで数学理論として解明する研究
	研究活動スタート支援	1	0	0.0%	0	0	永井 歩美	期間延長	0	23K19128	大トルク3次元構造SRモータの回転方向制御とハイブリット旋回モータへの応用
	研究成果公開発表（ひらめき☆ときめきサイエンス）	2	0	0.0%							
	奨励研究	6	0	0.0%							
	特別研究員奨励費	0	0	－							
	国際先導研究	0	0	－							
	国際共同研究強化	0	0	－							
	小計（代表）	61	20	32.8%	24,467	7,340			33,861		
	基盤研究（A）研究分担者	5	5	100.0%	20	6	板倉 和裕	継続	26	22H00049	分権化と集権化の政治学：インド28州から見る「民主主義」の展開と再生への道
	基盤研究（B）研究分担者				360	108	板倉 和裕	継続	468	23K28318	グローバル・アジェンダと国内政治：インドにおけるSDGs政策過程の比較分析
	基盤研究（C）研究分担者				0	0	玉木 隆幸	継続	0	22K02843	小中高生を対象とするロボットを用いたプログラミング教育の効果定量化手法の提案
	基盤研究（C）研究分担者				270	81	新井 由美	新規	351	25K03817	日本近代文学と口絵・挿絵の関係を出発点とする近代的作者概念の領域横断的再検討
	挑戦的研究（開拓）研究分担者				1,000	300	林 啓太	継続	1,300	24K21230	All-at-Once型流路デバイスを活用する生体膜モデル化Tetrahedron-Diagram解析法の構築
	小計（分担）	5	5	100.0%	1,650	495			2,145		
	合計	66	25	37.9%	26,117	7,835					

資料４２

令和7年度　受託研究・受託事業・補助金事業一覧

※企業等との守秘義務の関係上、個人を特定できる情報の掲載を割愛することといたしました。ご了承願います。

受託研究

学　科	氏　名	受託研究申込者	所　在　地	研　究　題　目	契約先区分	研究期間	研究経費受入額（円）		
							直接経費	間接経費	合計
		実績なし							
計	0件						2	2	2

受託事業

学科等	氏　名	受託事業申込者	所　在　地	事　業　題　目	契約先区分	受託期間	受託金額（円）		
							直接経費	間接経費	合計
電気工学科	芦原　佑樹	新居浜工業高等専門学校 契約担当役　事務部長　下元　利之	愛媛県新居浜市八雲町７番１号	「全国高専宇宙工学コース設立による実践的宇宙人材育成の展開」に基づく委託業務	公	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日	0617222	187122	91: 7122
広報センター長	稲田　直久	非公開		奈良高専―イオンモール大和郡山による地域連携事業	民	令和7年6月22日　～　令和8年3月31日	3407: 6	0: 87340	4227222
広報センター長	稲田　直久	生駒市長　小紫 雅史	奈良県生駒市東新町8-38	令和７年度いこまっこチャレンジ教室（生駒市科学教室）	公	令和7年6月13日　～　令和8年3月31日	017922	2	017922
広報センター長	稲田　直久	生駒市長　小紫 雅史	奈良県生駒市東新町8-38	令和７年度　出前授業	公	令和7年6月26日　～　令和8年3月31日	4: 730:	2	4: 730:
情報工学科	内田　眞司	郡山城にぎわいづくり実行委員会 会長　飯田　喜代視	奈良県大和郡山市北郡山町248番地4	郡山城天守台プロジェクションマッピング出展等業務委託	公	令和7年7月3日　～　令和7年12月6日	427222	087222	587222
広報センター長	稲田　直久	橿原市長　亀田　忠彦	奈良県橿原市八木町１丁目１番１８号	令和７年度サイエンスフェスティバル「手動式電子オルゴールをつくろう！」出展業務	公	令和8年2月13日　～　令和8年3月15日	0917492	2	0917492
計	6件						6927559	9037640	070: 175: :

補助金事業

学科等	氏　名	補助事業実施者	所　在　地	プロジェクト名	契約先区分	補助期間	補助金額（円）		
							直接経費	間接経費	合計
電気工学科	藤田　直幸	関西工学教育協会高専部会　部会長 秋田　成司	大阪府寝屋川市幸町26-12	AIとの共創で探求型授業の設計に挑み高専の学びを深化する試み（令和7年度関西工学教育協会高専部会教育研究助成）	民	令和7年6月17日　～　令和8年3月31日	0127222	2	0127222
電気工学科主任	石飛　学	公益財団法人クリハラント記念財団 理事長　嶋田　雅景	大阪府大阪市北区西天満4-8-17　宇治電ビルディング6F	電気工事士取得助成金	公	令和7年6月11日　～　令和8年3月31日	127222	2	127222
産学協働・地域創生研究センター長	山田　裕久	公益財団法人寺田科学技術育英会 代表理事　寺田　俊彦	奈良県大和高田市東雲町3番17号	研究力強化と社会実装志向研究の推進による学生教育の高度化（令和7年度公益財団法人寺田科学技術育英会助成）	公	令和7年7月18日　～　令和8年3月31日	3722222	2	3722222
計	3件						3792227222	2	3792227222

資料４３

令和７年度 共同研究一覧

※ 企業等との守秘義務の関係上、個人を特定できる情報（企業名・所在地）及び研究題目の掲載を割愛することといたしました。ご了承願います。

	学　科	氏　名	契約先区分	変更契約	研 究 期 間	研究経費受入額(円)			
						直接経費	間接経費	研究指導料	合計
1	電子制御工学科	玉木　隆幸 太田　孝雄	民		令和7年8月8日　～　令和9年: 月: 1日	3004000	1304000	0	6304000
2	機械工学科	須田　敦	民		令和7年3月20日　～　令和9年: 月: 1日	: 07465:	524 07	0	8004000
:	電子制御工学科	太田　孝雄	公		令和7年3月26日　～　令和9年: 月: 1日	0	0	8204000	8204000
8	機械工学科	須田　敦	民		令和7年9月8日　～　令和9年: 月: 1日	76542: 1	2: 04765	0	14004000
5	物質化学工学科	松浦　幸仁 山田　裕久	民	期間延長 研究費増額	令和3年7月23日　～　令和9年6月: 0日	14 984616	8134 98	0	14004000
6	機械工学科	谷口　幸典	民		令和7年9月23日　～　令和9年: 月: 1日	14004000	: 004000	0	14 004000
7	物質化学工学科	松浦　幸仁 山田　裕久 片倉　勝己	民	研究担当者追加	令和3年7月23日　～　令和9年6月: 0日	−	−	−	−
9	一般教科	竹原　信也	公		令和7年7月16日　～　令和9年: 月: 1日	2004000	0	0	2004000
5	物質化学工学科	松浦　幸仁	民		令和9年1月16日　～　令和9年: 月2: 日	: 984616	1134 98	0	3004000
10	物質化学工学科	中村　秀美	民	期間延長 研究費増額	令和3年7月8日　～　令和5年: 月: 1日	: 984613	1134 93	0	3004000
11	機械工学科	谷口　幸典	民	期間延長 研究費増額	令和6年1月12日　～　令和5年: 月: 1日	14004000	: 004000	0	14 004000
12	物質化学工学科	亀井　稔之	民		令和9年8月1日　～　令和9年5月: 0日	13: 4986	864138	0	2004000
1:	電子制御工学科	樑　弘明	民		令和9年: 月3日　～　令和5年: 月: 1日	76542: 1	2: 04765	0	14004000
18	情報工学科	松尾　賢一	民	期間延長	令和8年8月1日　～　令和5年: 月: 1日	−	−	−	−
13	電子制御工学科	太田　孝雄	民	期間延長 研究費増額	令和6年10月13日　～　令和5年: 月: 1日	: 004000	504000	0	: 504000
16	物質化学工学科	山田　裕久	民	期間延長	令和6年6月26日　～　令和5年: 月: 1日	−	−	−	−
17	機械工学科	福岡　寛	民	期間延長 研究費増額	令和7年8月1日　～　令和5年: 月: 1日	6134 98	1984616	0	9004000
19	情報工学科	上野　秀剛	民	期間延長 研究費増額	令和7年8月1日　～　令和5年: 月: 1日	86143: 9	1: 94862	0	6004000
15	電気工学科	藤田　直幸	民	期間延長 研究費増額	令和6年6月26日　～　令和5年: 月: 1日	1413: 4986	: 864138	0	14004000
20	機械工学科	須田　敦	民	期間延長	令和7年3月20日　～　令和5年: 月: 1日	−	−	−	−
21	機械工学科	廣　和樹	民	期間延長	令和3年7月8日　～　令和9年6月: 0日	−	−	−	−
22	機械工学科	須田　敦	民	期間延長	令和7年9月8日　～　令和5年: 月: 1日	−	−	−	−
	計	16件（期間延長のみ、研究担当者追加の変更契約分は件数に含まない）				54 984616	247334 98	8204000	1248604000

資料４４

令和７年度奨学寄附金一覧

※ 企業等との守秘義務の関係上、個人を特定できる情報を割愛することといたしました。ご了承願います。

No	寄附金の名称	県内	県外	寄附金額(円)	寄附の目的	納付日
1	石飛学教授研究助成金		○	500,000円	石飛学教授の誘導加熱に関する学術研究助成のため	R7.4.18
2	谷口教授教育助成金		○	50,000円	谷口教授の教育支援のため	R7.4.14
3	藤田直幸教授研究助成金		○	1,500,000円	藤田直幸教授の表面技術に関する学術研究助成のため	R7.5.26
4	物質化学工学科学生への教育支援	○		80,000円	物質化学工学科学生への教育支援	R7.6.30
5	WiCON2025におけるチーム「KYIWLab」への研究支援		○	1,000,000円	Wicon2025ワイヤレス利活用部門に採択された「ToKOSEN（等高線）初心者でもできる代掻き　～安価な水田の高低差可視化システム～」に関する研究支援のため	R7.8.12
6	飯田教授研究助成金		○	650,000円	飯田教授の無人搬送車の制御に関する学術研究助成のため	R7.9.17
7	永井助教研究助成金		○	1,200,000円	電気工学科 助教　永井 歩美 先生の研究「高トルク密度かつ超扁平を実現する多極横方向磁束型SRモータの開発」に対する助成のため	R7.9.26
8	食堂の空調設備更新のため	○		372,400円	食堂の空調設備更新のため	R7.10.23
9	福岡准教授・谷口教授 研究助成金	○		1,000,000円	福岡准教授・谷口教授の流体解析に関する学術研究助成のため	R7.11.10
10	教育支援		○	1,500,000円	学生支援型奨学金制度設立のため	R7.12.17
11	教育支援		○	100,000円	近藤校長の教育支援活動のため	R8.2.20
12	課外活動支援		○	200,000円	からくり部の活動支援のため	R8.1.27
13	教育助成金	○		3,000,000円	教育の助成	R8.2.24
14	教育支援		○	2,000,000円	「システムデザイン工学入門，システムデザイン工学実習」にかかる教育助成のため	R8.3.5
15	教育支援		○	3,000,000円	デジファブ教育プログラムの開発　～循環型モノコトづくりDX教育～	R8.3.25
16	教育支援		○	100,000円	Autodesk Fusionセミナー2日間	R8.3.25
17	教育支援		○	80,000円	形状偏差の測定、評価技術の習得	R8.3.25
18	「奈良工業高等専門学校地域イノベーションコンソーシアム」事業費25件	○		620,000円	奈良工業高等専門学校地域イノベーションコンソーシアムの事業助成のため	－
	「奈良工業高等専門学校地域イノベーションコンソーシアム」事業費31件		○	870,000円		
20	硬式野球部への活動支援　10件	○		275,000円	硬式野球部への活動支援	－
	硬式野球部への活動支援　11件		○	302,000円		
21	教育研究等支援事業基金　1件	○		30,000円	奈良工業高等専門学校の教育・研究・地域貢献活動への支援及び国際交流活動の推進等のため	－
	教育研究等支援事業基金　2件		○	110,000円		
22	校内トイレの全面洋式化事業使途特定基金　1件	○		500,000円	奈良工業高等専門学校トイレ改修工事のため	－
合　計				19,039,400円		

学会賞等の受賞状況（奈良高専在任期間中）

学科	氏名	年月	賞の名称	主催者	備考
電子制御工学科	玉木　隆幸	令和3年3月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	学生とのコミュニケーションを中心とする教育研究の実践
情報工学科	岩田　大志	令和3年3月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	高専間人事交流を活用したIoTシステムに関する教育研究の展開
電気工学科	石飛　学	令和4年3月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	日本を元気にするエンジニア人材の育成
情報工学科	上野　秀剛	令和4年4月	令和3年度 独立行政法人国立高等専門学校機構教員顕彰 若手部門 理事長賞	独立行政法人国立高等専門学校機構	シームレスな学生教育・研究・社会実装の結合
機械工学科	酒井　史敏	令和4年5月	2022年度システム制御情報学会学会賞論文賞	一般社団法人システム制御情報学会	射影型反復学習同定法のためのパラメータ空間表現の推定
電子制御工学科	中村　篤人	令和5年4月	令和4年度 独立行政法人国立高等専門学校機構教員顕彰 若手部門 優秀賞	独立行政法人国立高等専門学校機構	多段階体験型学習に基づく課題解決能力を有する技術者の育成
一般教科	森　弘暢	令和5年6月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	豊かな人間性を育むための教育に向けた取り組み
物質化学工学科	伊月　亜有子	令和6年4月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	学生に寄り添った支援の実践
情報工学科	岩田　大志	令和6年4月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	アクティブラーニングでの成功体験を通じた学生の就職・進学マインドの養成
情報工学科	山口　賢一	令和7年4月	令和6年度　独立行政法人国立高等専門学校機構教員顕彰　一般部門優秀賞	独立行政法人国立高等専門学校機構	業務削減のための外部組織との連携
電気工学科	池田　陽紀	令和7年4月	教員顕彰	奈良工業高等専門学校	今求められる人間教育と専門教育

特許出願・登録状況

No	学科 （出願・登録時点）	氏名	特許出願日	出願番号	特許登録日	発明の名称	特許権者
1	電子制御工学科	早川　恭弘	2005.12.20	2005-365829	2009.11.27　（特許第4411439号）	靴底及び靴	国立高等専門学校機構
2	校長 電気工学科	谷口　研二 土井　滋貴	2019.05.15	2019-091803	2020.10.16　（特許第6779537号）	揺れ検知駆動装置および揺れ検知駆動方法	国立高等専門学校機構
3	電気工学科	石飛　学	2018.01.18	2018-006806	2022.08.04　（特許第7117725号）	インダクタ、インダクタを備えた装置及びインダクタの製造方法	国立高等専門学校機構 株式会社ダイヘン 株式会社アンド
4	情報工学科 電気工学科 情報工学科	松村　寿枝 小坂　洋明 上野　秀剛	2020.04.27	2020-078149	2023.08.01　（特許第7323936号）	疲労推定装置	国立高等専門学校機構
5	電気工学科	石飛　学	2022.04.28	2022-074890	2023.09.15　（特許第7350239号）	高周波電力供給システム	国立高等専門学校機構 株式会社ダイヘン 株式会社アンド
6	電気工学科	石飛　学	2020.7.16	10-2020-7020723	2024.12.18　第10-2745695号 〔韓国〕	インダクタ、インダクタを備えた装置及びインダクタの製造方法	国立高等専門学校機構 株式会社ダイヘン
			2020.7.17	201980009030.X	2024.12.31　ZL 2019 8 0009030.X 〔中国〕		
			2020.7.17	16/963,037	2025.6.24　US 12,340,933 B2 〔米国〕		

資料４７

公開講座実施実績一覧　（令和６年度）

講　　座　　名	開　催　日　時	対　　象	募集人数 （受講者数）	担当学科 または委員会等
からくり人形をつくろう	9月２１日（土） １３：００～１５：００	小学生 （４～６年）と 保護者	３０ （３０）	機械工学科
デジタルファブリケーション 入門～デジタル工作機械を 使ってみよう～	6月２２日（土） １０：００～１５：００	小学校６年生 中学校１・２年生	２０ （２０）	機械工学科
楽しいＩｏＴ教室 ～こんなものがインターネット につながる！～	9月8日（日） １３：００～１６：００	中学生 （１～３年）	１６ （１５）	電気工学科
楽しく作るライン追跡ロボット ～君にもできるロボット製作～	8月3日（土） １０：００～１５：００	小学生 （５・６年）と 保護者	３２ （２４）	電子制御 工学科
ビジュアルプログラミングで プログラミングを学ぼう （初級・中級）	8月3日（土） １０：００～１６：００	小学生（４～６ 年）と保護者、 中学生（１～３ 年）と保護者	４０ （４２）	情報工学科
全日本小中学生ロボット選手権 奈良地区大会	説明会　8月２２日（木） １０：００～１５：００ 走行会　9月２１日（土） １０：００～１４：００ 予選会　１１月１６日（土） １０：００～１６：００	小学生（４～６ 年）、 中学生（１～３ 年）	４４ （２１）	情報工学科

公開講座実施実績一覧　（令和７年度）

講　　座　　名	開　催　日　時	対　　象	募集人数 (受講者数)	担当学科 または委員会等
からくり人形をつくろう	9月２０日（土） １３：００～１５：００	小学生 （４～６年）と 保護者	３０ （２２）	機械工学科
デジタルファブリケーション 入門～デジタル工作機械を 使ってみよう～	6月２１日（土） １０：００～１５：００	小学校６年生と保護者、 中学校１・２年生と保護者	２０ （２０）	機械工学科
とっても楽しいＩｏＴ教室	9月１３日（土） １３：００～１６：００	中学生 （１～３年）	１６ （１５）	電気工学科
楽しく作るライン追跡ロボット	8月2日（土） １０：００～１５：００	小学生 （５・６年）と 保護者	３２ （２２）	電子制御 工学科
ビジュアルプログラミングで プログラミングを学ぼう （初級・中級）	8月2日（土） １０：００～１６：００	小学生（４～６年）と保護者、 中学生（１～３年）と保護者	４０ （３９）	情報工学科
遊び心をくすぐる仕組から学ぶ 電子制御講座	8月3日（日） １０：００～１６：００	小学生 （５・６年）	１６ （１４）	教育研究 支援室
全日本小中学生ロボット選手権 奈良地区大会	説明会　8月１９日（火） １０：００～１５：００ 走行会　9月２３日（火・祝） １０：００～１４：００ 予選会　１１月１日（土） １０：００～１６：００	小学生（４～６年）、 中学生（１～３年）	４４ （１８）	情報工学科

資料４８

令和７年度　学市連携事業一覧

学市連携「出前授業」

市		派遣講師	実施日	学校名	内　　容	学年・組	人数
大和郡山市	1	一般教科　新野　康彦	7月14日(月)	郡山東中学校	超低温の世界を探る	中学1年生・2組	47
	2	情報工学科　山口　賢一 岩田　大志	10月3日(金)	矢田小学校	パズルの達人	小学6年生+保護者・1組	54
	3	情報工学科　内田　眞司	11月6日(木)	矢田南小学校	プログラムを書かないプログラミング	小学4年生・2組	28
	4	情報工学科　内田　眞司	11月11日(火)	矢田南小学校	プログラムを書かないプログラミング	小学5年生・2組	36
	5	電気工学科　藤田　直幸 池田　陽紀	2月19日(木)	郡山北小学校	磁石の不思議 君も磁石博士だ！	小学3年生・3組	80
	6	電気工学科　藤田　直幸 芦原　佑樹	2月20日(金)	郡山西小学校	磁石の不思議 君も磁石博士だ！	小学3年生・2組	69
	7	情報工学科　松村　寿枝	2月24日(火)	片桐西小学校	Scratchを使った ゲーム作成	小学4～6年生・1組	30
							344
生駒市	1	一般教科　稲田　直久	7月4日(金)	生駒北小中学校	超低温の世界を探る	中学3年生・1組	14
	2	情報工学科　内田　眞司	10月2日(木)	俵口小学校	プログラムを書かないプログラミング	小学3年生・2組	64
	3	電気工学科　藤田　直幸 池田　陽紀 芦原　佑樹	2月6日(金)	俵口小学校	磁石の不思議 君も磁石博士だ！	小学3年生・2組	63
							141

学市連携「科学教室（高専教室）」

市		テーマ名	担当学科	実施日	対　象	人数	備　　考
大和郡山市	1	パソコンでアニメーションを作ろう	情報工学科　松尾　賢一 上野　秀剛 教育研究支援室　西野　貴之	①6月21日(土) ②6月28日(土) ③7月12日(土)	小学4～6年生	14	少年少女パソコン教室
	2	６足歩行ロボットを作って動かそう	電子制御工学科　山口　和也	9月6日(土)	小学1～4年生とその保護者等	23	10組（小学生11名、保護者等12名）
	3	手作りモータを作ろう！ ～電気エネルギーから運動エネルギーへ～	電気工学科　池田　陽紀	12月13日(土)	小学5・6年生	12	
						49	

学市連携「科学教室（いこまっこチャレンジ教室）」

市		テーマ名	担当学科	実施日	対　象	人数	備　　考
生駒市	1	定規で曲線を描こう！	一般教科　飯間　圭一郎 山中　聡恵 鷲野　朋広 矢野　充志 豊田　洋平	10月5日(日)	小学3～6年生	15	
						15	

資料４９

令和７年度　学市連携以外派遣事業一覧

実　施　な　し

資料５０

令和７年度　展示会・地域連携事業一覧

	展示会・地域連携事業　詳細 （イベント名称・実施日・会場・出展者等）
1	奈良県主催水素エネルギー普及啓発イベントにおける科学教室実施 令和7年8月30日(土)　（於　イオンモール大和郡山）　物質化学工学科　山田 裕久
2	GEAR5.0 エネルギー・環境分野主催　KOSEN 水素フォーラム 2025 in NARA 令和7年9月6日(土)・7日(日)　（於　奈良県コンベンションセンター）
3	MOBIO-Café ここからはじまる産学連携『奈良高専』 令和7年9月19日(金)　（於　クリエイション・コア東大阪）　出展者：電気工学科　永井 歩美
4	池田泉州銀行　個別相談会 令和7年10月6日(月)　（於　池田泉州銀行 なんばスカイオ） 令和7年10月8日(水)　（於　池田泉州銀行 本店）
5	奈良クラブ×奈良県　脱炭素コラボイベントにおける出展協力（水素ラジコンカー操縦体験等） 令和7年10月18日(土)　（於　ロートフィールド奈良） 機械工学科　谷口 幸典、物質化学工学科　山田 裕久
6	MOBIO・大阪商工会議所主催　合同シーズ発表会 令和7年12月5日(金)　（於　クリエイション・コア東大阪）　出展者：電気工学科　永井 歩美
7	大和郡山市　郡山城天守台プロジェクションマッピング 令和7年12月6日(土)　（於　郡山城跡） 情報工学科　内田 眞司（プロジェクションマッピング製作）・一般教科　稲田 直久（天体コーナー運営） 情報工学科　市川 嘉裕（講演）
8	奈良信用金庫　金融リテラシー教育　※「政治・経済(3年生)」の授業内で実施 令和8年1月19日(月)　（於　奈良高専）　一般教科　竹原 信也
9	大阪商工会議所主催　産学連携セミナー 令和8年2月19日(木)　（於　大阪商工会議所）　講演者：産学官連携コーディネーター　明河 一彦

令和7年度施設開放状況一覧

年度	日付	使用目的	使用団体	選択教室3	選択教室4	選択教室5	教室(1E)	教室(5E)	大視聴覚室	視聴覚室（ラーニングコモンズ）	CAD演習室	物理化学実験室	電子工学実験室	第一会議室	大講義室(地域創生大講義室)	本館LR(地域創生交流室)	本館談話室	情報処理演習室	大会議室	多目的室	第1体育館	第2体育館	弓道場	弓射場	プール(更衣室共)	陸上競技場	インフィールド	テニスコート	アーチェリー場	使用人数
R7年度	R7.5.18	第74回大和郡山市民体育大会	大和郡山市スポーツ協会																		(200)※	(200)※							(200)※	200
	R7.8.29	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		10									10
	R7.9.5	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		10									10
	R7.9.19	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		10									10
	R7.9.26	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		10									10
	R7.10.17	バスケットボールクラブ練習（半面）	大和クラブ																		10									10
	R7.10.31	バスケットボールクラブ練習（半面）	大和クラブ																		10									10
	R7.11.14	バスケットボールクラブ練習（半面）	大和クラブ																		10									10
	R7.12.5	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R7.12.12	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R7.12.14	大和郡山市ラグビーカーニバル	大和郡山市ラグビーフットボール協会																								200			200
	R7.12.17	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R7.12.19	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R7.12.26	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R8.1.7	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R8.1.9	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R8.1.14	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R8.1.30	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		25									25
	R8.2.11	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		15									15
	R8.2.18	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		15									15
	R8.2.20	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		15									15
	R8.3.3	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.4	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.6	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.10	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.11	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.13	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.17	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.18	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.20	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
	R8.3.27	バスケットボールクラブ練習	大和クラブ																		20									20
小　計				**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**0**	**740**	**200**	**0**	**0**	**0**	**0**	**200**	**0**	**200**	**940**

※市民大会参加者総数200名（施設別内訳は(200)とする）

留学生年度別受入一覧表

年度	機械工学科		電気工学科		電子制御工学科		情報工学科		物質化学工学科		計		在籍数		退学数		卒業数		
	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	国費	政府派遣	進学	帰国	就職
06				3 ﾓﾝｺﾞﾙ		3 ﾏﾚｰｼｱ			3 ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ		3	8	4	5			3	3	1
											6		7				8		
04						3 ﾏﾚｰｼｱ			3 ﾗｵｽ	3 ﾏﾚｰｼｱ	3	8	4	2			4	1	1
											6		31				4		
05							3 ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ		3 ﾓﾝｺﾞﾙ		8	1	4	4			8	3	1
											8		9				6		
02				3 ﾏﾚｰｼｱ		3 ﾏﾚｰｼｱ	3 ﾓﾝｺﾞﾙ			3 ﾏﾚｰｼｱ	3	6	4	5			8	1	1
											4		7				8		
0R						3 ﾀｲ	3 ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ				3	3	4	5			6	1	1
											8		7				6		

国際交流　派遣・受入事業一覧（令和7年度）

国際交流派遣

No.	日　　程	内　　容 （引率教員）	派遣学生		派遣先	
			学年	人数	国・地域	学校名・企業名等
1	令和7年8月17日(日) ～ 8月23日(土)	スマートシティに関するグループワーク、文化施設視察など （一般教科　　松井　良明）	本科1年(1名),2年(4名),3年(1名) （1E 1名,2M 2名,2S 2名, 3E 1名）	6名	香港	香港專業教育學院（香港IVE）
2	令和7年8月21日(木) ～ 9月16日(火)	研究室でのプロジェクト活動、研究発表など 【JASSO(協定校派遣)】 （引率なし）	専攻科1年,専攻科2年 （AM1 1名, AI2 1名）	2名	シンガポール	ナンヤン ポリテクニック
3	令和7年8月21日(木) ～ 9月16日(火)	研究室でのプロジェクト活動、研究発表など 【JASSO(協定校派遣)】 （引率なし）	専攻科1年 （AM1 1名）	1名	シンガポール	リパブリック ポリテクニック
4	令和8年3月8日(日) ～ 3月14日(土)	英語での共同プロジェクト成果発表会、学校紹介、日本文化の紹介など （電気工学科　　芦原　佑樹、顯谷　智也子） （情報工学科　　内田　眞司3/10-3/14）	本科2年(16名),3年(7名),4年(3名) （2M 1名,2E 4名,2S 5名, 2I 2名,2C 4名,3M 3名,3E 1名, 3I 3名,4S 2名,4C 1名）	26名	シンガポール	ナンヤン ポリテクニック リパブリック ポリテクニック テマセク ポリテクニック
5	令和8年3月23日(月) ～ 3月26日(木)	英語での研究発表、大学・文化施設視察など （情報工学科　　岩田　大志）	本科5年 （5I 2名）	2名	台湾	国立勤益科技大学

国際交流受入

No.	日程	担当教員	担当学生		受入校		
			学年・所属など	人数	国・地域	学校名	人数
1	令和7年9月23日(火) ～ 9月30日(火)	グローバル教育センター委員	本科1～4年　1年43名, 2年9名,3年3名,4年1名	56名	シンガポール	ナンヤン　ポリテクニック	33名 （学生30名, 教員3名）
2	令和7年9月24日(水)	グローバル教育センター委員 （ナンヤン ポリテクニックと合同の受入活動）	本科1～4年　1年42名, 2年9名,3年3名,4年1名	55名	シンガポール	テマセク　ポリテクニック	37名 （学生35名, 教員2名）
3	令和7年9月30日(火) ～ 12月23日(火)	電気工学科（大谷研究室） 電気工学科（頭師研究室）	ﾁｭｰﾀｰ 専攻科1年2名 ﾁｭｰﾀｰ 専攻科1年1名	3名	シンガポール	ナンヤン　ポリテクニック	2名 （1名は10/1～）
4	令和7年9月30日(火) ～ 12月25日(木)	機械工学科（須田研究室）	ﾁｭｰﾀｰ 5年2名	2名	シンガポール	リパブリック　ポリテクニック	1名

資料５４

教員の兼業状況

年　　度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
承認件数	５３件	４９件	４１件	４６件	６７件

資料５５

非常勤講師の配置状況　　（令和７年度）

学　　科	科目等	人数（延べ）	授業時間数／週 前期	授業時間数／週 後期	備　　考
一般教科	国　語	1	2	2	国語Ⅰ
	社　会	1	6	8	地理，地域学
	数　学	2	6	１４	数学特論α，数学特論β，応用数学β
	物　理	1	4	2	物理Ⅱ
	生　物	1	１０	0	生物
	体　育	1	6	4	保健・体育Ⅱ，体育実技
	英　語	4	２４	２０	英語Ⅲ，英語Ⅳ，グローバルコミュニケーション，異文化交流Ⅰ～Ⅴ，グローバルチャレンジ
	芸　術	2	0	１２	美術，音楽
機械工学科	－	4	6	8	材料学Ⅱ，機械設計製図Ⅰ，機械設計工学，電気電子工学，熱工学Ⅰ，熱工学Ⅱ
電気工学科	－	3	6	8	制御工学Ⅰ，制御工学Ⅱ，電気工学演習Ⅰ，アナログ回路，ディジタル回路Ⅱ，ディジタルシステム
電子制御工学科	－	1	4	4	システム要素設計，ロボティクスⅠ，ロボティクスⅡ
物質化学工学科	－	2	4	2	プロセス制御，化学特論Ⅱ，固体化学
専攻科	－	6	4	１２	技術者倫理，特殊加工学，機械設計技術基礎，電子情報設計技術基礎，実践化学英語，資源エネルギ工学，アドバンスト・グローバルエンジニアスキル，アドバンスト・グローバルコミュニケーション
留学生	日本語	1	4	4	留学生の日本語
	情　報	1	2	0	論理回路
	計	３１	８８	１００	

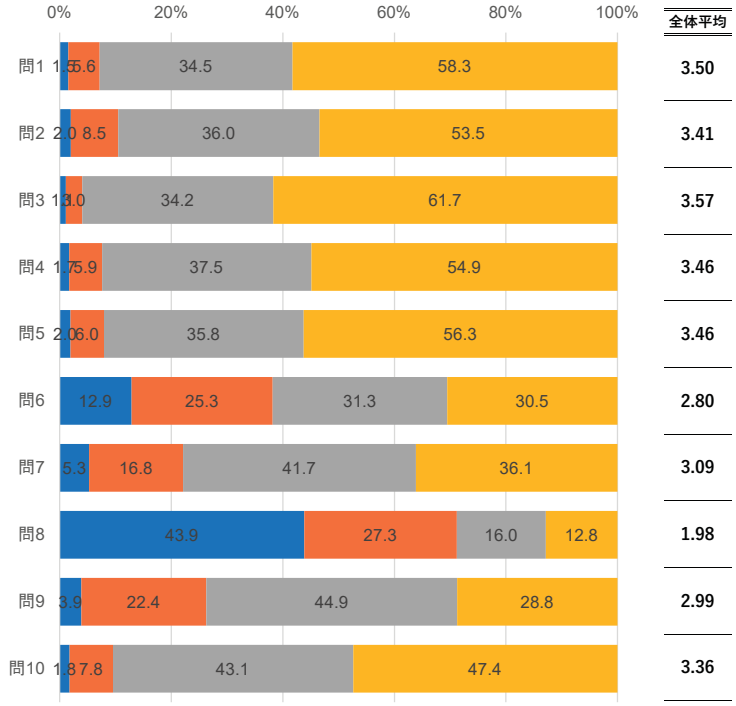
授業評価アンケート

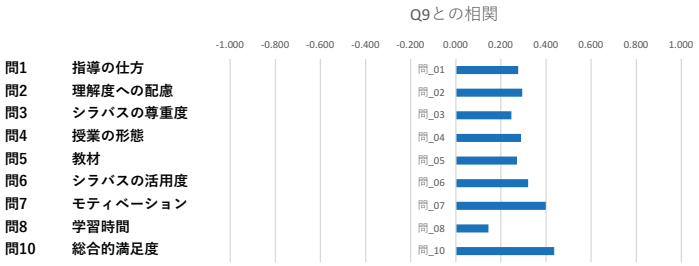
全体集計

グラフ凡例				
問1～7	①思わない	②あまりそう思わない	③ややそう思う	④そう思う
問8～10	選択肢は各質問内容欄を参照			
配点	1	2	3	4

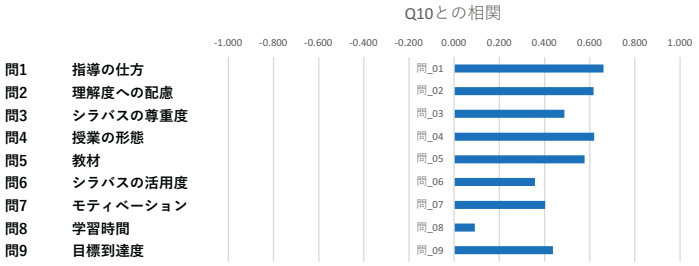
2025年度

番号	内容	全体平均
問1	担当教員の指導(話し方・問いかけ・指示・板書等)は適切であり，授業の進行や内容は整理されていて理解しやすかったと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.50
問2	担当教員は学生の理解度を確認しながら授業を進めていたと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.41
問3	授業の進め方や授業内容は，最初の授業で説明されたシラバスに沿っていたと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.57
問4	授業の形態(講義，演習，実験，実習，グループワーク等)は内容を理解するうえで適 切であり，到達目標(シラバス参照)を達成するための工夫があったと思いますか． 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.46
問5	授業で使用した教材(教科書，参考図書，配布資料・課題・宿題等)は，内容を理解するうえで適切であったと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.46
問6	あなたは授業概要の把握や予習のために，積極的にシラバスを活用できたと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	2.80
問7	あなたはこの授業の内容を理解するために努力(予習・復習，質問等)をして，積極的に内容の理解を目指す行動がとれたと思いますか. 思わない(1)，あまりそう思わない(2)，ややそう思う(3)，そう思う(4)	3.09
問8	あなたがこの科目の学習を行った時間(授業時間，予習・復習，課題・宿題，試験勉強等を含む)はどのくらいですか．週当たりの大まかな平均値で答えてください． 120分未満(1), 120分～180分(2), 180分～270分(3), 270分以上(4)	1.98
問9	あなたはこの授業でどの程度到達目標を達成できましたか．優・良・可の基準で自己採点してください. 不可(1),可(2),良(3),優(4)	2.99
問10	あなたのこの授業に対する総合的満足度はどのくらいですか. 不満(1)，やや不満足(2),やや満足(3)，満足(4)	3.36

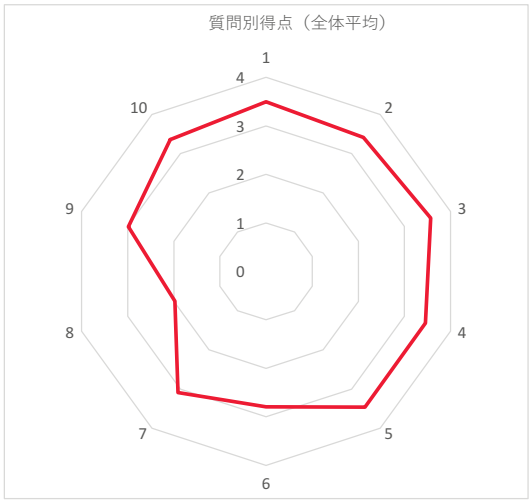




		相関係数
問1	指導の仕方	0.276
問2	理解度への配慮	0.295
問3	シラバスの尊重度	0.247
問4	授業の形態	0.290
問5	教材	0.271
問6	シラバスの活用度	0.320
問7	モティベーション	0.398
問8	学習時間	0.145
問10	総合的満足度	0.436

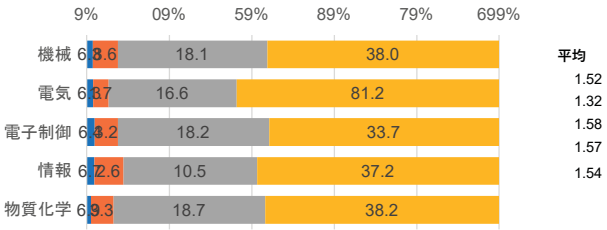


		相関係数
問1	指導の仕方	0.661
問2	理解度への配慮	0.617
問3	シラバスの尊重度	0.488
問4	授業の形態	0.619
問5	教材	0.577
問6	シラバスの活用度	0.358
問7	モティベーション	0.403
問8	学習時間	0.091
問9	目標到達度	0.436

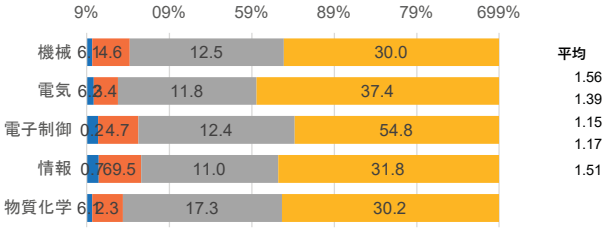


令和５年度まで、全科目の1/3程度の授業アンケートを分析用アンケートとし、集計していたが、令和６年度より全科目の授業アンケートを集計するように変更した。
【授業内容に関する質問項目】である問1～5については、いずれも昨年度より若干高い値（+0.03～+0.09）であった。
【自学自習と学習時間に関する質問項目】である問6～8については、問6「あなたは授業概要の把握、予習のために、積極的にシラバスを活用できたと思いますか。」の平均が2.80（令和６年度2.78）であり、積極的にシラバスの活用を促す工夫が必要である。また、問8「あなたがこの科目の学習を行った時間（授業時間、予習・復習、宿題、試験勉強等含む）はどのくらいですか。週当たりの平均値で答えてください。」の平均が1.98（令和６年度2.04）であり、学習習慣が身についているとは言えず、改善のための方策が必要である。
【学習到達度、学習満足度に関する質問項目】である問9、10については、問9「あなたはこの授業でどの程度到達目標を達成できましたか。」の平均が2.99（令和６年度3.03）、問10「あなたのこの授業に対する総合的満足度はどのくらいですか。」の平均が3.36（令和６年度3.31）であり、昨年度度より若干高い値（+0.05）であり、学生は概ね授業に対して満足していると考えられる。

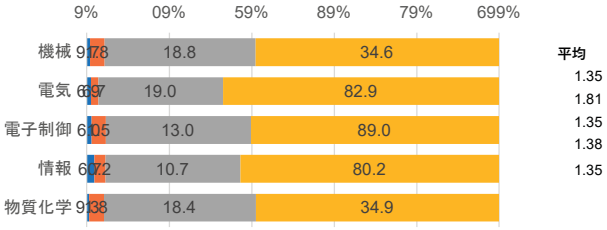
問1　担当教員の指導（話し方・問いかけ・指示・板書等）は適切であり，授業の進行や内容は整理されていて理解しやすかったと思いますか．



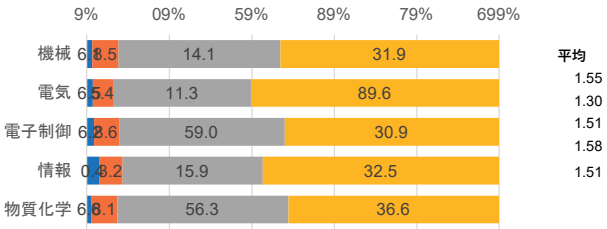
問2　担当教員は学生の理解度を確認しながら授業を進めていたと思いますか．



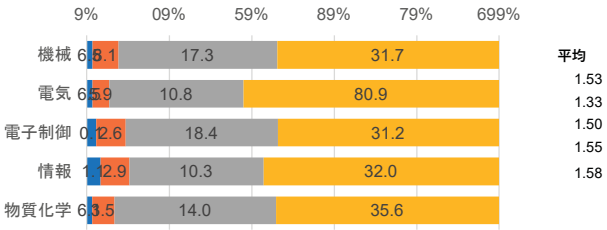
問3　授業の進め方や授業内容は，最初の授業で説明されたシラバスに沿っていたと思いますか．



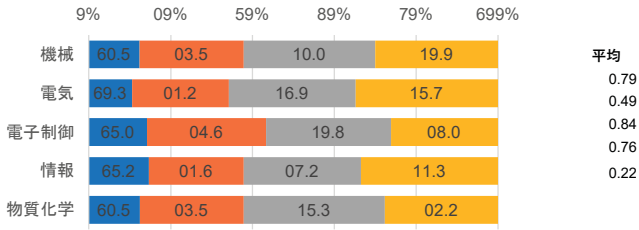
問4　授業の形態（講義，演習，実験，実習，グループワーク等）は内容を理解するうえで適 切であり，到達目標（シラバス参照）を達成するための工夫があったと思いますか．



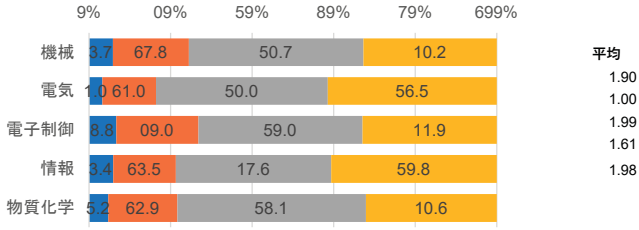
問5　授業で使用した教材（教科書，参考図書，配布資料・課題・宿題等）は，内容を理解するうえで適切であったと思いますか．



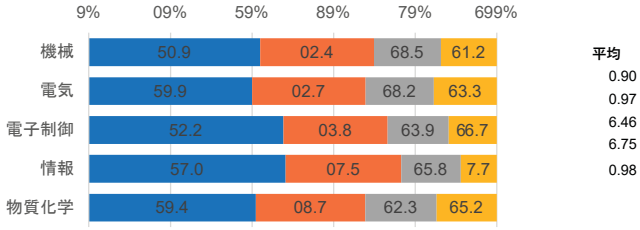
問6　あなたは授業概要の把握や予習のために，積極的にシラバスを活用できたと思いますか．



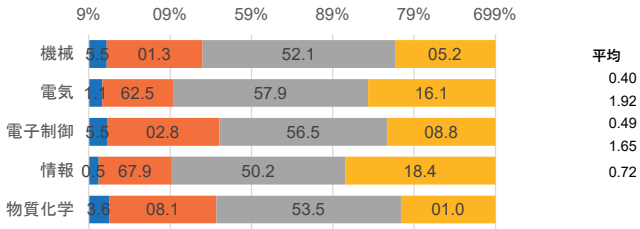
問7　あなたはこの授業の内容を理解するために努力（予習・復習，質問等）をして，積極的に内容の理解を目指す行動がとれたと思いますか．



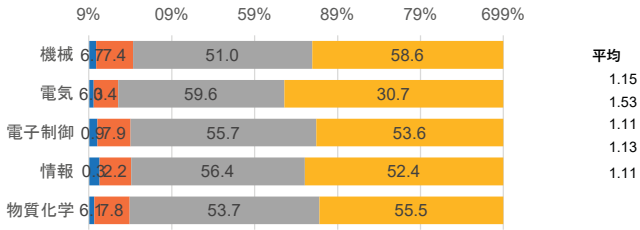
問8　あなたがこの科目の学習を行った時間（授業時間，予習・復習，課題・宿題，試験勉強等を含む）はどのくらいですか．



問9　あなたはこの授業でどの程度到達目標を達成できましたか．優・良・可の基準で自己採点してください．



問10　あなたのこの授業に対する総合的満足度はどのくらいですか．



令和７年度卒業生・修了生アンケート集計結果総括

【全体】

総合満足度に該当する、将来像実現のために高専生活は役立ったか、およびこれからのキャリア形成に役立ちそうかの設問に対して、全学生の平均がともに 4.2 以上となっており、全体としては十分な満足度を得るものであったといえる。また、専門科目の授業、実験実習等、卒業研究や特別研究等の研究指導および研究活動の設問に対して、全学生の平均が 4.0 以上であった。これらについては、満足、やや満足での回答が大半であり、十分な満足度を得るものであったといえる。その他平均が 4.0 以上であった設問として、就職・進学に関する指導や支援、学校内の自学自習に用いる学習環境・設備、図書館、実験・実習工場等、授業等の学習、進学・就職に向けた取り組み、実践的技術者に必要な基礎知識や技術、修得した専門知識や技術を社会に還元できる力、コミュニケーション力と人間力、自ら学ぶ力、物事を論理的に思考・表現することができる力、問題を発見する力、問題解決・課題達成に向けて創造する力が該当する。

本校は卒業研究や特別研究等での研究指導、就職・進学に関する指導や支援などの項目については、非常に高い満足度であるが、一方で、授業外の学習支援、クラブ活動や課外での活動、学生生活の指導や支援、寮での指導や支援、ICT を活用した学習環境、福利厚生施設・コミュニケーションスペース等に関する満足度が低く、これらの点について改善の必要があると考えられる。

以下に、日本人学生と留学生との比較、性別による比較、学年による比較、分野別の比較、全国高専との比較した結果を記載する。

【日本人・外国人留学生比較】

将来像実現のために高専生活は役立ったか、およびこれからのキャリア形成に役立ちそうかの設問に対して、留学生は日本人学生よりも高い評価となっている。授業関連では一般科目の授業、専門科目の授業、実験実習等の満足度について留学生の評価が日本人学生よりも高くなっている。また、コミュニケーション力と人間力、問題解決・課題達成に向けて創造する力については、日本人学生と比較して留学生の評価が低くなっている。

【性別】

将来像実現のために高専生活は役立ったかの設問については女子学生が男子学生に対してわずかに高い評価となっている。授業関連では一般科目の授業、専門科目の授業、実験実習等のいずれにおいても女子学生のほうが男子学生より高い満足度を示している。

【学年による比較】

学年による比較では、専攻科生のほうが多くの項目で高い満足度や成長実感を示しているが、実験実習等に関しては本科生のほうが専攻科生よりわずかに高い満足度を示している。これらの結果から、より専門性の高い専攻科に進学することで、学習内容や研究、自己成長への満足度が向上する傾向が示唆される。

【分野別】

これからのキャリア形成に役立ちそうかの設問に対して、情報系の学生が最も高く（4.449）、ついで電気・電子系（4.447）、機械・材料系（4.298）、化学・生物系（4.118）の順になった。専門科目の授業満足度についても同様の傾向となっている。一方、実験実習等への満足度については化学・生物系が 4.412 で最も高く、電気・電子系が 4.105 で最も低い結果となった。

情報系はこれからのキャリア形成に役立ちそうか、問題解決・課題達成に向けて創造する力、自ら学ぶ力、実践的技術者に必要な基礎知識や技術で高い評価を得ており、実験実習では化学・生物系が高い満足度を示していることがわかる。

【全国高専との比較】

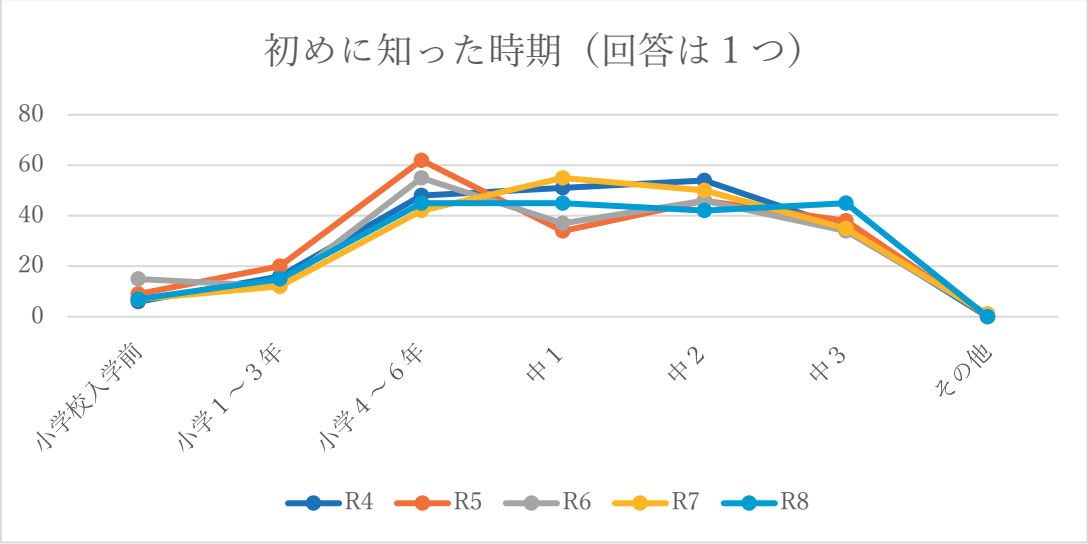
総合満足度に該当する、将来像実現のために高専生活は役立ったか、およびこれからのキャリア形成に役立ちそうかの設問で全国平均よりやや低い評価となっている。授業関連においては一般科目、専門科目、実験実習、いずれの授業満足度も全国平均を下回る評価となっている。また、学校内の自学自習に用いる学習環境・設備、福利厚生施設、ICT を活用した学習環境に対する満足度など、いずれも全国平均を下回る評価となっており、改善の必要がある。

令和４～８年度入学生アンケートの集計結果

令和４年度から令和８年度の５カ年の入学者より徴収した入学動機アンケートのうち、質問の共通項を抜出し傾向を比較したところ、５カ年においてその傾向に大きな変化は見られなかった。

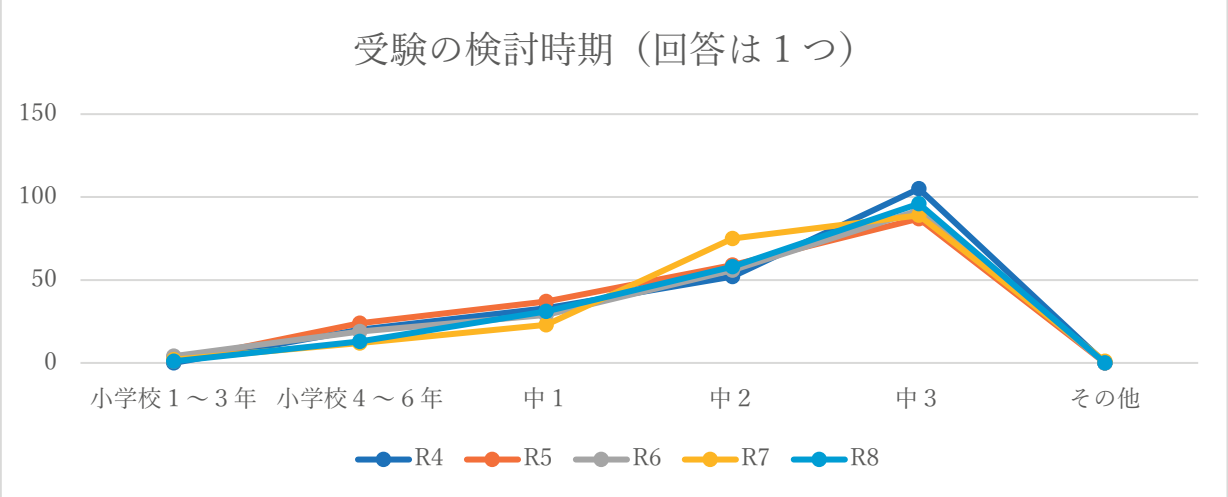
１. 初めに知った時期

５カ年で「小４～小６」が安定して多い傾向にある。中学生では、中２までが高い割合になっているので、中学受験を始める小４から高校受験を意識する中２までの世代に「高専」を認知してもらう広報が必要である。



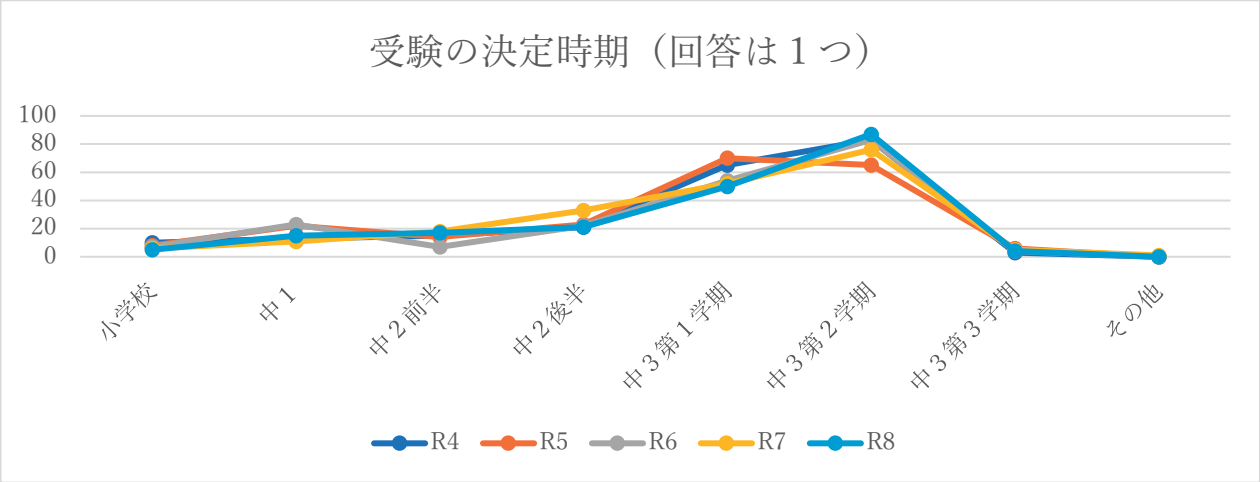
２. 受験の検討時期

現実に受験を控えた中３の時期が検討時期のピークであると言える。



３．受験の決定時期

本校を受験して合格が見込める学力をある程度確認する時期である中３の２学期にピークとなっている。中３の１学期も第２学期に次ぐ志願者が決定する時期である。

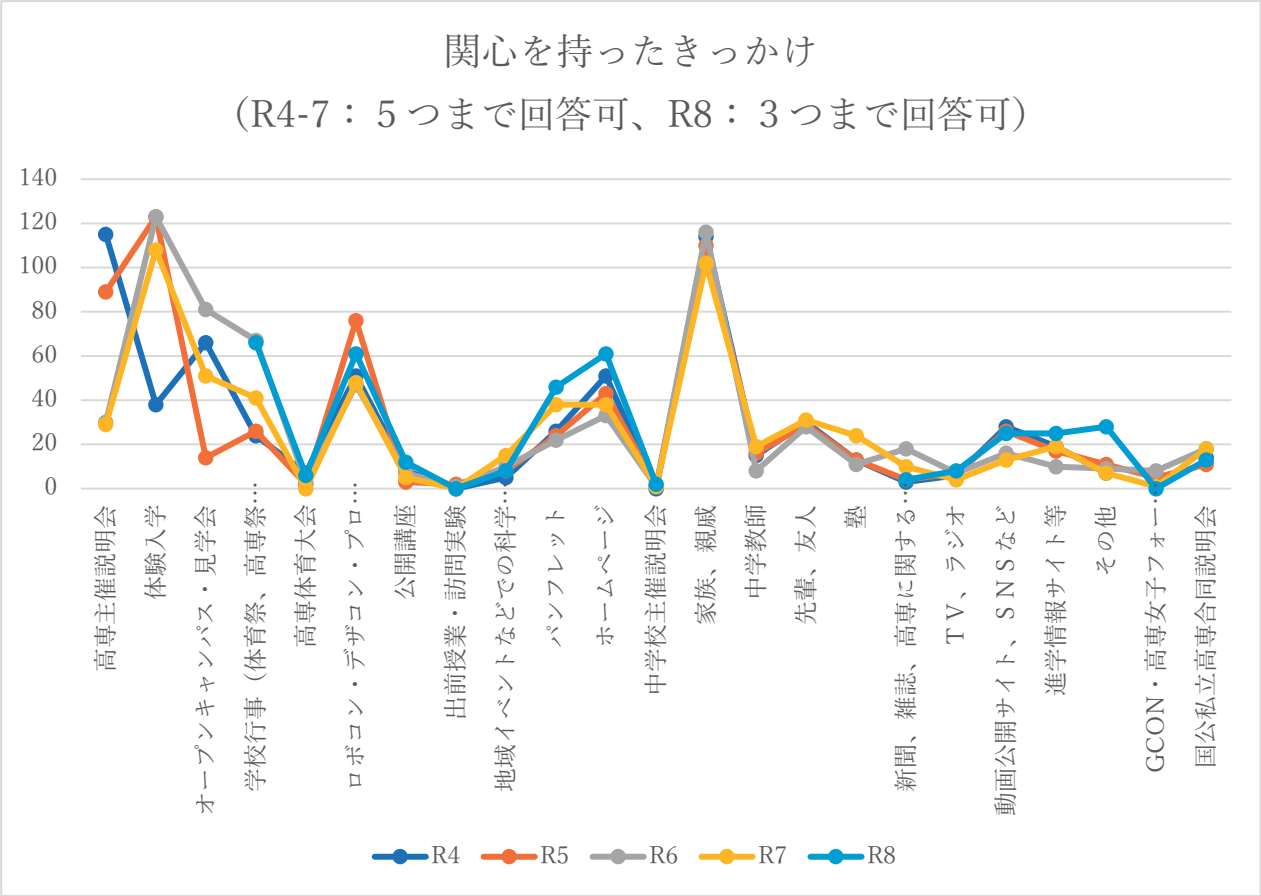


４．関心を持ったきっかけ

・「体験入学」は関心を持つきっかけになる重要なイベントである。

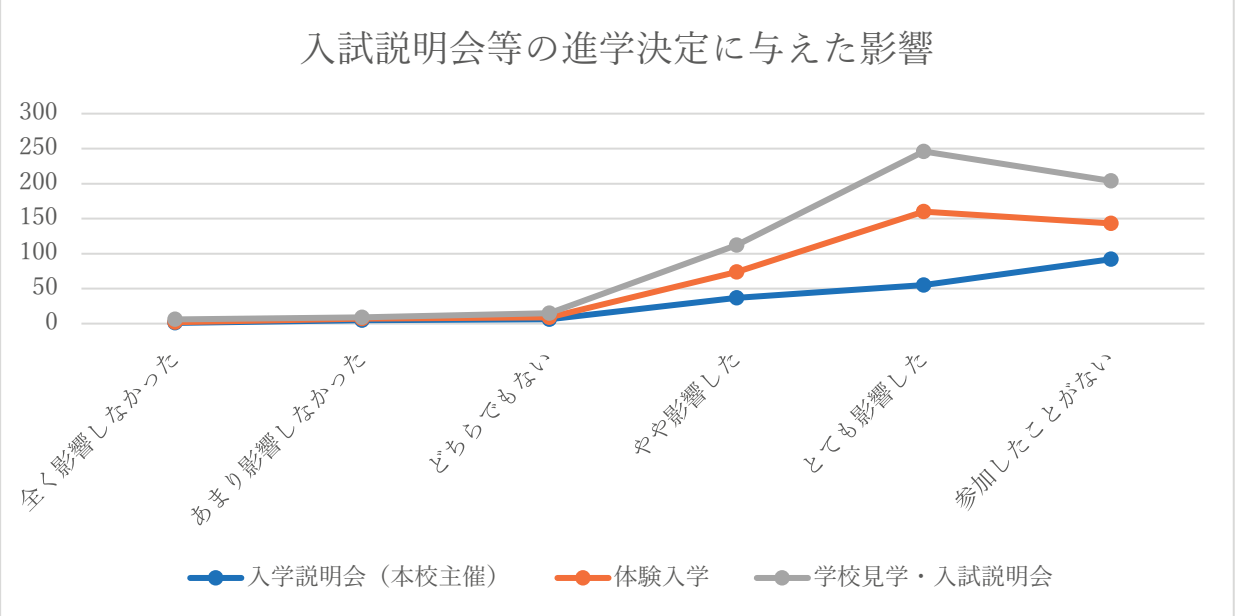
・ロボコン、プロコン等は高専のポジティブなイメージづくりに寄与していると考えられる（特にロボコン）ので、学生の活動成果発表の場であると同時に受験生へのアピールに繋がる。

・きかっけの「家族・親戚」は広報の重要なポイントであり、後援会活動等のアプローチの検討が必要である。



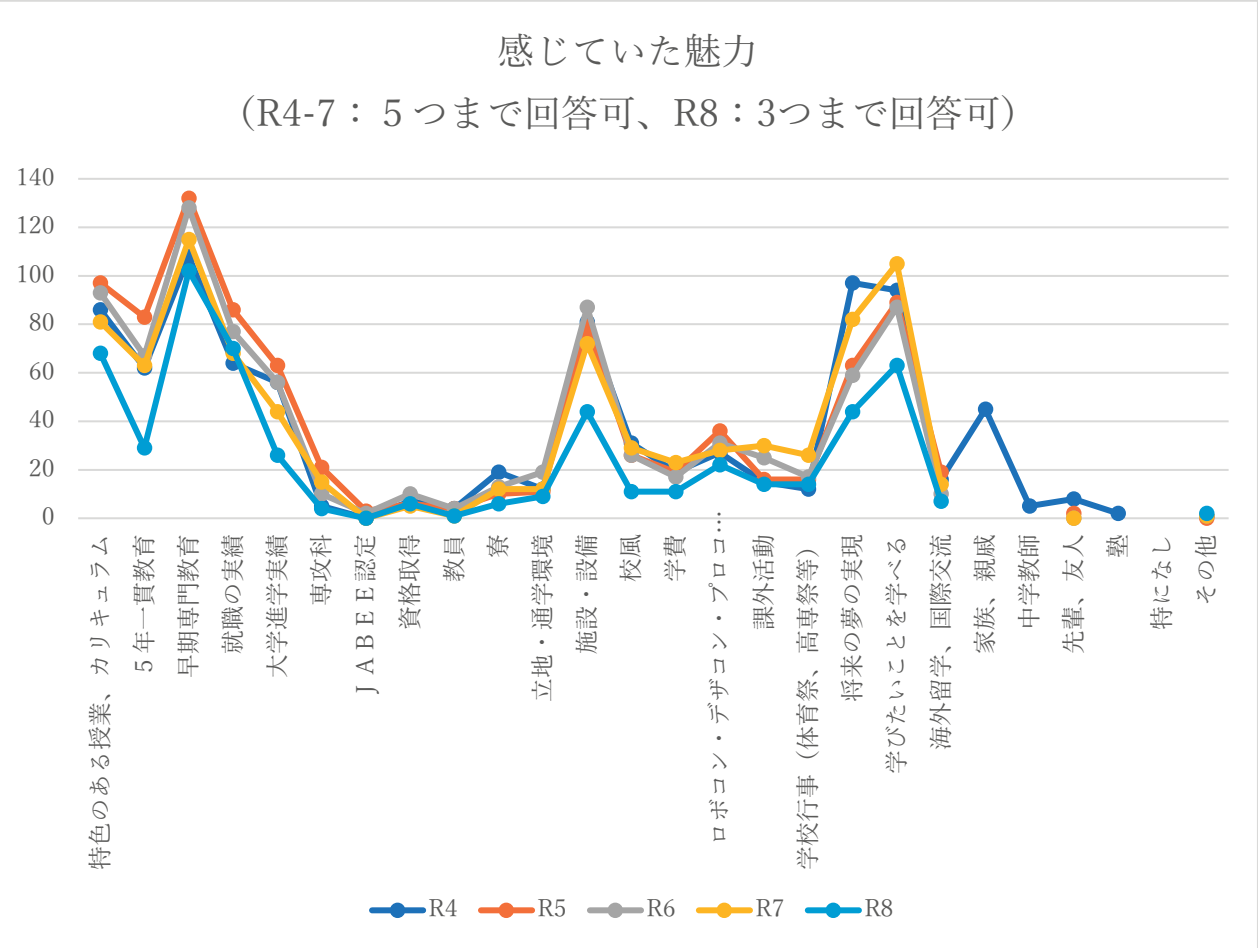
５．入試説明会等の進学決定に与えた影響

体験入学（８月実施）、学校見学・入試説明会（１０月実施）の影響が大きい。



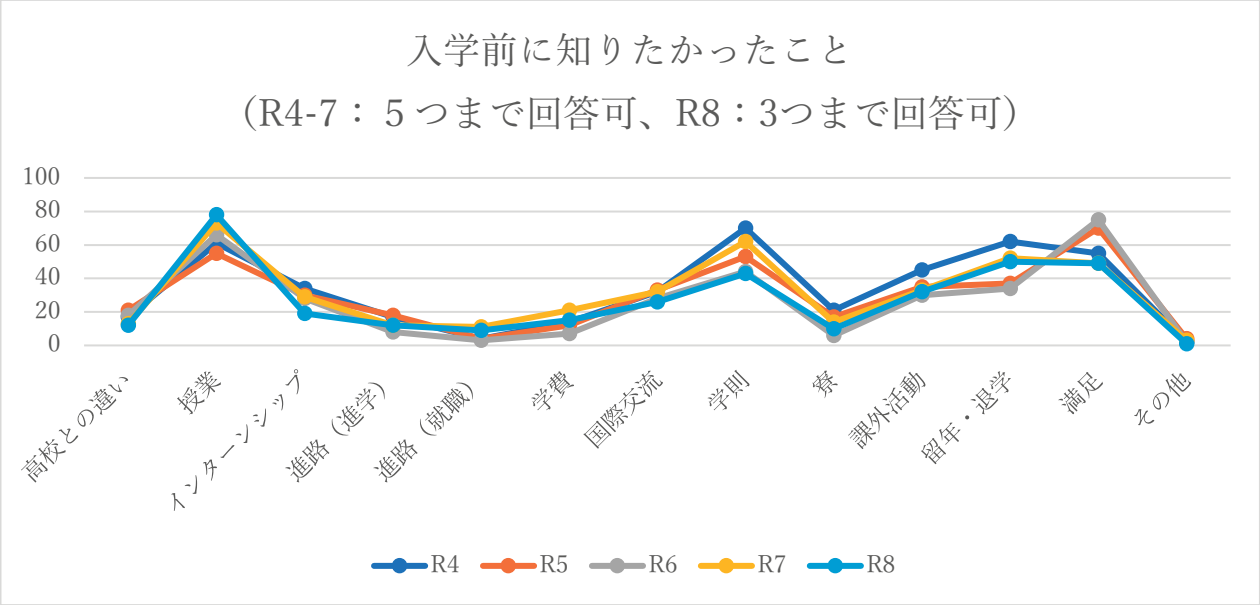
６．感じていた魅力

「早期専門教育」、「就職実績」、「大学進学実績」、「施設・設備」、「将来の夢の実現」、「学びたいことを学べる」といった実利・実践的、具体的な内容にアピールポイントがあるように思われる。



７．入学前に知りたかったこと

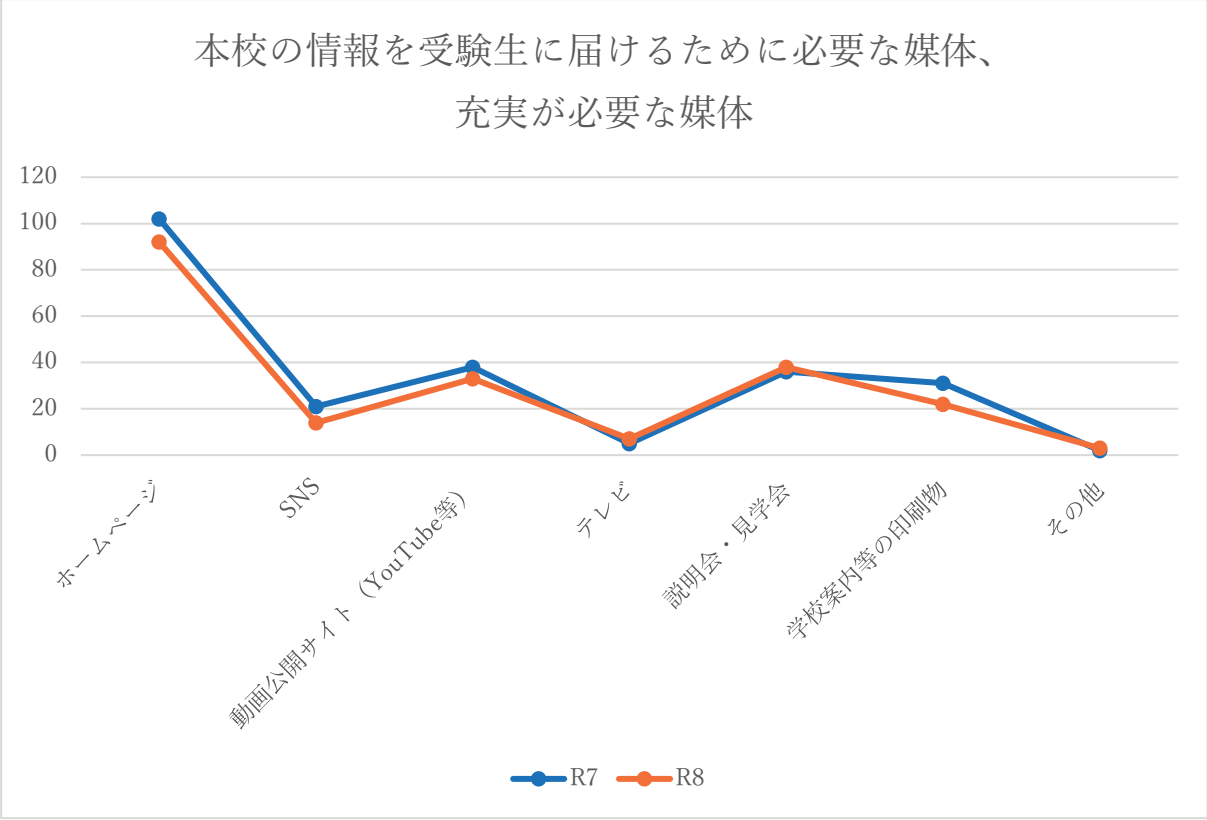
「授業」、「学則」及び「留年・退学」の割合が大きいことから入学後の学生生活を具体的に示す必要がある。



８．本校の情報を受験生に届けるために特に必要な媒体、充実が必要な媒体

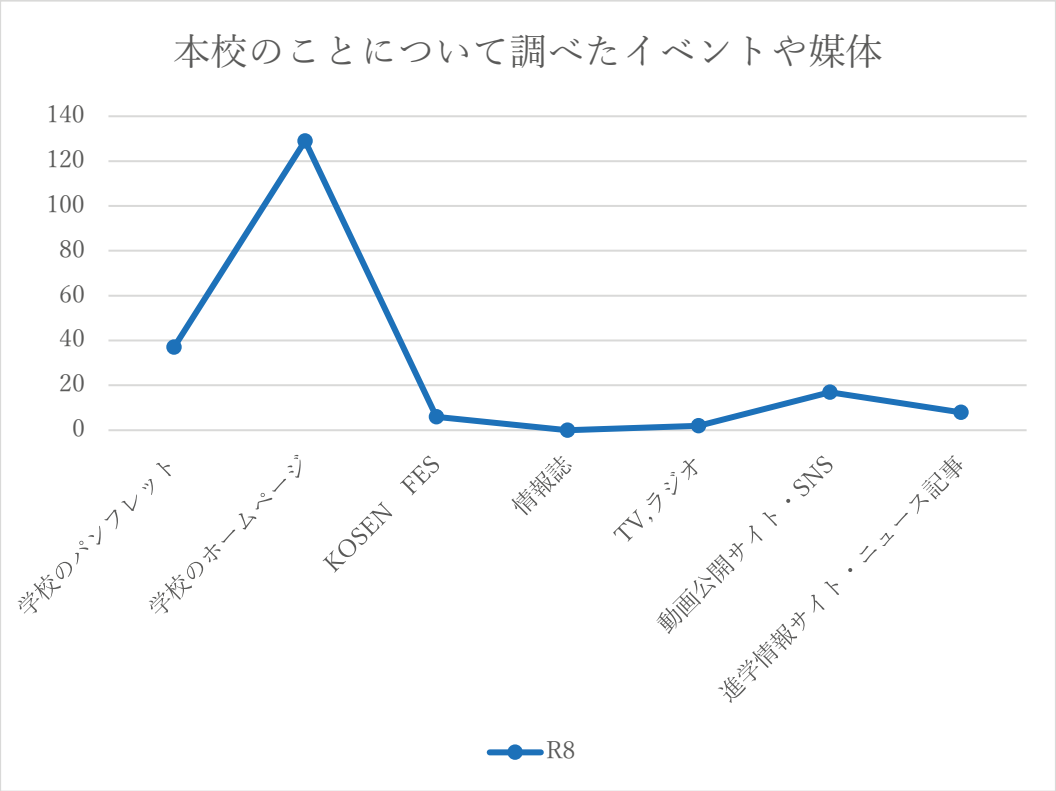
令和７年度入学者から新たに追加した項目である。

ホームページの重要性が確認できる。



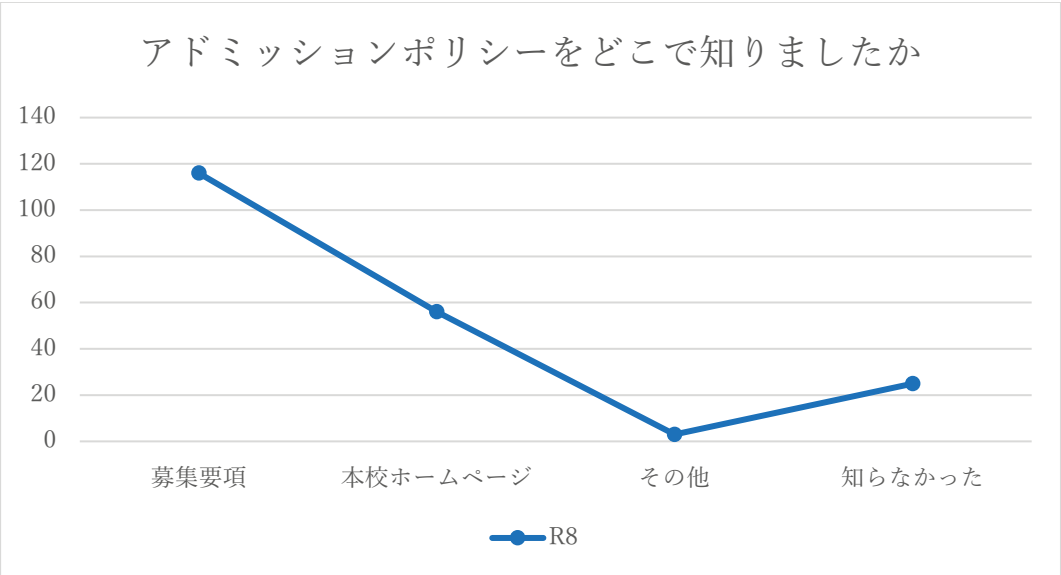
８－１．本校のことについて調べたイベントや媒体

令和８年度入学者から新たに追加した項目である。



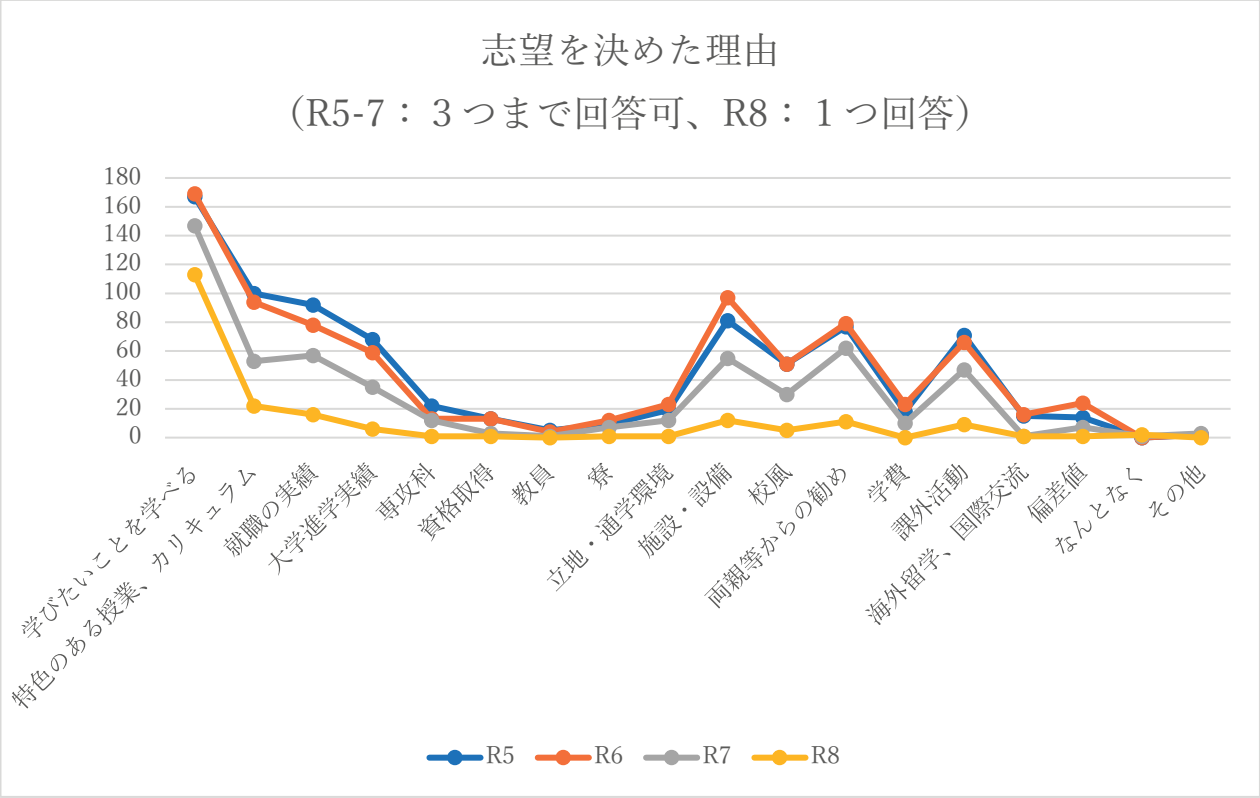
８－２．アドミッションポリシーをどこで知りましたか。

令和８年度入学者から新たに追加した項目である。



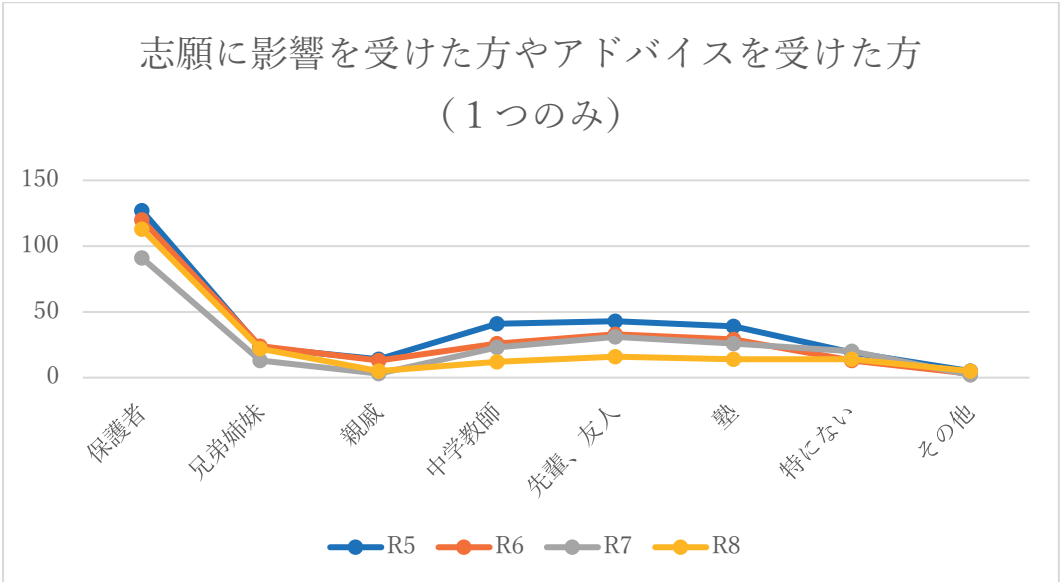
９．志望を決めた理由

「学びたいことを学べる」、「特色のある授業カリキュラム」、「就職実績」、「大学進学実績」、「施設・設備」、「両親等からの勧め」、「課外活動」といった「５．感じていた魅力」と重なる部分が多い。



１０．志望に影響を受けた方やアドバイスを受けた人

「志願に影響を受けた方やアドバイスを受けた人」において、保護者が最も多く「４．関心を持ったきっかけ」と同じく重要なポイントである、中学校教師、学習塾、先輩・友人がほぼ同程度である。



令和７年度 アドミッションポリシーの適合割合の確認（まとめ）

◆アドミッションポリシーの妥当性及び入学学生の適合度の確認のため，本科１年生学級担任および専門科目担当教員においてはクラスの学生の様子から，専攻科１年生の指導教員においては研究室の所属学生の様子から，それぞれのアドミッションポリシーにどの程度適合しているか，おおよそのパーセンテージでお答えください。
大変答えにくい質問だと思いますが，（適合している学生／受け持たれている学生）×100%を基準にお考えください。

◆アドミッションポリシー

【本科】
（１）技術者や研究者になって，社会の役に立ちたい人
（２）基礎的な学力を身に付けていて，自ら進んで学べる人
（３）科学や技術に関心があり，仲間と協力して新しいものを創造したい人
（４）他者への思いやりがあり，責任感を持って誠実に行動できる人

【専攻科】
（１）豊かな人間性を有する技術者になりたい人
　（求める要素：人間性）
（２）自らの専門分野を生かし，さらに応用する力を育みたい人
　（求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力）
（３）技術を通して国際社会や地域に貢献したい人
　（求める要素：主体性・協働性・多様性）
[システム創成工学専攻]
（４）創造性を高め，新しいシステムをつくり出したい人
　（求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力）
[物質創成工学専攻]
（４）環境，エネルギー，バイオ，新材料およびこれらを融合したプロセスに関して
　その課題発見と解決に貢献したい人
　（求める要素：知識・技能，思考力・判断力・表現力）

◆回答

回答者		（１）	（２）	（３）	（４）
本科１年生	１Ｍ	86%	80%	81%	80%
	１Ｅ	74%	62%	79%	88%
	１Ｓ	89%	87%	89%	88%
	１Ｉ	89%	81%	85%	83%
	１Ｃ	93%	91%	79%	93%
専攻科１年生	１ＡＭ	96%	96%	96%	96%
	１ＡＥ	100%	100%	98%	98%
	１ＡＩ	95%	95%	95%	95%
	１ＭＣ	94%	89%	89%	94%

◆評価
本科：機械工学科では，アドミッションポリシーの全ての項目において適合割合が80%を超えていると回答されている。電気工学科では，（２）において適合割合が62%であるが，その他の項目の適合割合は70%を超えている。電子制御工学科，情報工学科では，アドミッションポリシーの全ての項目において適合割合が80%を超えている。物質化学工学科では，（３）において適合割合が79%であるが，その他の項目の適合割合は90%を超えている。これらのことから本科のアドミッションポリシーに基づいた学生の受け入れがある程度できていると判断できる。

専攻科：システム創成工学専攻（全コース）では，アドミッションポリシーの全ての項目において適合割合が95%を超えており，物質創成工学専攻では，アドミッションポリシーの全ての項目で適合割合が85%を超えていると回答されている。このことから専攻科のアドミッションポリシーに基づいた学生の受け入れができていると判断できる。

令和７年度 内部質保証に係るカリキュラムレベルの点検表（学科主任）まとめ

１．　教育の内部質保証システム		検討部門
（１） 学校の「理念と目標」及び学科・専攻科の３つの方針（ＤＰ、ＣＰ、ＡＰ）が、社会の状況等の変化を踏まえた上で、現状、適切であると言えるか？		
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・問題ない	
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	

２．　教育組織及び教員・教育支援者等		検討部門
（１）必要な教員が適切に配置されているか？		
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・問題ない	
電子制御	・組織のスマート化（委員会数の削減，主事補と委員の区別を撤廃等）を望む。	企画会議
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	
（２）教員の能力向上を図る取組（研修・ＦＤ）が適切になされているか？ 本年度、別紙のような研修（ＦＤ・ＳＤ）を実施した。		検討部門
・本年度の研修は、適切であったか？		
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・問題ない	
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	
・今後、ＦＤで取り上げて欲しい内容や、具体的な講師の候補などがあれば記入ください。		検討部門
電気	・より実践的なハラスメント対策法 ・職場環境改善や成長する組織を構築する方法 ・中高の教員から直接聞く現代の課題・実情および効果的な取り組み等	FD・SD推進委員会
電子制御	・他高専の特色のある取り組み事例に関するFD（他高専の先生を講師として招聘）を開催して欲しい。	FD・SD推進委員会
（３）技術職員や事務職員が適切に配置されているか？		検討部門
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・問題ない	
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	

３．　学習環境及び学生支援等		検討部門
（１）本校では、担任や主任、教科担当者、各種委員会委員が中心になって、学生の学習支援、学生生活支援、進路指導などを行う体制をとっているが、現状の体制は機能していると言えるか？また、学科及び専攻・コースにおける学生支援の体制に問題はないか？		
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・教員の教育に携わる時間が、十分には確保できていない。このため教員の業務効率化と学生に割ける時間の捻出に日々取り組んでおり、令和９年度の改組に向けて、さらなる改善を試みている。	企画会議
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	

４．　教育課程・教育方法		検討部門
（１）現在実施されている教育課程は、社会情勢の変化などを踏まえて、適切な科目配置になっているか？ また、ＣＰに適合しているか？さらにＤＰを達成するための配置となっているか？		
（令和７年度は回答を要しない。カリキュラム改訂以降に回答を求める予定）		
（２）学科及び専攻・コースで実施している創造力・実践力を育む教育方法の工夫について、挙げてください。 また、学校全体として、改善すべき点があれば挙げてください。		検討部門
・ 学科での取り組み内容		
一般	一般教科は様々な教科が集まった組織であり、日々、それぞれの教科の特性を生かした工夫を行っています。理系科目を中心として、計算力を確実なものにするための「ティーチングアシスタント」や、座学で学んだことと実際の現象を結びつける「実験」を実施しています。また、文系科目を中心として、「グループワーク」を取り入れコミュニケーション能力の向上を図り、持続的な社会発展に貢献できる人材を育てるために「地域の文化や産業にも目を向ける」ことにも力を入れています。一方で、グローバルな社会で活躍できる人材を育てるための実践的な外国語コミュニケーションスキルを高めるトレーニング、また生涯にわたって運動に親しむ態度や知識を育成することを考えた授業、および、芸術にも興味や関心を持つための授業を展開しています。	
機械	第３学年において、創造設計製作という科目を実施。学生のアイデアをもとに、与えられた課題に対して、グループ活動にて、設計、製作、発表までを行っている。	

電気	グループディスカッションを通して、学習や物づくり計画を行う機会を多数設けており、また視野が狭くならないように近年の技術動向や企業情報を授業の中で提供している。さらに、学生が暗記学習から離脱して論理的思考や創造的思考を構築できるように、独自の教材を開発の上、複数の授業に取り込んでいる。	
電子制御	複合学科という特徴を活かして、システムデザイン能力、システム開発能力、さらには問題解決能力に富んだ技術者を育成する「多段階体験型課題解決プログラム」を実施し、プログラミングや機構学、電気回路や計測制御を取り入れたロボットを用いて、１年生から３年生までの「工学実験」と４年生の「システム設計製作」において目標とする人材育成を行っており、大いに効果を上げている。	
情報	情報ALの講義で３、４年生混在講義を実施している。PBL形式の講義を通して創造力、実践力を養う教育を実践している。	
物質化学	３年生の学生実験において、学生実験のテーマを基にしたPBL実験と発表を行っている。	
・ 学校全体として改善すべき点など		検討部門
一般	一般教科で行っている教育と、専門学科で取り組まれている教育とがより連携することで、新たな領域に踏み込むことが可能ではないかと考える。	企画会議
電気	教員と学生の対話時間が、十分に確保できていない状況にある。さらなる教職員の事務作業効率化（無駄の削除）、Forms等を利用した提出書類と押印の削減、業務タスクと〆切のシステマチックな見える化による管理を進めていく必要がある。令和９年度の改組に向けて、さらなる改善を試みている。	企画会議
（３）次回のカリキュラム改訂の検討を行っているか？		検討部門
一般	・行った	
機械	・行った	
電気	・行った	
電子制御	・行った	
情報	・行った	
物質化学	・行った	
（４）（カリキュラム改訂の検討を行っている場合）講義・演習・実験・実習のバランスが適切かの検討を行っているか？		検討部門
一般	・行った	
機械	・行った	
電気	・行った	
電子制御	・行った	
情報	・行った	
物質化学	・行った	
（５）（カリキュラム改訂の検討を行っている場合）効果的な授業方法の検討を行っているか？		検討部門
一般	・行った	
機械	・行った	
電気	・行った	
電子制御	・行った	
情報	・行った	
物質化学	・行った	

５． 学習・教育の成果		
（１）卒業生・修了生や進路先関係者等の意見から判断して、本校の教育は十分な成果を上げていると考えられるか？（学校全体に対する検討希望や提案と、学科としての自己点検結果）		検討部門
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・卒業生・修了生の満足度は高いが、一方で教員と学生の対話時間が減少していること、それに伴って本校の良さが低下していることを指摘されている。この点について、改善を試みている。 また、進路先関係者から、学生のメンタルが弱くなっていることを指摘されている。全国的な傾向ではあるが、本校、本学科としても、対話を通して学生の生きる力を育んでいくさらなる努力をしていきたい。	企画会議
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	
（２）卒業・修了後の進路状況（就職・進学）から判断して、本校の教育は十分な成果を上げていると考えられるか？（学校全体に対する検討希望や提案と、学科としての自己点検結果）		検討部門
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・本校の教育は十分な成果を上げていると考えられる。一方、過剰に目先のリスクを恐れて挑戦を避ける学生、受動的な学生が増えているのも事実。この点について、改善を試みている。	企画会議
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	

６． 点検内容		
（１） この点検項目について追加、不要、修正などの意見があるか？		検討部門
一般	・問題ない	
機械	・問題ない	
電気	・問題ない	
電子制御	・問題ない	
情報	・問題ない	
物質化学	・問題ない	

点検評価：総務委員長

内部質保証とは、PDCAサイクルを適切に機能させることによって、質の向上を図り、教育・学習等が適切な水準にあることを学校の責任で説明し証明していく学校内の恒常的・継続的プロセスのことであり、この点検表はカリキュラムレベル（学科レベル）のチェックにあたるものであり、各科の状況・取組みを各科主任に取りまとめていただいた。
教育の質保証の観点からは概ね問題なく教育・学習が適切な水準にあると考えられる。一方で主に教職員の多忙化に起因する問題の提起や、業務改善への要望がみられ、この点については全学的な対応が必要と考えられる。また，FD・SDに関して寄せられた要望についてはFD・SD推進委員会で議論いただきたい。

令和７年度アセスメントプラン実施確認表

番号	項目	対象	実施方法	実施日等	IR データ
①	入学試験	入学者	【本科・推薦】 適性検査・面接	1 月 17 日（土） （合否判定1月20 日（火）） 【運営会議，教職員会議審議】	○
			【本科・学力】 学力検査	2 月 8 日（日） （合否判定2月 10 日（火）） 【運営会議，教職員会議審議】	○
			【編入学】 学力検査・面接	9 月 12 日（金） （合否判定 9月 16 日（火）） 【運営会議審議】	
			【専攻科・推薦】 面接	5 月 15 日（木） （合否判定5月20日（火）） 【運営会議審議】	
			【専攻科・学力】 学力検査・面接・TOEIC	6 月 14 日（土） （合否判定6月19日（木）） 【運営会議審議】	
			【専攻科・社会人】 口述試験・面接	9 月 18 日（木） （合否判定 9 月 24 日（水）） 【運営会議審議】	
②	調査書・推薦書	入学者	提出された調査書・推薦書	本科・推薦 12 月23 日（火）～1 月7日（水） 本科・学力 1 月21 日（水）～1 月27 日（火） 編入学 8月25 日（月）～8 月29 日（金） 専攻科・推薦 5 月1日（木）～5 月8日（木） 専攻科・学力 6 月 2 日（月）～6 月 6 日（金）	○
			提出された志願理由書・業績報告書	専攻科・社会人 8 月 18 日（月）～8 月 22 日（金）	
③	AP の適合割合確認	入学者	提出された調査書 適性検査 学力検査 面接	①，②と同様 【運営会議，教職員会議審議】	
		本科 1 年学級担任 本科 1 年専門科目授業担当 専攻科 1 年指導教員	アドミッションポリシーの適合割合の確認 （アンケート）	提出期限 6 月 6 日（金） 【R7 年 7 月総務委員会報告】	
④	休学率・留年率・退学率	本科 2～5 年	進級認定資料卒業認定資料	【R8 年 4 月教務委員会報告】（予定）	○
⑤	授業アンケート	本科 1～5 年 専攻科 1・2 年	授業アンケート （Forms）	前期集中科目 実施期限 7 月 18 日（金） 後期集中・通年科目 実施期限 1 月 13 日（火） 【R8 年 4 月総務委員会報告】（予	○

				定）	
⑥	成績評価	本科 1～5 年 専攻科 1・2 年	成績根拠資料 （定期試験，課題等）	卒業認定 2 月 26 日（木） 【教務委員会，運営会議，教職員会議審議】 進級認定 3 月 10 日（火） 【教務委員会，運営会議，教職員会議審議】	○
⑦	情報交換ノート	本科 1～5 年	学級担任・科目担当者情報交換ノート	前期中間 提出期限 6 月 20 日（金） 前期末 提出期限 8 月 25 日（月） 後期中間 提出期限 12 月 15 日（月） 学年末 提出期限 2 月 19 日（木） 【学級担任による確認】	
⑧	学修満足度調査	本科 2～5 年	ディプロマポリシー，卒業・進級認定の認知度と学習環境・達成度に関するアンケート	実施 4 月 3 日（木） 【5 月教務委員会報告】	
		本科 1～5 年 専攻科 1・2 年	学びの状況調査〈総務部門追加項目〉 （高専機構）	回答期限 10 月 31 日（金） 【12 月企画・運営・教職員会議報告】	
⑨	ポートフォリオ	本科 1～5 年	e ポートフォリオ （WebClass）	前期中間 担任依頼 6 月 30 日（月） 期限 7 月中 前期末 担任依頼 10 月 6 日（月） 期限 10 月中 後期中間 担任依頼 12 月 5 日（金） 期限 12 月中 総括 担任依頼 2 月 12 日（木） 期限 2 月中 【随時，学級担任による確認】	
⑩	内部質保証に係るカリキュラム点検	学科主任	内部質保証に係るカリキュラムレベルの点検表	提出期限 2 月 19 日（木） 【3 月総務委員会報告】（予定）	
⑪	グループ FD	教員	成績根拠資料状況確認表 グループ FD 報告書	報告書提出期限 3 月 9 日 【R8 年 6 月総務委員会報告】（予定）	
⑫	公開授業	保護者・教職員	公開授業参観報告	前期実施期間 6 月 30 日(月)～7 月 4 日（金） 報告書提出期限 7 月 11 日（金） 後期実施期間 12 月 15 日(月)～12 月 19 日（金） 報告書提出期限 12 月 26 日（金）	

				【学級担任，学年主任，担当教員に報告】	
⑬	授業チェックシート	教員	授業チェックシート （Forms 入力）	入力期限 2 月 27 日（金） 【R8 年 6 月総務委員会報告】（予定）	
⑭	卒業研究論文評価	教員	卒業論文 卒業研究発表会	卒業認定 2 月 26 日（木） 【各専門学科，運営会議，教職員会議審議】	
⑮	進路状況	卒業生	大学編入学等受験状況及び就職先一覧	9 月以降随時報告 【進路対策協議会報告】	
⑯	卒業時・修了時アンケート	本科 5 年 専攻科 2 年	卒業生・修了生アンケート	回答期限 2 月 27 日（金） 【3 月企画会議，運営会議報告】（予定）	
⑰	進学先・就職先アンケート	企業・大学等	卒業生就職先アンケート	隔年実施（令和 7 年度実施） 【9 月総務委員会報告】	

令和７年度　卒業時・修了時アンケート集計結果（抜粋：ディプロマポリシー達成割合）

本科

単位：%

	(1) 人文・社会・自然についての豊かな教養を持ち、自主的・継続的に学習ができる。［基礎力］	(2) 各専門学科の人材養成目的・教育目標に掲げる知識・技術・能力を有する。［専門応用力］	(3) 多様な個性や価値観を持つ他者と意思疎通し、同じ目的に向けて協働できる。［協働力］	(4) 技術者としての倫理観を持ち、責任ある行動でもって社会に貢献できる。［社会貢献力］
1.ポリシーを満たすまでの能力は身につかなかった	4.65	4.07	4.07	5.23
2.ポリシーをほぼ満たす能力が身についた	41.28	36.05	28.49	33.72
3.ポリシーを完全に満たす能力が身についた	36.63	43.02	43.60	39.54
4.ポリシー以上の能力が身についた	17.44	16.86	23.84	21.51

専攻科

システム創成工学専攻

	(A) 幅広い視野と教養	(B) 技術者、科学者としての高度な倫理観	(C) 工学の基礎	(D) 研究成果の発信力	(E) 技術者に必要な英語力	(F) 専門分野の知識	(G) システムの設計力	(H) 問題解決能力
1.ポリシーを満たすまでの能力は身につかなかった	0.00	0.00	0.00	0.00	3.12	0.00	0.00	0.00
2.ポリシーをほぼ満たす能力が身についた	15.62	15.62	12.50	15.62	37.50	17.86	17.86	17.86
3.ポリシーを完全に満たす能力が身についた	43.75	56.25	59.38	56.25	43.75	53.57	60.71	50.00
4.ポリシー以上の能力が身についた	40.63	28.13	28.12	28.13	15.63	28.57	21.43	32.14

物質創成工学専攻

(F) 専門分野の知識2	(G) 物質・材料の創出力	(H) 優れた技術・研究能力
0.00	0.00	0.00
0.00	25.00	0.00
50.00	25.00	50.00
50.00	50.00	50.00

共通

【本科５年・専攻科２年】奈良高専の人材養成目的について意見がありましたら、自由に記述してください。	
本科５年	専攻科２年
高専の専門的な授業で身につくと思う。	どの学科も、情報やAI関連の基礎的な知識の習得が必要になってきそうな気がする。
特になし	特になし
素晴らしい目的だとおもいます。	
新たな知識を身につけることができた。	
コミュニケーション能力をもう少し鍛えるような取り組みが必要だと感じました。目的に対して足りてないような感じがしました。	
電気工学科は実技が少なく、座学が多いため、もっと実技を増やしてほしいと思いました。	
人工知能をあまり推し進めない方が良い。	

【評価】

（本科）

本科においてはDPを満たさないという自己評価は全ての項目の平均で5%前後であり、95%程度の者が一定の水準にあると自己評価している。卒業が認定されることは、学校の評価としてもDPを満たしていると認定していることと同値である。

このことから、本校のDPが適切であり、卒業生がDPを満たしていると判断できる。特に「協働力」については「完全に満たす能力が身についた」以上のレベルの回答が67%と高い。

（専攻科）

専攻科においてはDPを満たさないという自己評価は「技術者に必要な英語力」以外の全ての項目で0となっており、ほぼ全ての者が一定の水準にあると自己評価している。修了単位が揃っていることは、学校の評価としてもDPを満たしていると認定していることと同値である。

このことから、本校の専攻科のDPが適切であり、修了生がDPを満たしていると判断できる。なお、R6年度の「技術者に必要な英語力」は8%の者が「身につかなかった」と回答していたことから改善がなされていると判断できる。

また、R6年度では物質創成工学専攻の専攻科生の約17%が「物質・材料の創出力」がポリシーのレベルまで到達していないと自己評価していたことから、この項目についても改善がなされていると判断できる。

ただし、物質創成工学専攻修了生7名に対して回答者が4名(57%)となっており、システム創成工学専攻の回答率93%(修了生30名、回答者28名)、本科の回答率95%(休学、長期欠席を除く卒業認定対象者182名、回答者172名)と比較して低い水準にある。DP、教育課程の継続的な点検・改善のためには高い回答率とするための工夫が求められる。

令和７年度卒業生・就職先アンケート結果（まとめ）

【実施要領】
1. 外部評価要求事項に基づき、卒業後５年程度の方、及びその進路先にアンケートをします。
2. 各学科、本科卒業１名程度、専攻科修了１名程度（以下「卒業生」と略称します）を選出してください。
3. アンケートの送付に際しては、卒業生の宛名（住所含む）および担当者を総務係まで連絡ください。また、卒業生自身に担当者から連絡をとり、アンケート送付の同意をとってください。
（本人、および本人から進路先にアンケート依頼する旨お伝えください）
4. 担当者は原則学科主任（総務委員）または、卒業生と関わりの深い教員が望ましいです。
5. アンケートはできるだけ収集したいと考えますが、相手があることなので、「毎年必ず収集」までは求めません。

【修了生・卒業生回答】

以下の項目に関して「現在の業務」を実行するにあたり「本校を卒業する時点」で十分な素養を習得できていたかについて、４段階で評価してください。同時に今の時点で感じる必要性も４段階で評価してください。
（評価点：そう思う４、いくらかそう思う３、あまりそう思わない２、そう思わない１）
（必要性：必要と思う４、いくらか必要と思う３、あまり必要とは思わない２、必要とは思わない１）

設問	評価点										平均	必要性										平均
１．一般教養や基礎科学に関する知識	4	3	2	3	3	2	3	4	3	3	3.0	4	4	4	4	4	3	3	3	4	3.6
２．専門科目に関する知識	4	4	3	4	3	3	3	3	3	2	3.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3.8
３．専門分野における実践力・技能	4	4	3	4	3	4	3	3	3	2	3.3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.7
４．非専門分野も含めた学際的研究能力	3	4	2	3	2	3	3	2	2	2	2.6	4	3	4	4	2	3	4	4	3	3.3
５．社会で役に立つ実用的な知識	4	3	2	2	2	2	2	4	2	4	2.7	4	4	4	3	4	3	3	3	4	3.5
６．国際的に活動できる能力（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、異文化対応）	3	2	2	2	3	2	3	2	3	2	2.4	4	3	4	3	4	4	4	3	4	3.7
７．課題発見・解決能力	4	3	2	3	2	4	4	3	4	3	3.2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0
８．科学技術者倫理・法令遵守などの社会が求める倫理観	4	4	3	3	3	3	4	3	4	4	3.5	4	4	3	4	4	3	3	3	4	3.6

本校の以下の項目の教育法は満足であったかについて４段階で評価してください。
（評価点：そう思う４、いくらかそう思う３、あまりそう思わない２、そう思わない１）

設問	評価点										平均
１．講義	4	3	3	4	4	2	4	2	3	3	3.2
２．演習・実験	4	4	3	4	4	3	3	3	4	4	3.6
３．卒業研究論文または修了研究論文指導	4	4	4	4	3	3	4	4	2	2	3.4

【就職先の企業等回答】

以下の項目に関して、本校修了生が十分習得できたかについて、４段階で評価してください。
（評価点：そう思う４、いくらかそう思う３、あまりそう思わない２、そう思わない１）

設問	評価点										平均
１．一般教養や基礎科学に関する知識	4	4	3	3	3	4	3	4	3	4	3.5
２．専門科目に関する知識	4	4	4	4	3	4	4	4	3	3	3.7
３．専門分野における実践力・技能	4	4	4	4	3	4	3	4	3	3	3.6
４．非専門分野も含めた学際的研究能力	4	4	4	3	2	4	2	4	4	3	3.4
５．社会で役に立つ実用的な知識	4	4	3	3	3	2	3	3	4	4	3.3
６．国際的に活動できる能力（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、異文化対応）	4	4	4	3	3	4	3	3	4	2	3.4
７．課題発見・解決能力	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	3.8
８．創造力	3	4	3	4	3	4	4	3	4	4	3.6
９．科学技術者倫理・法令遵守などの社会が求める倫理観	3	4	4	3	3	3	3	3	4	4	3.4
１０．豊かな教養	3	4	3	3	4	4	3	3	3	4	3.4

差し支えなければ御社名（大学名など）をご記入ください。
奈良高専、monolyst(株)、大阪大学大学院工学研究科、新明和工業（株）旭化成エンジニアリング（株）、東北大学、筑波大学、菊水電子工業（株）、千代田化工建設（株）、Binary Enterprise（株）
本校へご意見がありましたら自由にお書きください。
・奈良高専の方は皆さん優秀です。 ・すぐれた卒業・修了生を育てられておりすばらしいです。当研究室ではすでに4名を受けて入れております。 ・彼はエンジニアとして必要な資質を十分に備えていると認識しています。学生時代に出来上がった自由な発想、挑戦意欲が現在の製品開発に寄与していると感じています。

【評価】

修了生・卒業生の回答における評価点は「４．非専門分野も含めた学際的研究能力」、「５．社会で役に立つ実用的な知識」、「６．国際的に活動できる能力」で平均が3未満となっている。特に設問６については「4 そう思う」と回答した者がいない。一方でこれらの設問に対する必要性の回答は全て平均が3以上であり、特に「７．課題発見・解決能力」は全員が「4 そう思う」と回答している。
教育法については講義、演習・実験、卒業研究（特別研究）に対する平均は全て3以上となっており、概ね満足できる教育であったと評価できる。
就職先の企業等の回答では、全ての設問で平均が3以上であり、修了生・卒業生自身の回答で3未満であった設問４、５、６に対しても評価が高い。
これらをまとめると、本科全学科共通カリキュラムポリシー(2)に沿った教育に対して修了生・卒業生の自己評価がやや低い項目はあるものの、その必要性は認識されており、教育法に対する満足度も高く、就職先の企業等からも高く評価されていると評価できる。今後、学生の自己肯定感を高める教育法の充実に改善の余地がある。

令和７年度　授業チェックシート集計結果（R8/7/31締切）

※「14.試験・レポート・課題の回数および返却率」の掲載省略

学科等			設問番号・内容																	
			1 学生に授業科目の学習到達目標・教育方法等の説明をしましたか？	2 開講時にシラバスの内容を説明しましたか？	3 授業はシラバスの内容・授業計画に沿って実施しましたか？	4 適切な教材を用いていますか？	5 学生の授業中の反応をチェックして，活用していますか？	6 課題・レポート・小テスト等を適切に実施しましたか？	7 成績はシラバスの評価割合に従って評価しましたか？	8 （学修単位科目のみ）授業時間以外の学習の指導とその評価をしましたか？	9 成績評価の根拠資料（定期試験、小テスト、課題など）は適切に保存していますか？	10 学級担任・科目担当者情報交換ノートを提出していますか？	11 学生の興味や理解度を高める工夫をしましたか？	12 授業アンケートや公開授業などの点検結果を来年度の授業に反映しますか？	13 学生が授業に自律的に取り組む試みを行っていますか？	15 授業時間外に行った学習指導等について				
																オフィスアワー	学力補充の補講	課題・レポート指導	補充試験・追実験	その他
			はい／総数													はい／総数				
本科	一般教科	国語	12/12	12/12	12/12	12/12	12/12	12/12	12/12	6/6	12/12	12/12	12/12	12/12	12/12	10/12	1/12	8/12	4/12	1/12
		社会	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	8/8	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	5/10	8/10	5/10	0/10
		英語	29/29	29/29	29/29	29/29	29/29	29/29	29/29	4/4	29/29	29/29	29/29	17/29	29/29	22/29	2/29	11/29	4/29	2/29
		体育	13/13	13/13	13/13	13/13	13/13	13/13	13/13	6/6	13/13	13/13	13/13	13/13	13/13	12/13	5/13	1/13	2/13	0/13
		数学	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	17/17	3/3	17/17	17/17	14/17	17/17	10/17	16/17	5/17	10/17	12/17	0/17
		理科	14/14	14/14	14/14	14/14	14/14	14/14	14/14	4/4	14/14	14/14	14/14	14/14	12/14	10/14	2/14	13/14	4/14	2/14
		芸術	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	0/0	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	0/2	2/2	2/2	0/2	0/2
	専門学科	機械	42/42	42/42	42/42	40/42	42/42	42/42	42/42	28/29	42/42	42/42	40/42	39/42	36/42	27/42	13/42	18/42	12/42	3/42
		電気	27/27	27/27	27/27	26/27	27/27	27/27	27/27	15/15	27/27	27/27	25/27	23/27	23/27	21/27	12/27	17/27	13/27	0/27
		電子制御	41/41	41/41	41/41	40/41	41/41	41/41	41/41	20/20	41/41	41/41	37/41	38/41	30/41	32/41	3/41	19/41	14/41	2/41
		情報	43/44	43/44	43/44	41/44	41/44	44/44	44/44	19/19	44/44	44/44	42/44	38/44	36/44	26/44	8/44	28/44	14/44	2/44
		物質化学	43/43	43/43	42/43	43/43	40/43	43/43	43/43	23/23	43/43	43/43	42/43	29/43	37/43	31/43	5/43	19/43	16/43	2/43
	小計	総数	293/294	293/294	292/294	287/294	288/294	294/294	294/294	136/137	294/294	294/294	280/294	252/294	250/294	217/294	63/294	154/294	100/294	14/294
		割合	99.7%	99.7%	99.3%	97.6%	98.0%	100.0%	100.0%	99.3%	100.0%	100.0%	95.2%	85.7%	85.0%	73.8%	21.4%	52.4%	34.0%	4.8%
専攻科	一般教科（専攻科）	国語	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	0/1	0/1
		社会	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1		1/1	1/1	1/1	1/1	0/1	1/1	0/1	0/1
		英語	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4	4/4		4/4	3/4	4/4	2/4	1/4	1/4	1/4	0/4
		数学	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	1/1	2/2		2/2	2/2	0/2	2/2	0/2	1/2	0/2	0/2
		理科	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2	2/2		2/2	2/2	2/2	1/2	0/2	1/2	0/2	0/2
	専門学科（専攻科）	機械	3/3	3/3	3/3	3/3	2/3	3/3	3/3	3/3	3/3		3/3	2/3	3/3	2/3	0/3	3/3	0/3	0/3
		電気	9/9	9/9	9/9	9/9	9/9	9/9	9/9	7/9	9/9		8/9	9/9	9/9	4/9	0/9	8/9	0/9	0/9
		電子制御	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10	10/10		10/10	9/10	9/10	8/10	0/10	8/10	1/10	0/10
		情報	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	10/10	11/11		11/11	9/11	11/11	6/11	1/11	5/11	0/11	0/11
		物質化学	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	18/18	16/16	18/18		18/18	8/18	16/18	4/18	0/18	7/18	0/18	7/18
	小計	総数	61/61	61/61	61/61	61/61	60/61	61/61	61/61	55/57	61/61		60/61	46/61	56/61	31/61	2/61	36/61	2/61	7/61
		割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%	100.0%	100.0%	95.0%	100.0%		98.4%	75.4%	91.8%	50.8%	3.3%	59.0%	3.3%	11.5%
合計		総数	354/355	354/355	353/355	348/355	348/355	355/355	355/355	191/194	355/355		340/355	298/355	306/355	248/355	65/355	190/355	102/355	21/355
		割合	99.7%	99.7%	99.4%	98.0%	98.0%	100.0%	100.0%	98.5%	100.0%		95.8%	83.9%	86.2%	69.9%	18.3%	53.5%	28.7%	5.9%

【備考】

一般教科の回答数は科目ごとに集計している（複数クラスを担当していても1とカウントする）。そのため一昨年度以前の回答数とは単純には比較できないことに注意。
また，学級担任・科目担当者情報交換ノートの提出チェック（設問10. 本科のみ）を追加している。

【評価】

令和8年7月末を最終締切として追加提出を依頼した結果，本科で15科目の提出があった。

・実施率が100%となるべき設問1～3において，複数教員が担当する科目の一部で「指導教員依存」との回答があったため，実施できていることの確認ができなかった。授業開始時のガイダンス等で「授業科目の学修到達目標・教育方法等」「シラバスの内容」を説明し，「シラバスの内容・授業計画に沿って実施された」ことが把握できるような改善が必要である。

〔以下は令和8年6月11日運営会議での評価〕

・専門学科で概ね40前後の専門科目が開講されているので，授業チェックが実施されていない科目が存在することになる。学科によっては未チェックが目立ち，実施期間中の総務委員による提出状況の確認と提出依頼をさらに進めていく必要がある。

・基本13項目では，R6年度に100%であった設問6，7において実施・評価ができていなかった科目がみられた。科目個別の特殊要因は今回調査していないが，特別な事情がない限り改善を要すると考える。
問11「興味や理解度を高める工夫」についてはR6年度より本科で1.3ポイント，専攻科で7.5ポイント向上し，大きな改善がみられた。ただし3%程度の科目で「いいえ」との回答でありさらなる改善が求められる。問12については「来年度は担当しない」等の理由による「いいえ」もあるために一概に低いとは評価できず，授業チェックシートの文言の工夫が必要であると考えている。問13については昨年度より3ポイント程度の向上がみられるが，引続き改善を要する。
これらの問１～問13の項目は100%を目指すべき項目であるので改めて全教員に周知・依頼をする必要がある。

・問15「授業時間外に行った学習指導等について」では「オフィスアワー」「補充試験・追実験」において昨年度よりポイントが向上している。これらは学生の求めや必要に応じて実施するものであるのでポイントが低いことが直ちに問題となるわけではないが，学生が自律的に授業外学習に取組む雰囲気を醸成し教員がこれをサポートする取組をさらに進めていく必要がある。

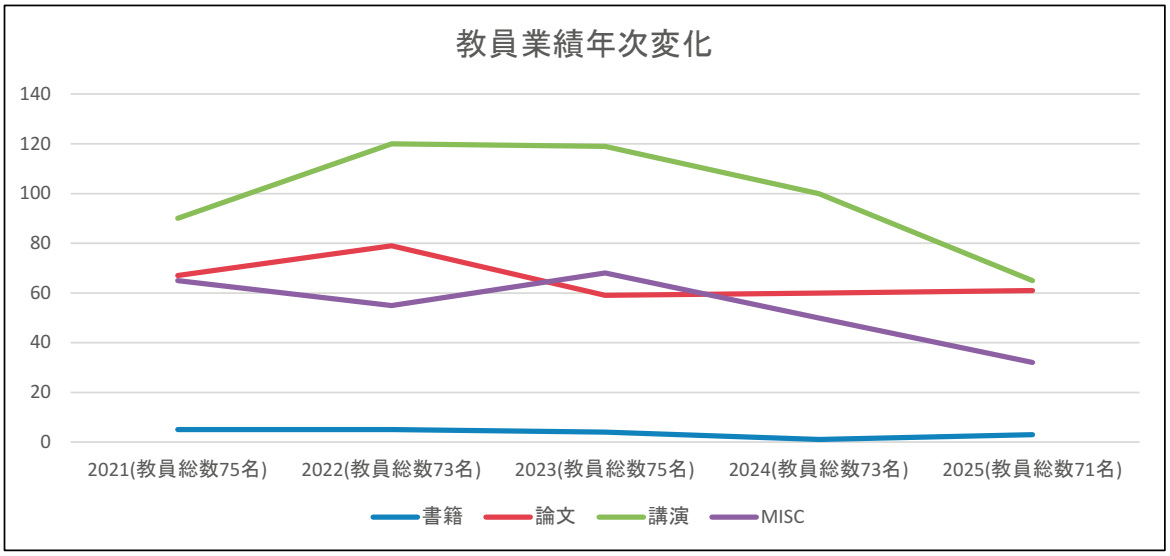
著書・研究論文等の発表件数調べについて（2021年～2025年）まとめ

【Researchmapを使った研究活動の集計方法】

①毎年1月20日を前年研究業績入力締め切り日とする。
毎年1月23日～1月30日の間で3日程度のダウンロード期間（今年度は1月27日～30日）を定め、総務課で Researchmapのデータ をダウンロードする。

②書籍、論文、MISC、講演・口頭発表の項目について、過去5年分件数を学科ごとに集計し、自己点検・評価報告書に結果を記載する。項目分類については各分野の慣例に従う。

【集計結果】



		校長	一般教科	機械工学科	電気工学科	電子制御工学科	情報工学科	物質化学工学科	総計
2021 教員総数75名	書籍		3		1	1			5
	論文	3	7	4	9	11	16	17	67
	講演		6	18	28	10	4	24	90
	MISC	10	7	14	7	2	18	7	65
2022 教員総数73名	書籍	1	3			1			5
	論文	5	7	16	5	17	14	15	79
	講演		13	24	40	5		38	120
	MISC	5	6	8	9		19	8	55
2023 教員総数75名	書籍		3				1		4
	論文	5	13	3	11	7	9	11	59
	講演		7	21	36	16	1	38	119
	MISC	5	9	14	6	3	23	8	68
2024 教員総数73名	書籍			1					1
	論文	2	6	9	10	11	15	7	60
	講演		10	27	25	15		23	100
	MISC	3	5	24	4	1	11	2	50
2025 教員総数71名	書籍							3	3
	論文	1	10	4	13	7	15	11	61
	講演		18	6	22	8		11	65
	MISC		1	21	2	1	6	1	32

【評価】

教育研究活動による社会への貢献を目的として、日常的に自己の専門分野に関する研究を行い、研鑽に努めている。その成果は、書籍、学術論文、学会発表等の形で公表され、最近1年間の実績は書籍3件、学協会等への発表論文61件、国内外における学協会等での発表65件、その他32件となっており、ほぼ例年通りの成果発表が行われていると評価する。

教育方針等に係る質問集計（令和7年度運営諮問会委員） 集計表

委員氏名 （五十音順、敬称略）	1．改組後の教育方針等について						2．本校の広報活動について			3．数理・データサイエンス・AI教育プログラムについて		
	（1）「人材養成目的」が社会の情勢に適合しているかの観点から，妥当であるか	（1）妥当でないと回答される場合，整合していない点について理由等を記載ください	（2）DPが「人材養成目的」と整合しているか	（2）整合していないと回答される場合，適合していない点について理由等を記載ください	（3）CPがDPと整合しているか	（3整合していないと回答される場合，適合していない点について理由等を記載ください。	（1）これらの活動についてどう思われますか？	（1）改善の必要があると回答される場合，可能でしたら改善案をお聞かせください	（2）広報活動について，さらに何かアイデアがあればお聞かせください	（1）本プログラム（応用基礎レベル）の実施体制(p.8)や今年度から開講した「数理データサイエンスAI基礎Ⅰ」(p.9-p.11)についてどう思われますか？	（1）改善の必要があると回答される場合，可能でしたら改善案をお聞かせください	（2）本プログラム（リテラシーレベル・応用基礎レベル）に関する意見や育成する学生像に対する要望などがありましたらお教えください
豊橋技術科学大学 井上　光輝	妥当である	人材養成目的は、我が国の社会の情勢に適合しており、記述されている内容は的確であると判読します。その上で、以下に気づいた点を記します。 ・学科ごとの最初で「させうる人材」、「なりうる人材」として卒業後の期待を込め記載されている一方で、コース内の文言は「養成します」など明確に記されていて、人材像に若干の不明瞭さと、高専としての覚悟に差があるように感じました。 ・我が国の高等教育機関ではグローバル力やダイバーシティなどの文言がよく用いられていて、これら素養の獲得が重要となっています。以下のDP で「コミュニケーション能力」や「多様な個性・価値観」の獲得は記されているものの、グローバル力やダイバーシティではさらに幅広の素養が求められると思います。その点が少し物足りない感じがしました。	整合している	DP は概ね人材養成目的に整合していると判読します。その上で以下に気づいた点を記します。 ・3ポリの対応関係を記す方策として、3つを並列に並べ記載する方法があります。この方法なども視野に、DP に箇条書きされた項目が、目的のどの項目と対応しているかについて今一度整理されるとより分かりやすくなると思います。 ・上記の目的に記したように、「・・・うる 人材」がDP では明確に「活躍できる」「活用できる」になっている点が少し気になりました。 ・活用できる、活躍できる人材とされているので良いようには思いますが、「自ら説明でき活用できる」など、深掘りも良いように思います。 ・技術者・研究者を育成すると記されていますが、現在の高専卒業生はこれらの枠を超え、例えば起業するなど社会課題解決に向けた多様な人材を輩出していると思っています。このことを踏まえると、技術者・研究者と限定するのではなく、例えば専門人材など幅広の人材像を記されるのも良いように思います。	整合している	・DP、CP の2ポリが整合していると判読しますが、前述したように、文章だけでは互いにどのように連携しているのかが分かりにくいように思います。可能であれば、2ポリ（できればAP も）を一覧表として併記し、互いの連携をより分かりやすくする工夫もされてはどうでしょうか。 ・3ポリは不可欠ですが、これをどのように教職員と学生に周知し理解させるかが重要と思われます。その方策はどのようにお考えでしょうか。	妥当である	我が国の現状では、一部の地域を除いてSNS の利用について年齢制限の目安が設定されていますが、海外では子供達に対してSNS利用そのものを禁止する方向にある国も少しずつ増えています（例えばマレーシアでは16 歳以下は禁止になるようです）。高専の外国人留学生比率は低く将来的に10%の留学生の獲得を目指すと聞いており、その場合には他の方策も検討する必要性が出てくるように思われます。	奈良高専では既に実施されていると思いますが、小中学生に対して高専が積極的にSTEAM 教育を実施するのが有効と聞いています（例えば、小山高専）。電子媒体の利用を進めつつ、現場で子供達に高専教育の素晴らしさを伝える不断の努力は必要と思います。 高専は社会から高く評価されていて、既に大学工学部よりも高い初任給を出す企業も現れています。このような社会の評価を広くステークホルダー、特に在学生の保護者などに機会を作りながら何度も繰り返し伝える必要もあるように思います。	妥当である	・「学修成果」の記載に、「学んだことを自ら説明でき、それを応用できる」など、自ら説明できる事柄を入れられた方が良いように感じました。 ・学科によらず、AI は不可欠な素養（一般情報処理と同等）であろうと思います。その意味で、AI 時代のクラフトマンシップ教育の視点から、より強化されるのも一考かと思います。 ・学生のアンケート結果（自由記載）を踏まえ、どのように改善を図られるかを諮問委員会の場でご教示ください。	企業の方と話をすると、データサイエンスは一般的な素養に留まらず、その活用には個々の専門性に立脚して専門性を深めた形で育成してほしいという希望を聞きます。至極当然な事と思いますが、物理的に限られた時間の中でどのような育成方法を取られているのか興味があります。
大和郡山市長 上田　清	意見なし		意見なし		意見なし		意見なし		意見なし	意見なし		意見なし
奈良経済産業協会 江口　良浩	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	さらにSNSを活用しイベントごとに動画撮影し(30秒程度の作品を複数)アップすることにより、今時の若者には響く感じがする。	妥当である	なし	特にございません
奈良県教育委員会 小谷　隆男	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	特にアイデアはありません。	妥当である	なし	本プログラム、及び育成する学生像について、特に要望はありません。
奈良新聞社 小林　三洋	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	弊社では奈良県の小学校、中学校へ直接配布している媒体があります。 「小学生新聞」～学びの種～　年3回発行、春休み前、夏休み前、冬休み前 「なら中高生新聞～STEP JUMP～　年3回発行、 6月末、10月上旬、2月下旬 上記媒体で子ども向け、理科系の話を紹介する。	妥当である	なし	なし
DMG森精機 廣野　陽子	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	なし	妥当である	なし	なし
大和郡山市立郡山東中学校 前田　典子	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	なし	改善の必要がある	なし	なし
奈良先端科学技術大学院大学 松本　健一	妥当である	なし	整合している	なし	整合している	なし	妥当である	なし	生徒向け、保護者向け、中学校教員等向け、など、ターゲットを明確にしたり、ターゲットごとにコンテンツを検討したりするのはどうでしょうか。	妥当である	なし	資料③「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」のスライド11において、受講生が感想として書いていますが、当該授業の内容（学生に課される課題など）と他の授業の内容との関連性は考慮されているのか、あるいは、もっと単純に学生に課される課題はどのような観点で設定されているのか教えてください。

令和７年度 ＦＤ・ＳＤ研修実施一覧

	日　　時	場　所	テーマ	担当者	参加者
ＦＤ①	令和7年6月4日(水)　15時00分～15時50分 ※教務委員会と共催	地域創生交流室	スタディサプリの活用法に関する説明会	株式会社リクルート	２４名 *教員22名* *職員2名* *技術0名*
ＦＤ②	令和7年9月24日(水)　13時30分～15時00分	大会議室	授業での生成AI活用	認定NPO法人CLACK 小池 裕也 氏	４４名 *教員34名* *職員5名* *技術5名*
ＦＤ③	令和7年11月27日(木)　13時00分～14時00分 ※ハラスメント防止委員会と共催	大会議室	「ハラスメント、しない･させない･見過ごさない！」	オフィス・インディペンデント 宮崎 杏子 氏 特定社会保険労務士 認定医療労務コンサルタント 衛生工学衛生管理者	５５名 *教員38名* *職員17名* *（技術含む）*
ＦＤ④ ＳＤ①	令和8年2月4日(水)　13時30分～14時30分 ※学生支援センター主催	合同教室	「個性に合った関わり方の基本～ 特性理解と日常場面での工夫～」	小林 理恵 氏 （テクノパークぷろぼの新大宮） 澤井 宏真 氏 （ぷろぼのスコラ新大宮）	４２名 *教員32名* *職員2名* *技術8名*
ＦＤ⑤ ＳＤ②	令和8年3月25日(水) ※ダイバーシティ推進委員会と共催	大視聴覚室	共存共生のマネジメント 障がい者雇用とウェルビーイング	NPO法人戦略的CSR研究会理事長 /慶應義塾大学大学院経営管理 研究科　非常勤講師　守屋 剛 氏	４１名 *教員26名* *職員4名* *非常勤職員3名* *他機関教職員８名*
ＦＤ⑥ ＳＤ③	令和8年3月26日(木)　13時00分～14時30分 ※教育支援センター主催	情報処理演習室１	データの可視化とAI活用が簡単にできる！ MATLAB超入門セミナー	村松 未輝雄 氏 （MathWorks Japan）	３０名 *教員24名* *職員5名* *非常勤職員1名*
ＦＤ⑦ ＳＤ④	令和8年3月26日(木)　15時00分～15時30分 ※教育支援センター主催	大会議室	不確実な未来を切り拓く技術者教育： 精神論から「教育可能な資質」へ。 日本版EntreCompとMCCが示す広義の アントレプレナーシップ	須田 敦（教育支援副センター長）、 藤本 森峰（特命助教、アントレプレナーシップ教育担当）	３１名 *教員25名* *職員3名* *非常勤職員3名*

総　括

教育・研究の高度化，教育機関の個性化・多様化，教育成果（アウトカムズ）の可視化，さらには組織運営の活性化などが求められるなか，高等教育機関における内部質保証システムの重要性は，今後ますます高まるものと考えられる。本報告書は，本校における内部質保証の点検・評価結果を取りまとめたものである。

本校では，平成１３年１２月に発行した『自己点検・評価報告書－奈良高専の教育・研究・社会貢献への取組みと課題－』以来，形式や内容を見直しながら継続的に報告書を作成してきた。その間，従来の活動報告を中心とした内容から，点検・評価を重視した内容へと重点を移し，教育活動の外部評価や内部質保証に資するものとなるよう改善を重ねてきた。今年度からは，機関別認証評価の評価基準に対応した自己点検・評価（奈良高専自己点検評価チェックリスト）を本編とし，関連資料をまとめた資料編と併せて構成することとした。なお，本年度の報告書は，本編については令和７年４月から令和８年３月までの１年間を対象とし，資料編については令和３年４月から令和８年３月までの５年間を対象として取りまとめている。

本校では，運営諮問会，認定専攻科審査，専攻科特例認定審査，機関別認証評価などの外部評価を受けている。また，公益社団法人日本工学教育協会による「国立高専教育国際標準（KOSEN International Standard：KIS）」制度が開始されており，本校も令和１０年度に受審を予定している。なお，KIS の評価・認定プロセスは，日本技術者教育認定機構（JABEE）が定める認定機関認証評価基準を満たしているものとして認証されている。

さて，令和７年度の運営諮問会は，令和７年６月に大学改革支援・学位授与機構の助成事業である「大学・高専機能強化支援事業（高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）」において，本校の事業「専門にも AI にも強い人材を輩出する奈良高専モデルによる高度情報人材育成」が採択内定されたことを受け，「奈良高専の改組実施について」をテーマとして開催した。委員からは，本校の教育活動に対して貴重なご意見・ご助言をいただき，令和９年度から開始予定の新たな教育プログラムのさらなる充実・発展につながるものと期待している。また，令和８年度の運営諮問会においては，「奈良高専専攻科の改組について（案）」をテーマとする予定である。委員の皆様からの活発なご議論と有益なご提言を期待したい。

最後に，ご多忙のなか，本報告書の執筆及び編集にご尽力いただいた教職員の皆様に，心より厚く御礼申し上げる。

令和８年１０月

奈良工業高等専門学校　副校長（総務・広報担当）　平　　俊男

奈良高専の教育・研究・社会貢献への取組みと課題
—自己点検・評価報告書—
令和８年１０月発行

編　集　　奈良工業高等専門学校総務委員会
発　行　　独立行政法人　国立高等専門学校機構
奈良工業高等専門学校
〒639-1080　奈良県大和郡山市矢田町２２
TEL　0743-55-6013
URL　https://www.nara-k.ac.jp/